

「山形県内医療施設における患者動向
及び医療従事者等に係る現状調査」
報 告 書

平成 17 年 7 月 20 日

山形大学医学部

山形大学大学院医学系研究科医療政策学講座

目 次

ページ

I 調査の概要	1～2
1 調査の目的 2 調査主体 3 調査対象 4 調査期間 5 調査回答数	
6 調査票及び調査項目 7 調査票集計及びデータ分析等担当	
8 数値表記の定義 / 報告書におけるデータ取り扱い上の留意点	
II 調査結果について	
1 診療圏について	2
2 職種別職員数について	3
3 医師・歯科医師について	10
4 患者数について	36
5 病床数等について	63
6 手術件数について	68
7 患者紹介率について	75
8 施設基準の状況	77
9 医療機器の設置状況及び稼働実績	79
10 各指定施設及び各学会認定施設	105

<調査票様式等>

- 調査依頼文
- 調査票様式

山形県内医療施設における患者動向 及び医療従事者等に係る現状調査結果報告

1 調査の概要

1 調査の目的

山形県内全域の医療機関における患者数、病床利用率、職員数、手術数、医療機器の設置状況、不足医師数等を地域別に把握し、医師等マンパワー及び医療機器等の医療資源などの現状分析に係る基礎データを収集し、今後の地域における医療提供体制等の具体的な検討の資料に資する。

2 調査主体 山形県及び山形大学蔵王協議会

3 調査対象 一般病床を有する山形県内の全医療施設：51施設

4 調査期間 平成17年1月24日～2月25日

5 調査回答数 51医療施設のうち45施設（回答率88.2%）

<回答施設の内訳（地域別・病院種別）>

	国 立	公立・公的	自治体	私 的	合 計
村山地域	2	3	8	8	21
最上地域	-	-	4	-	4
置賜地域	1	3	4	1	9
庄内地域	-	-	4	7	8
合 計	3	6	20	16	45

※「国立」：独立行政法人国立病院機構病院及び大学病院

「公立・公的」：一部事務組合立病院、共済組合病院及び医療法第31条に規定する公的医療機関

「自治体」：県立及び市町立病院

「私的」：医療法人等の私的病院

6 調査票及び調査項目

別添のとおり

7 調査票回収、個票集計及び集計データ分析等担当

山形大学医学部及び山形大学大学院医学系研究科

8 数値表記の定義

「0（0.0）」：単位未満の値

「-」または「空欄」：該当数値なし

報告書におけるデータ取り扱い上の留意事項

- 医療法に基づく標榜科目の関係により、例えば、データ上「循環器科」の医師及び患者数がゼロであっても、実際は「内科」の医師が循環器系疾患患者の診療に当たっている医療施設があるなど、医師に係る診療科別データの取り扱いには十分留意してください。
- 「医師一人当たり」に関するデータについては、非常勤医師を除く常勤医師のみを母数としています。
- 手術件数において、電算システム上の取り扱い等により「主たる手術及び従たる手術を各1件」もしくは「主たる手術及び従たる手術で計1件」と医療施設によりその計上の方法が異なる場合がありますが、本報告書では各医療施設から提出された手術件数をそのまま集計しています。

II 調査結果について

1 診療圏について

(1) 診療圏範囲

各医療施設が「自施設の診療対象エリア」と捉えている診療圏カバー率（※）を地域別に見ると、置賜地域及び庄内地域では自医療圏のカバー率が100.0%、最上地域では同88.9%と高い比率となっている。

一方、村山地域では、自医療圏を6割以上（61.6%）カバーしているものの、最上地域を11.1%、置賜地域を13.8%、庄内地域を13.5%とそれぞれカバーしており、大学病院及び県基幹病院等広域医療施設の存在により、他3地域をそれぞれ10%以上カバーしていることが特徴である。

※地域別診療圏カバー率＝各医療施設が自らの診療圏とした市町村数の当該地域計／診療圏対象市町村数

表 1-1 診療圏カバー率（地域別）

（単位：％）

		診療圏対象地域				
		村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	合計
二次医療圏 医療施設の属する	村山地域	61.6	11.1	13.8	13.5	100.0
	最上地域	11.1	88.9			100.0
	置賜地域			100.0		100.0
	庄内地域				100.0	100.0

(2) 診療圏内最遠距離及び所要時間

地域別の医療圏における各医療施設から最遠地区までの距離は、村山地域が平均52.11 km（最大134 km、最小7 km）、最上地域が同29.95 km（最大37 km、最小16 km）、置賜地域が同37.57 km（最大80 km、最小18 km）、庄内地域が同29.68 km（最大45 km、最小4 km）であった。全体平均は、同41.78 kmであった。

また、各医療施設から最遠地区までの所要時間については、村山地域が平均約1時間27分（最長6時間10分、最短20分）、最上地域が平均約38分（最長50分、最短20分）、置賜地域が平均約1時間8分（最長3時間、最短30分）、庄内地域が平均約48

(最長1時間10分、最短20分)であった。

(1)の診療圏範囲を反映し、村山地域では最遠地区までの平均距離及び所要時間ともに最も長くなっている。

表 各区域別に於ける最遠地区までの距離及び所要時間

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	合計
<距離>					
回答施設数	18	4	7	9	38
平均	52.11	29.95	37.57	29.68	41.78
最大	134	37	80	45	
最小	7	16	18	4	
<所要時間>					
回答施設数	18	4	7	10	39
平均	1:27:13	0:38:45	1:08:34	0:48:00	1:08:51
最大	6:10:00	0:50:00	3:00:00	1:10:00	
最小	0:20:00	0:20:00	0:30:00	0:20:00	

2 職種別職員数について

(1) 職種別構成割合

全体

看護師が全体の45.3%と最も構成比率が高く、准看護師及び看護助手を含む看護職全体では56.7%と半分以上を占めている。次いで医師が10.4%、事務職9.1%、臨床検査技師3.8%、調理師3.0%、助産師、薬剤師、診療放射線技師、現業労務職等が2%台となっている。

地域ごとの特徴

- ・ 医師：村山地域が12.3%と最も高く、次いで置賜地域が8.9%、庄内地域が8.0%、最上地域が7.7%となっており、村山地域と最上地域の差は4.6ポイントとなっている。
- ・ 看護師：最上地域が48.2%で、村山地域45.3%、置賜地域45.2%、庄内地域44.7%に比べ地域別では最も高くなっている。
- ・ 事務職：庄内地域が9.7%で、村山地域9.1%、置賜地域8.7%、最上地域7.6%を上回り最も高くなっている。
- ・ 臨床工学技士：庄内地域が0.7%と最も高く、村山地域及び置賜地域0.5%となっているが、最上地域はゼロで配置されていない。
- ・ 理学療法士：村山地域が1.3%と最も高く、最上地域及び置賜地域1.0%、庄内地域0.9%を上回っている。
- ・ 調理師：置賜地域が3.7%と最も高く、最上地域3.2%、庄内地域3.1%、村山地

域2.8%を上回っている。

・その他の職種では地域による大きな差異は見られなかった。

表 2-11 職層構成割合（地域別・職種別）

	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	21	割合	4	割合	9	割合	11	割合	15	割合
管理職(再掲)	217	3.5%	23	2.9%	63	3.1%	76	2.6%	379	3.2%
医師	756	12.3%	61	7.7%	183	8.9%	237	8.0%	1,237	10.4%
歯科医師	28	0.5%	-	-	3	0.1%	5	0.2%	36	0.3%
看護師	2,774	45.3%	382	48.2%	933	45.2%	1,319	44.7%	5,407	45.3%
准看護師	253	4.1%	49	6.2%	174	8.4%	261	8.8%	737	6.2%
看護助手	349	5.7%	28	3.5%	119	5.7%	125	4.2%	621	5.2%
助産師	131	2.1%	22	2.8%	44	2.1%	49	1.7%	246	2.1%
診療放射線技師	144	2.3%	19	2.4%	46	2.2%	62	2.1%	271	2.3%
診療X線技師	3	0.0%	-	-	5	0.2%	-	-	8	0.1%
薬剤師	148	2.4%	22	2.8%	49	2.4%	74	2.5%	293	2.5%
臨床検査技師	228	3.7%	28	3.5%	77	3.7%	121	4.1%	454	3.8%
衛生検査技師	4	0.1%	-	-	-	-	-	-	4	0.0%
臨床工学技士	33	0.5%	-	-	11	0.5%	22	0.7%	66	0.6%
理学療法士	82	1.3%	8	1.0%	20	1.0%	26	0.9%	136	1.1%
作業療法士	45	0.7%	2	0.3%	11	0.5%	13	0.4%	71	0.6%
言語聴覚士	18	0.3%	-	-	2	0.1%	5	0.2%	25	0.2%
あん摩マッサージ指圧師	11	0.2%	2	0.3%	6	0.3%	6	0.2%	25	0.2%
視能訓練士	10	0.2%	-	-	3	0.1%	3	0.1%	16	0.1%
歯科衛生士	17	0.3%	-	-	1	0.0%	3	0.1%	21	0.2%
歯科技工士	6	0.1%	-	-	1	0.0%	1	0.0%	8	0.1%
診療情報管理士	7	0.1%	-	-	1	0.0%	4	0.1%	12	0.1%
管理栄養士	47	0.8%	3	0.4%	19	0.9%	29	1.0%	98	0.8%
栄養士	7	0.1%	6	0.8%	8	0.4%	6	0.2%	27	0.2%
調理師	171	2.8%	25	3.2%	77	3.7%	90	3.1%	363	3.0%
医療社会事業従事者	29	0.5%	-	-	7	0.3%	9	0.3%	45	0.4%
医療社会事業従事者 (MSW 再掲)	17	0.3%	-	-	6	0.3%	9	0.3%	32	0.3%
事務職	560	9.1%	60	7.6%	180	8.7%	285	9.7%	1,085	9.1%
現業労務職	150	2.4%	59	7.4%	55	2.7%	63	2.1%	327	2.7%
その他(※)	105	1.7%	16	2.0%	29	1.4%	132	4.5%	282	2.4%
地域医療連携部門 (再掲)	31	0.5%	3	0.4%	14	0.7%	11	0.4%	59	0.5%
合計	6,128	100.0%	792	100.0%	2,062	100.0%	2,950	100.0%	11,932	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したもの。

(2) 100床当たり職員数比較(地域別)

全体

全体では、最上地域が123.8人で最も多く、次いで村山地域が121.1人、庄内地域117.8人、置賜地域115.9人となっている。

地域別・職種別

- ① 医師：村山地域が14.9人と最も多く、置賜地域10.3人、最上地域及び庄内地域ともに9.5人に比べ大幅に上回っている。
- ② 看護職

看護職全体では、最上地域が71.7人と最も多く、次いで置賜地域68.9人、庄内地域68.1人、村山地域66.7人となっている。

 - ア 看護師：最上地域が59.7人と最も多く、村山地域54.8人、庄内地域52.7人、置賜地域52.4人となっている。
 - イ 准看護師：庄内地域が10.4人と最も多く、次いで置賜地域が9.8人、最上地域7.7人、村山地域5.0人で、庄内地域と村山地域の差は2倍以上となっている。
 - ウ 看護助手：村山地域が6.9人と最も多く、次いで置賜地域6.7人、庄内地域5.0人、最上地域4.4人となっている。
- ③ 診療放射線技師：最上地域が3.0人、村山地域2.8人、置賜地域2.6人、庄内地域2.5人となっている。
- ④ 薬剤師：最上地域が3.4人で最も高く、庄内地域が3.0人、村山地域2.9人、置賜地域が2.8人となっている。
- ⑤ 臨床検査技師：庄内地域が4.8人と最も高く、村山地域4.5人、最上地域4.4人、置賜地域4.3人となっている。
- ⑥ 管理栄養士：庄内地域が1.2人、置賜地域1.1人、村山地域0.9人とほとんど差がないものの、最上地域は0.5人と他地域のほぼ2分の1の配置となっている。
- ⑦ 栄養士：最上が0.9人と最も高く、置賜地域0.4人、庄内地域0.2人、村山地域0.1人となっている。管理栄養士及び栄養士の比率を見ると、最上地域は栄養士の割合が高い。
- ⑧ 事務職：庄内地域が11.4人と最も高く、村山地域11.1人、置賜地域10.1人、最上地域9.4人となっている。
- ⑨ 地域医療連携部門(再掲)：置賜地域が0.8人、村山地域0.6人、最上地域0.5人、庄内地域が0.4人となっている。

表2-12-1 病院1の100床当たり職員数(地域別・職種別)

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	全体
管理職(再掲)	4.3	3.6	3.5	3.0	3.8
医師	14.9	9.5	10.3	9.5	12.4
歯科医師	0.6	-	0.2	0.2	0.4

看護師	54.8	59.7	52.4	52.7	54.2
准看護師	5.0	7.7	9.8	10.4	7.4
看護助手	6.9	4.4	6.7	5.0	6.2
助産師	2.6	3.4	2.5	2.0	2.5
診療放射線技師	2.8	3.0	2.6	2.5	2.7
診療X線技師	0.1	-	0.3	-	0.1
薬剤師	2.9	3.4	2.8	3.0	2.9
臨床検査技師	4.5	4.4	4.3	4.8	4.5
衛生検査技師	0.1	-	-	-	0.0
臨床工学技士	0.7	-	0.6	0.9	0.7
理学療法士	1.6	1.3	1.1	1.0	1.4
作業療法士	0.9	0.3	0.6	0.5	0.7
言語聴覚士	0.4	-	0.1	0.2	0.3
あん摩マッサージ指圧師	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3
視能訓練士	0.2	-	0.2	0.1	0.2
歯科衛生士	0.3	-	0.1	0.1	0.2
歯科技工士	0.1	-	0.1	0.0	0.1
診療情報管理士	0.1	-	0.1	0.2	0.1
管理栄養士	0.9	0.5	1.1	1.2	1.0
栄養士	0.1	0.9	0.4	0.2	0.3
調理師	3.4	3.9	4.3	3.6	3.6
医療社会事業従事者	0.6	-	0.4	0.4	0.5
同上(MSW再掲)	0.3	-	0.3	0.4	0.3
事務職	11.1	9.4	10.1	11.4	10.9
現業労務職	3.0	9.2	3.1	2.5	3.3
その他(※)	2.1	2.5	1.6	5.3	2.8
地域医療連携部門(再掲)	0.6	0.5	0.8	0.4	0.6
合計	121.1	123.8	115.9	117.8	119.5

看護職(再掲)	66.7	71.7	68.9	68.1	67.8
---------	------	------	------	------	------

病床数計	5,059	640	1,779	2,504	9,982
------	-------	-----	-------	-------	-------

病院種別・職種別

① 医師：国立が26.5人と最も多く、自治体12.2人、公立・公的病院11.5人の2倍超となっている。私的是6.6人と最も少ない。

② 看護職

全体では、自治体が74.9人と最も多く、次いで公立・公的が68.4人、私的が59.9人、国立が54.3人となっている。自治体と国立との差は20.6人にのぼり、本県にお

ける自治体病院の看護職員配置の相対的な厚さがうかがえる。

- ア 看護師：自治体が65.1人と最も多く、次いで公立・公的が56.1人に対し、国立が49.2人、私的が33.6人で、自治体と私的の差は31.5人と大きな格差が見られる。
- イ 准看護師：私的が15.5人と際立って多く、公立・公的6.5人、自治体4.6人、国立3.4人と看護師とは逆の配置水準となっている。
- ウ 看護助手：私的が10.7人と最も多く、公立・公的が5.8人、自治体が5.2人と続き、国立は1.8人と極めて少ない。
- エ 診療放射線技師：公立・公的が3.0人と最も多く、次いで自治体2.8人、私的2.6人、国立2.0人であり、公立・公的と国立との差は1.5倍となっている。
- オ 薬剤師：公立・公的が3.4人と最も多く、次いで自治体3.1人、私的2.6人、国立2.2人となっている。
- カ 臨床検査技師：自治体及び私的が4.9人と最も多く、次いで公立・公的4.4人、国立が2.8人となっている。
- キ 管理栄養士：私的が1.3人と最も多く、次いで公立・公的及び自治体ともに0.9人、国立0.7人となっている。
- ク 栄養士：国立、自治体及び私的がともに0.3人に対し、公立・公的は0.0人で管理栄養士の配置に比重を置いていることがうかがえる。
- コ 事務職：私的が14.3人で最も多く、次いで公立・公的10.6人、国立9.6人、自治体9.5人となっている。
- サ 地域医療連携部門（再掲）：国立が0.8人と最も多く、公立・公的0.7人、自治体及び私的がともに0.5人となっている。

表2-1-2 市区町村単位数別職員数（病院種別・職種別）

	国立	公立・公的	自治体	私的	全体
管理職(再掲)	1.4	4.7	2.9	6.0	3.8
医師	26.5	11.5	12.2	6.6	12.4
歯科医師	1.5	0.2	0.2	0.2	0.4
看護師	49.2	56.1	65.1	33.6	54.2
准看護師	3.4	6.5	4.6	15.5	7.4
看護助手	1.8	5.8	5.2	10.7	6.2
助産師	0.6	4.0	3.2	0.6	2.5
診療放射線技師	2.0	3.0	2.8	2.6	2.7
診療X線技師	-	0.3	-	-	0.1
薬剤師	2.2	3.4	3.1	2.6	2.9
臨床検査技師	2.8	4.4	4.9	4.9	4.5
衛生検査技師	0.1	-	-	-	0.0
臨床工学技師	0.3	0.7	0.3	1.6	0.7
理学療法士	0.8	1.8	1.1	1.9	1.4

作業療法士	0.6	1.1	0.4	1.1	0.7
言語聴覚士	0.1	0.4	0.2	0.3	0.3
あん摩マッサージ指圧師	0.2	0.1	0.2	0.4	0.3
視能訓練士	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2
歯科衛生士	0.1	0.2	0.2	0.4	0.2
歯科技工士	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
診療情報管理士	0.0	0.2	0.1	0.2	0.1
管理栄養士	0.7	0.9	0.9	1.3	1.0
栄養士	0.3	0.0	0.3	0.3	0.3
調理師	3.2	2.2	3.9	4.5	3.6
医療社会事業従事者	0.1	0.3	0.4	0.8	0.5
同上(MSW再掲)	0.0	0.3	0.2	0.7	0.3
事務職	9.6	10.6	9.5	14.3	10.9
現業労務職	1.9	1.8	3.7	4.2	3.3
その他(※)	3.7	0.2	2.3	5.5	2.8
地域医療連携部門(再掲)	0.8	0.7	0.5	0.5	0.6
合計	111.9	116.6	125.2	114.5	119.5

看護職(再掲)	54.3	68.4	74.9	59.9	67.8
---------	------	------	------	------	------

病床数計	1,132	1,880	4,613	2,357	9,982
------	-------	-------	-------	-------	-------

「病院運営実態分析調査」との比較

「平成16年度病院運営実態分析調査—一般病院—(以下、「実態調査」という。)」から100床当たり職員数を比較した。

合計では、本調査が119.5人に対し、実態調査が121.7人とほぼ同水準の人員配置となっている。職種別の比較結果は次のとおり。

- ① 医師・歯科医師：本調査が12.8人に対し、実態調査は14.3人で、本調査が実態調査に比べ(以下同じ)1.5人少ない。
- ② 看護職

看護職全体では、本調査が67.8人に対し実態調査が72.6人で、4.8人少ない。

 - ア 看護師：本調査が54.2人に対し、実態調査が58.5人と4.3人少ない。
 - イ 准看護師：本調査が7.4人に対し、実態調査が6.8人と0.6人多い。
 - ウ 看護助手：本調査が6.2人に対し、実態調査が7.2人と1.0人少ない。
- ③ 診療放射線技師・診療X線技師：本調査が2.8人に対し、実態調査が3.2人と0.4人少ない。
- ④ 薬剤師：本調査が2.9人に対し、実態調査が3.2人と0.3人少ない。
- ⑤ 臨床検査技師・衛生検査技師：本調査が4.5人に対し、実態調査が4.6人でほとんど差がなかった。

6. 管理栄養士・栄養士：本調査が1.3人に対し、実態調査が1.2人でほとんど差がなかった。
7. 事務職：本調査が10.9人に対し、実態調査が10.5人とほとんど差がなかった。

表2 2014年10月～2015年9月までの調査対象一般病院実態調査の比較
(単位：人)

	本調査	病院運営実態調査 (一般病院)	差
医師	12.8	14.3	△ 1.5
歯科医師			
看護師	54.2	58.5	△ 4.3
准看護師	7.4	6.8	0.6
看護助手	6.2	7.2	△ 1.0
助産師	2.5	-	-
診療放射線技師	2.8	3.2	△ 0.4
診療X線技師			
薬剤師	2.9	3.2	△ 0.3
臨床検査技師	4.5	4.6	0.0
衛生検査技師			
臨床工学技士	0.7	0.8	△ 0.1
理学療法士	1.4	1.7	△ 0.3
作業療法士	0.7	0.6	0.1
言語聴覚士	0.3	0.2	0.1
あん摩マッサージ指圧師	0.3	0.2	0.1
視能訓練士	0.2	0.3	△ 0.1
歯科衛生士	0.3	0.4	△ 0.1
歯科技工士			
診療情報管理士	0.1	0.2	△ 0.1
管理栄養士	1.3	1.2	0.1
栄養士			
調理師	3.6	2.1	1.5
医療社会專業従事者	0.5	0.5	0.0
事務職	10.9	10.5	0.4
現業労務職	3.3	-	-
その他(※)	2.8	-	-
地域医療連携部門(再掲)	0.6	-	-
合計	119.5	121.7	△ 2.2

看護職計(再掲)	67.8	72.6	△ 4.8
----------	------	------	-------

※「病院運営実態分析調査」：当該調査は、全国公私病院連盟及び社団法人日本病院会が協力し、例年6月に実施している。今回回答のあった病院数は1,201病院（回収率31.9%）、その内訳は、国立・大学付属病院22、自治体病院659、その他公的病院247、私的病院273。

3 医師・歯科医師について

(1) 診療科別常勤医師数

全体

常勤医師総数は1,082人で、診療科別では、「内科」が220人（20.3%）で最も多く、次いで「外科」154人（14.2%）、「整形外科」95人（8.8%）、「小児科」59人（5.5%）、「産婦人科」52人（4.8%）、「麻酔科」46人（4.3%）、「脳神経外科」45人（4.2%）の順となっている。

地域別では、村山地域が613人（56.7%）と最も多く、次いで庄内地域が229人（21.2%）、置賜地域が180人（16.6%）、最上地域が60人（5.5%）であった。

「医師・歯科医師・薬剤師調査」（平成14年）との比較

病院従事者割合及び診療科別医師数の構成割合等について、本調査と「平成14年医師・歯科医師・薬剤師調査（以下「三師調査」という。）」で比較した。

病院従事者割合を三師調査で見ると、全国は医師総数262,687人のうち病院従事者は159,131人で60.6%に対し、本調査全体では58.4%とほとんど差はなかった。

地域別では、最上地域（62.1%）及び村山地域（61.5%）が全国比率を上回り、置賜地域は57.1%とやや下回っている。庄内地域は50.0%で病院従事者と診療所等従事者が同率となっている。

今回の調査による常勤医師数及び三師調査における病院従事者医師数を基にその捕捉率は、全体では77.8%、村山地域が72.5%、最上地域が77.9%、置賜地域が84.5%、庄内地域が89.8%となっている。

次に、診療科別医師構成割合を見ると、本調査が三師調査（病院従事者）に比べ構成割合の少ない診療科は、「精神科」は本調査が2.5%に対し、三師調査では6.2%で3.7ポイント本調査が少なく、「内科」は20.3%に対し22.6%で2.3ポイント、「循環器科」は2.9%に対して4.5%で1.6ポイントといずれも本調査が少なかった。

一方、「外科」は14.2%に対して11.7%で2.5ポイント、「整形外科」は8.8%に対して7.6%で1.2ポイント、「脳神経外科」は4.2%に対して3.5%で0.7ポイント、「耳鼻咽喉科」は3.2%に対して2.5%で0.7ポイント、「麻酔科」は4.3%に対して3.6%で同じく0.7ポイント、いずれも本調査が多かった。

その他の診療科については、構成比にほとんど差は見られなかった。

表 3-(1)-1- 病院従事者割合及び捕捉率等—平成 14 年医師・歯科医師・薬剤師調査から—

	H14 年医師・歯科医師・薬剤師調査			本調査		
	医師総数 (A)	うち病院従事者 (B)	病院従事者割合 (B)/(A)	医師総数 (C)	地域割合	捕捉率 (C)/(B)
村山地域	1,376	846	61.5%	613	56.7%	72.5%
最上地域	124	77	62.1%	60	5.5%	77.9%
置賜地域	373	213	57.1%	180	16.6%	84.5%
庄内地域	510	255	50.0%	229	21.2%	89.8%
合計	2,383	1,391	58.4%	1,082	100.0%	77.8%

全国	262,687	159,131	60.6%
----	---------	---------	-------

表 3-(1)-2 診療科別医師構成割合—平成 14 年医師・歯科医師・薬剤師調査との比較

	診療科別構成割合比較		
	本調査結果 A	医師・歯科医師・薬剤師 調査(病院従事者) B	差(A-B)
内科	20.3	22.6	△ 2.3
心療内科	0.0	0.2	△ 0.2
精神科	2.5	6.2	△ 3.7
神経内科(神経科)	2.4	2.1	0.3
呼吸器科	2.0	1.8	0.2
消化器科・胃腸科	4.1	4.2	△ 0.1
循環器科	2.9	4.5	△ 1.6
アレルギー科	0.0	0.1	△ 0.1
リウマチ科	0.0	0.3	△ 0.3
小児科	5.5	5.3	0.2
外科	14.2	11.7	2.5
整形外科	8.8	7.6	1.2
形成外科	0.8	0.9	△ 0.1
気管食道科	0.0	0.0	0.0
脳神経外科	4.2	3.5	0.7
呼吸器外科	0.6	0.6	△ 0.0
心臓血管外科	1.6	1.6	0.0
小児外科	0.2	0.4	△ 0.2
皮膚科	2.2	2.2	0.0
泌尿器科	4.0	3.0	1.0
産婦人科	4.8	3.9	0.9
産科	0.3	0.2	0.1
婦人科	0.2	0.3	△ 0.1

眼科	3.3	3.4	△ 0.1
耳鼻咽喉科	3.2	2.5	0.7
リハビリテーション科	0.6	0.8	△ 0.2
放射線科	3.0	2.8	0.2
麻酔科	4.3	3.6	0.7
病理	1.0	—	—
こう門科	0.0	0.1	△ 0.1
歯科口腔外科	1.7	—	—
歯科	0.6	—	—
矯正歯科	0.0	—	—
その他	0.9	3.6	△ 2.7
合計	100.0	100.0	

地域別比較 1 - 構成割合 -

診療科別医師数の構成割合を地域別に比較すると、「内科」は最上地域が40.0%と極めて高く、次いで村山地域は21.4%、庄内地域は17.5%となっている。一方、置賜地域は13.9%と低く、同地域の「外科」と同構成割合となっている。

全国的に診療科の医師偏在が問題となっている「小児科」「産婦人科」「麻酔科」「放射線科」を見ると、「小児科」は最上地域以外では5%台の構成割合に対し、最上地域は3.3%と不足傾向がうかがえる。「産婦人科」も最上地域が1.7%と他3地域(4.4%～5.2%)に比べ極めて低い割合となっている。「麻酔科」は、村山地域、最上地域及び庄内地域が4.4%～5.0%に対し、置賜地域が3.3%とやや低い割合となっている。「放射線科」は、村山地域(3.6%)及び最上地域(3.3%)が3%台、置賜地域が2.2%に対し、庄内地域は1.7%と最も低く、村山地域の約2分の1となっている。

表 3-11-2 医師数及び構成比率(地域別・診療科別)

	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	回答施設数	割合	回答施設数	割合	回答施設数	割合	回答施設数	割合	回答施設数	割合
内科	131	21.4%	24	40.0%	25	13.9%	40	17.5%	220	20.3%
心療内科										
精神科	14	2.3%			9	5.0%	4	1.7%	27	2.5%
神経内科(神経科)	18	2.9%	1	1.7%	4	2.2%	3	1.3%	26	2.4%
呼吸器科	13	2.1%			6	3.3%	3	1.3%	22	2.0%
消化器科・胃腸科	15	2.4%			15	8.3%	14	6.1%	44	4.1%
循環器科	10	1.6%			11	6.1%	10	4.4%	31	2.9%
アレルギー科										
リウマチ科										
小児科	35	5.7%	2	3.3%	10	5.6%	12	5.2%	59	5.5%
外科	76	12.4%	10	16.7%	25	13.9%	43	18.8%	154	14.2%

整形外科	53	8.6%	7	11.7%	17	9.4%	18	7.9%	95	8.8%
形成外科	4	0.7%			1	0.6%	4	1.7%	9	0.8%
気管食道科										
脳神経外科	29	4.7%	2	3.3%	7	3.9%	7	3.1%	45	4.2%
呼吸器外科	2	0.3%					4	1.7%	6	0.6%
心臓血管外科	9	1.5%			3	1.7%	5	2.2%	17	1.6%
小児外科	1	0.2%					1	0.4%	2	0.2%
皮膚科	16	2.6%	2	3.3%	3	1.7%	3	1.3%	24	2.2%
泌尿器科	26	4.2%	2	3.3%	7	3.9%	8	3.5%	43	4.0%
産婦人科	32	5.2%	1	1.7%	9	5.0%	10	4.4%	52	4.8%
産科							3	1.3%	3	0.3%
婦人科	1	0.2%					1	0.4%	2	0.2%
眼科	21	3.4%	2	3.3%	7	3.9%	6	2.6%	36	3.3%
耳鼻咽喉科	21	3.4%	2	3.3%	6	3.3%	6	2.6%	35	3.2%
リハビリテーション科	5	0.8%					1	0.4%	6	0.6%
放射線科	22	3.6%	2	3.3%	4	2.2%	4	1.7%	32	3.0%
病理	5	0.8%			2	1.1%	4	1.7%	11	1.0%
麻酔科	27	4.4%	3	5.0%	6	3.3%	10	4.4%	46	4.3%
ことう門科										
歯科口腔外科	12	2.0%			3	1.7%	3	1.3%	18	1.7%
歯科	5	0.8%					2	0.9%	7	0.6%
矯正歯科										
その他	10	1.6%							10	0.9%
合計	613	100.0%	60	100.0%	180	100.0%	229	100.0%	1,082	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したものの。

地域別比較 2—病床 100 床当たり医師数—

主な診療科について地域別に比較してみると、「内科」は最上地域が 100 床当たり 12.9 人と最も多く、次いで庄内地域が 11.0 人、村山地域が 10.1 人であった。置賜地域は 8.3 人で最上地域と 4 人以上の差が見られる。

「小児科」では、庄内地域が 31.6 人と最も多く、次いで村山地域が 22.0 人、最上地域が 15.4 人に対し、置賜地域が 6.5 人と庄内地域の約 5 分の 1 となっている。

「脳神経外科」では、村山地域が 11.0 人、庄内地域が 8.6 人に対し、置賜地域が 5.4 人、最上地域が 4.5 人と村山地域の約半分または半分以下となっている。

「産婦人科」では、置賜地域が 15.3 人、次いで村山地域が 10.2 人、庄内地域が 9.8 人とほぼ同じ水準に対し、最上地域は 3.7 人で最も少なく、最上地域は置賜地域の約 4 分の 1 となっている。

「外科」は、置賜地域が 18.2 人と最も多く、次いで最上地域が 16.4 人、村山地域が 15.2 人、庄内地域が 13.5 人と上記診療科ほど際立った差は見られなかった。

「泌尿器科」は、庄内地域が20.0人と最も多く、次いで村山地域が16.0人、置賜地域が12.1人に対し、最上地域は8.3人と庄内地域の約4割となっている。

「整形外科」は、庄内地域が15.8人、置賜地域が12.4人、最上地域が10.8人に対し、村山地域が9.0人と最も少なく庄内地域の6割弱となっている。

表 2-1-3 病床100床当たり医師数（地域別・診療科別）

(単位:人)

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	全体
内科	10.1	12.9	8.3	11.0	10.2
心療内科	—	—	—	—	—
精神科	35.0	—	5.8	28.6	12.9
神経内科(神経科)	16.1	—	6.8	10.0	12.9
呼吸器科	26.5	—	14.3	—	24.2
消化器科・胃腸科	17.6	—	22.1	15.1	17.9
アレルギー科	—	—	—	—	—
循環器科	19.2	—	34.4	100.0	33.0
リウマチ科	—	—	—	—	—
小児科	22.0	15.4	6.5	31.6	16.2
外科	15.2	16.4	18.2	13.5	15.2
整形外科	9.0	10.8	12.4	15.8	10.5
形成外科	22.2	—	25.0	40.0	28.1
器官食道科	—	—	—	—	—
脳神経外科	11.0	4.5	5.4	8.6	8.7
呼吸器外科	15.4	—	—	—	46.2
心臓血管外科	18.0	—	10.7	100.0	20.5
小児外科	—	—	—	—	—
皮膚科	41.0	20.0	30.0	30.0	34.8
泌尿器科	16.0	8.3	12.1	20.0	15.1
産婦人科	10.2	3.7	15.3	9.8	10.4
産科	—	—	—	—	—
婦人科	—	—	—	20.0	40.0
眼科	25.6	33.3	41.2	50.0	30.8
耳鼻咽喉科	20.6	16.7	16.2	14.3	18.1
リハビリテーション科	8.3	—	—	20.0	9.2
放射線科	88.0	—	—	—	128.0
麻酔科	540.0	—	600.0	142.9	353.8
病理	—	—	—	—	—
こう門科	—	—	—	—	—

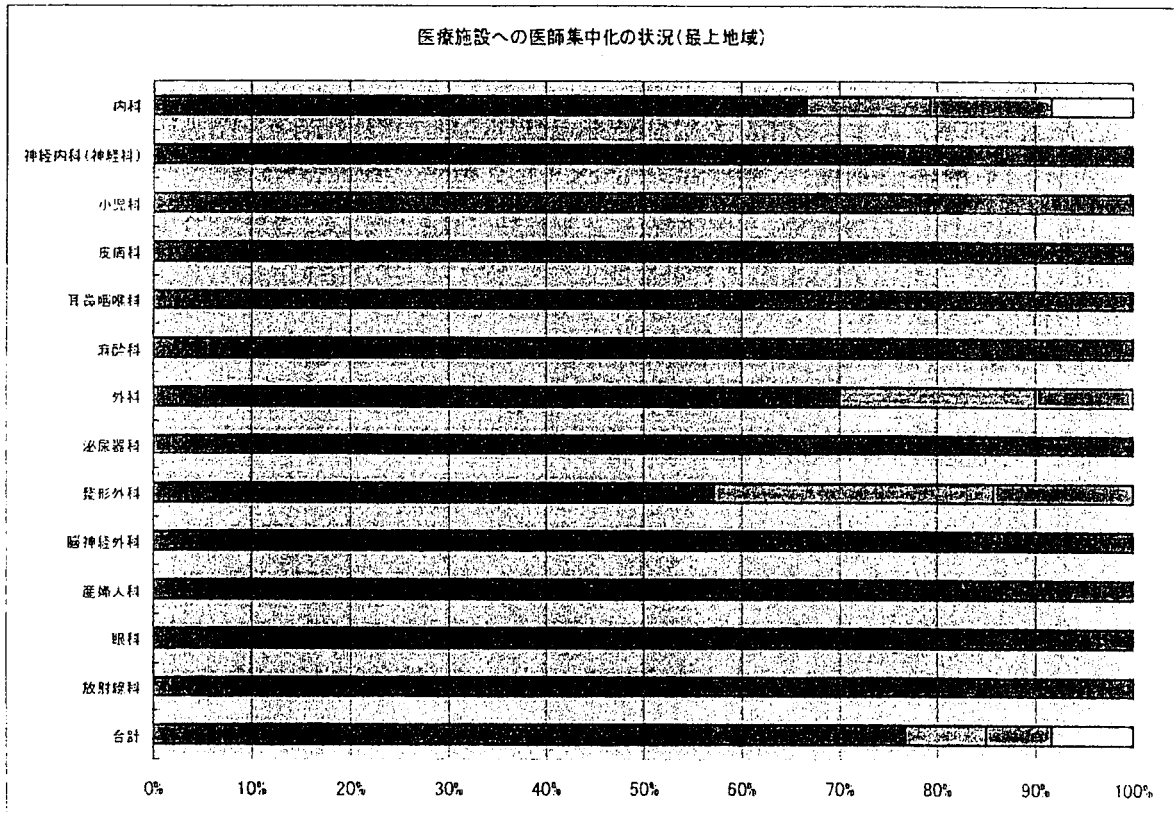
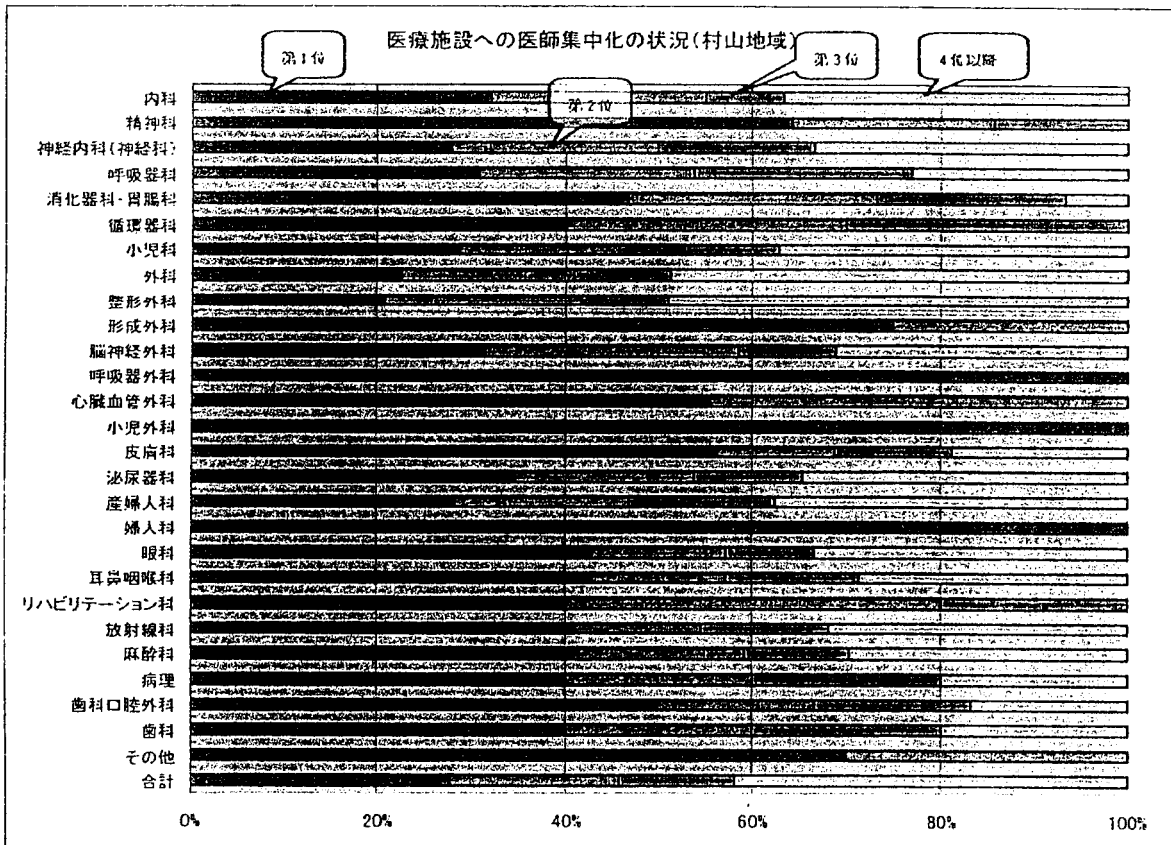
歯科口腔外科	70.6	—	75.0	60.0	69.2
歯科	250.0	—	—	25.0	70.0
矯正歯科	—	—	—	—	—
合計	16.8	12.9	12.4	17.5	15.7

医療施設への医師集中化の状況

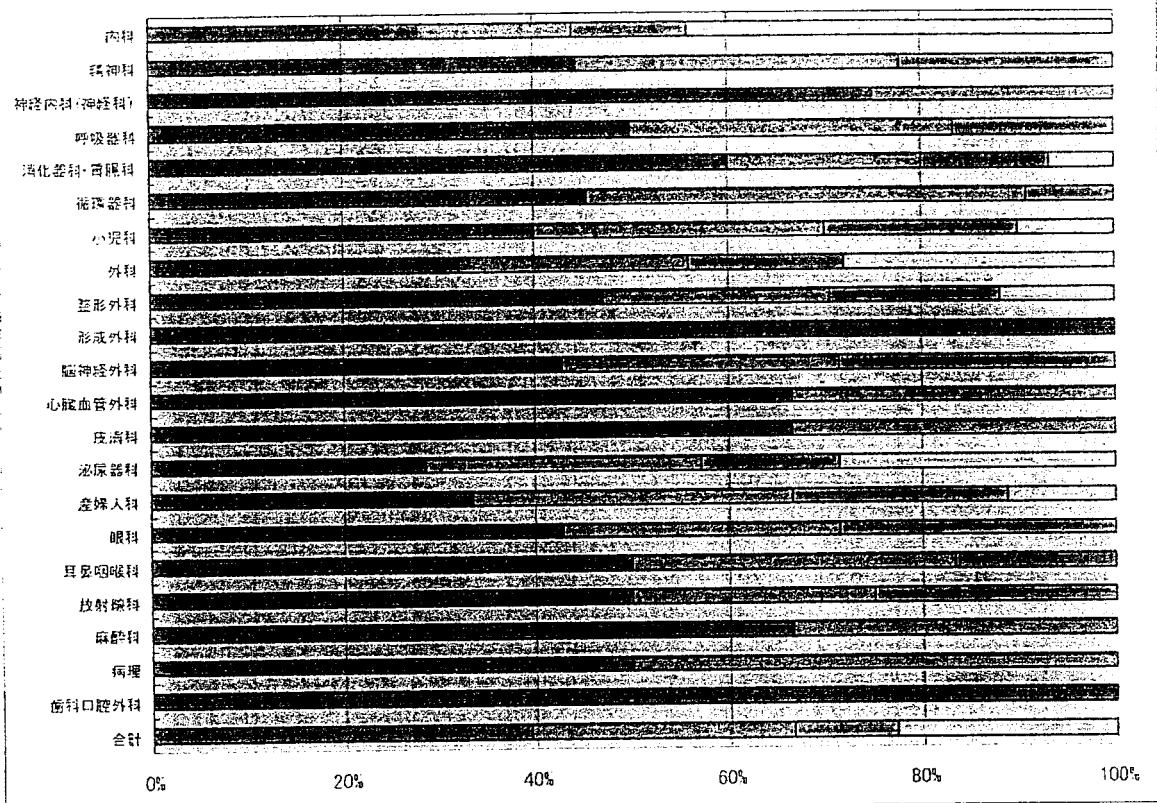
診療科ごとの総医師数における上位医療施設（上位3位まで）の占める比率を基に、当該医療圏における医師の医療施設への集中化状況を比較した。

- ・ 村山地域：合計では、上位1施設で地域全体の27.7%、上位2施設で45.7%と約半数を占め、上位3施設では58.1%に達している。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしている診療科は、「呼吸器外科」などであった。同じく上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「形成外科」「心臓血管外科」であった。同じく上位3施設で地域全体をカバーしているのは、「精神科」「循環器科」「リハビリテーション科」であった。一方、上位3施設の比率が最も低い（各施設に分散配置されている）のは「整形外科」で50.9%、次いで「外科」が51.3%、「産婦人科」が62.5%、「小児科」が62.9%、「内科」が63.4%などであった。
- ・ 最上地域：全体で4施設と母数が少ないこともあり、診療科合計では、上位1施設で地域全体の76.7%、上位2施設で85.0%、上位3施設で91.7%に達している。診療科別では、「内科」「外科」「整形外科」を除き、すべて1施設で地域全体をカバーしている。
- ・ 置賜地域：合計では、上位1施設で全体の39.4%、上位2施設で66.7%と7割弱を占め、上位3施設では77.2%と8割弱に達している。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしている診療科は、「形成外科」「歯科口腔外科」であった。同じく上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「神経内科（神経科）」「心臓血管外科」「皮膚科」「麻酔科」「病理」であった。同じく上位3施設で地域全体をカバーしているのは、「精神科」「呼吸器科」「循環器科」「脳神経外科」「眼科」「耳鼻咽喉科」「放射線科」であった。一方、上位3施設の比率が最も低いのは「内科」で56.0%、次いで「外科」が72.0%、「泌尿器科」が71.4%などであった。
- ・ 庄内地域：合計では、上位1施設で全体の30.1%、上位2施設で56.3%、上位3施設で73.8%に達している。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしている診療科は、「呼吸器科」「呼吸器外科」「リハビリテーション科」などであった。同じく上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「神経内科（神経科）」「形成外科」「心臓血管外科」「歯科口腔外科」であった。同じく上位3施設で地域全体をカバーしているのは、「精神科」「循環器科」「脳神経外科」「皮膚科」「泌尿器科」「眼科」「耳鼻咽喉科」「放射線科」などであった。一方、上位3施設の比率が最も低い（各施設に分散配置されている）のは「内科」で50.0%、次いで「外科」が53.5%などであった。

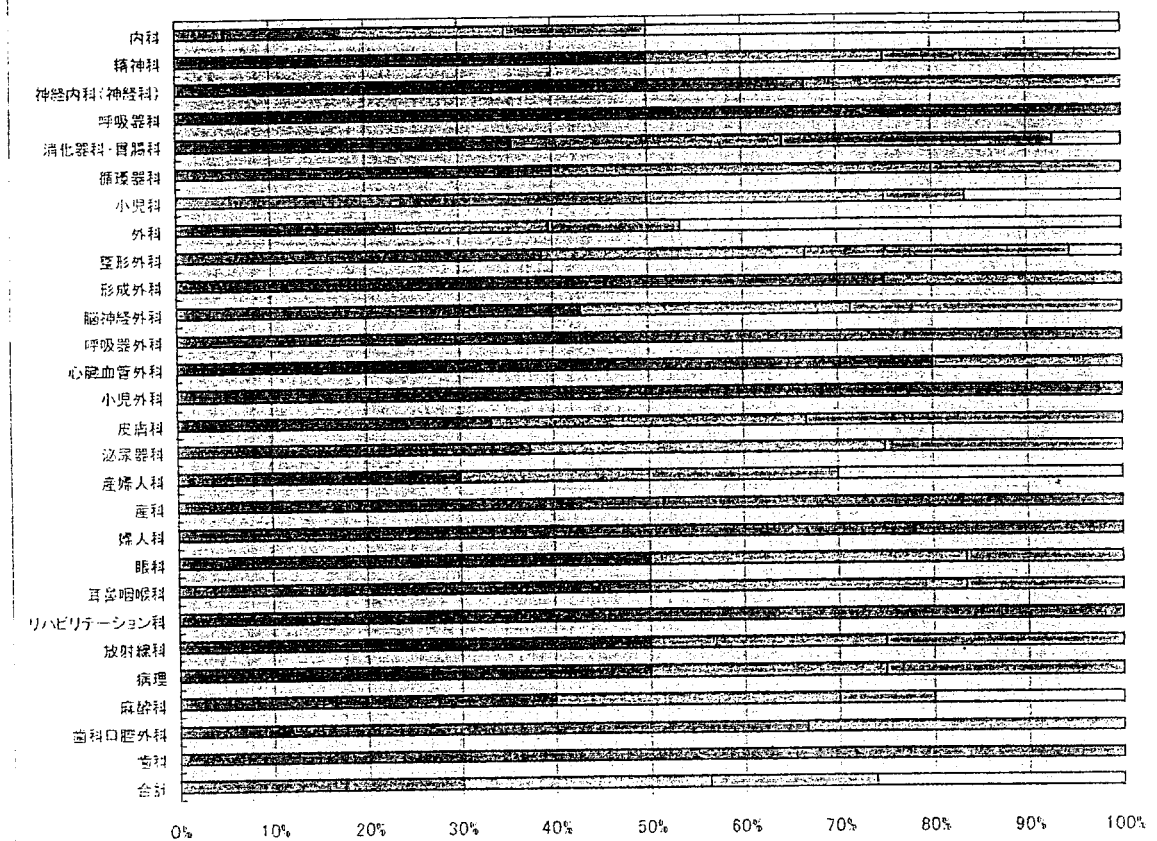
表 3-(1)-4 医療施設への医師集中化の状況 (地域別・診療科別)



医療施設への医師集中化の状況(置賜地域)



医療施設への医師集中化の状況(庄内地域)



(2) 非常勤医師数

全体

非常勤医師の診療科別構成割合を見ると、内科が66.2人(構成比31.8%)で最も多く、次いで整形外科31.8人(15.3%)、外科14.5人(6.9%)、小児科11.9人(5.7%)、産婦人科11.0人(5.3%)などの順となっている。

表3-(2) 診療科別非常勤医師数

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	20	割合	4	割合	8	割合	8	割合	40	割合
内科	47.8	30.7%	2.3	37.5%	6.2	25.9%	9.9	44.3%	66.2	31.8%
心療内科	0.2	0.1%							0.2	0.1%
精神科	4.6	2.9%			0.4	1.6%	0.2	1.0%	5.2	2.5%
神経内科(神経科)	0.3	0.2%			0.8	3.2%	0.6	2.5%	1.6	0.8%
呼吸器科	0.1	0.1%			0.2	0.7%			0.3	0.1%
消化器科・胃腸科	1.5	1.0%			1.6	6.8%	0.4	1.9%	3.6	1.7%
循環器科	1.6	1.0%			1.2	5.1%	0.5	2.3%	3.4	1.6%
アレルギー科										
リウマチ科										
小児科	9.0	5.8%	0.3	4.9%	1.3	5.5%	1.3	6.0%	11.9	5.7%
外科	12.2	7.8%			1.0	4.1%	1.2	5.6%	14.5	6.9%
整形外科	26.9	17.3%	1.0	15.7%	3.5	14.6%	0.4	1.9%	31.8	15.3%
形成外科					0.1	0.4%	0.1	0.2%	0.2	0.1%
気管食道科										
脳神経外科	4.2	2.7%					1.1	4.8%	5.2	2.5%
呼吸器外科	0.1	0.1%							0.1	0.0%
心臓血管外科	0.2	0.1%			0.5	2.1%			0.7	0.3%
小児外科							0.1	0.5%	0.1	0.1%
皮膚科	5.8	3.7%			0.5	2.0%	2.2	9.7%	8.4	4.0%
泌尿器科	0.8	0.5%	0.1	1.6%	1.1	4.7%	1.7	7.5%	3.7	1.8%
産婦人科	10.0	6.4%	0.6	9.9%			0.4	1.6%	11.0	5.3%
産科										
婦人科			0.2	3.3%	1.3	5.5%			1.5	0.7%
眼科	6.1	3.9%	0.4	7.0%	0.7	3.1%	0.1	0.5%	7.4	3.5%
耳鼻咽喉科	8.5	5.4%	0.8	12.4%	1.0	4.0%			10.2	4.9%
リハビリテーション科	0.2	0.1%	0.0	0.6%					0.2	0.1%
放射線科	3.2	2.1%			1.3	5.5%	0.9	4.1%	5.5	2.6%
病理	1.0	0.6%	0.4	7.0%	0.4	1.5%	0.7	3.0%	2.4	1.2%
麻酔科	3.2	2.1%			0.7	2.7%	0.6	2.7%	4.4	2.1%

こう門科										
歯科口腔外科	7.4	4.7%			0.2	0.6%			7.6	3.6%
歯科	1.1	0.7%			0.1	0.4%			1.2	0.6%
矯正歯科										
合計	155.9	100.0%	6.1	100.0%	24.0	100.0%	22.3	100.0%	208.3	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したもの。

(3) 研修医数

臨床研修医（前期研修医）

全体では84名で、うち1年目が44名、2年目が40名とほぼ半々であった。

地域別では、村山地域が65名で77.4%を占めており、次いで庄内地域が12名(14.3%)、置賜地域が6名(7.1%)、最上地域が1名(1.2%)と大学病院及び臨床研修指定病院の多い村山地域に臨床研修医（前期研修医）が集中している。

表 3-13 - 臨床研修医（前期研修医）数（地域別）

	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	回答施設数	割合	1	割合	2	割合	2	割合	9	割合
研修医(計)	65	77.4%	1	1.2%	6	7.1%	12	14.3%	84	100.0%
うち1年目	34	77.3%	1	2.3%	2	4.5%	7	15.9%	44	100.0%
うち2年目	31	77.5%	-	-	4	10.0%	5	12.5%	40	47.6%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したもの。

後期研修医

全体では37名で、うち1年目が23名、2年目及び3年目がそれぞれ7名となっている。

地域別では、村山地域が29名で78.4%を占め前期研修医と同様村山地域に集中している。他は庄内地域が8名(21.6%)で、最上地域及び置賜地域は後期研修医がゼロとなっている。

表 3-14 - 後期研修医数（地域別）

	村山地域		最上地域	置賜地域	庄内地域		合計	
	回答施設数	割合	-	-	2	割合	4	割合
研修医(計)	29	78.4%	-	-	8	21.6%	37	100.0%
うち1年目	17	73.9%	-	-	6	26.1%	23	100.0%
うち2年目	6	85.7%	-	-	1	14.3%	7	100.0%
うち3年目	6	85.7%	-	-	1	14.3%	7	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したもの。

(4) 出身医大別及び出身医局別医師数

出身大学の状況

出身大学別医師数及び構成比を見ると、地元「山形大学」が553人(51.6%)と全体の半数以上にのぼる。次いで、「東北大学」106人(9.9%)、「新潟大学」66人(6.2%)、「弘前大学」40人(3.7%)、「自治医科大学」33人(3.1%)、「岩手医科大学」28人(2.6%)、「日本医科大学」27人(2.5%)、「福島県立医科大学」26人(2.4%)、「秋田大学」25人(2.3%)などとなっている。

東北6県の大学出身者は計778人で、全体の72.6%を占めている。さらに、東北6県、北海道及び新潟県医大出身者は861人で全体の80.4%と北海道・東北及び新潟県で8割を占めている。

表3-14-1 出身大学別医師数

回答施設数	43	割合
山形大学医学部	553	51.6%
東北大学医学部	106	9.9%
新潟大学医学部	66	6.2%
弘前大学医学部	40	3.7%
自治医科大学	33	3.1%
岩手医科大学	28	2.6%
日本医科大学	27	2.5%
福島県立医科大学	26	2.4%
秋田大学医学部	25	2.3%
北里大学医学部	14	1.3%
北海道大学医学部	13	1.2%
日本大学医学部	9	0.8%
杏林大学医学部	7	0.7%
昭和大学医学部	7	0.7%
金沢医科大学	7	0.7%
東海大学医学部	6	0.6%
埼玉医科大学	5	0.5%
獨協医科大学	5	0.5%
順天堂大学医学部	5	0.5%
東京医科大学	5	0.5%
群馬大学医学部	4	0.4%
筑波大学医学専門学群	4	0.4%
東邦大学医学部	4	0.4%
富山医科薬科大学医学部	4	0.4%
東京大学医学部	4	0.4%
千葉大学医学部	3	0.3%

東京女子医科大学	3	0.3%
大阪大学医学部	3	0.3%
旭川医科大学	3	0.3%
帝京大学医学部	3	0.3%
福井大学医学部	2	0.2%
愛知医科大学	2	0.2%
産業医科大学	2	0.2%
慶應義塾大学医学部	2	0.2%
東京慈恵会医科大学	2	0.2%
信州大学医学部	2	0.2%
名古屋市立大学医学部	2	0.2%
川崎医科大学	2	0.2%
東京歯科大学	2	0.2%
日本歯科大学	2	0.2%
その他	2	0.2%
東京医科歯科大学医学部	1	0.1%
聖マリアンナ医科大学	1	0.1%
山梨大学医学部	1	0.1%
滋賀医科大学	1	0.1%
岡山大学医学部	1	0.1%
熊本大学医学部	1	0.1%
札幌医科大学	1	0.1%
金沢大学医学部	1	0.1%
三重大学医学部	1	0.1%
京都大学医学部	1	0.1%
近畿大学医学部	1	0.1%
九州大学医学部	1	0.1%
佐賀大学医学部	1	0.1%
琉球大学医学部	1	0.1%
防衛医科大学校	1	0.1%
横浜市立大学医学部	1	0.1%
藤田学園藤田保健衛生大学医学部	1	0.1%
徳島大学医学部	1	0.1%
香川大学医学部	1	0.1%
長崎大学医学部	1	0.1%
宮崎大学医学部	1	0.1%
韓国延世大学医学部	1	0.1%
中国医薬学院	1	0.1%
東北大学歯学部	1	0.1%

日本大学歯学部	1	0.1%
合計	1,071	100.0%

出身医局の状況

出身医局別医師数及び構成比を見ると、地元「山形大学」が547人(62.9%)と6割以上にのぼる。次いで、「東北大学」112人(12.9%)、「新潟大学」62人(7.1%)、「日本医科大学」35人(4.0%)、「福島県立医科大学」25人(2.9%)、「弘前大学」16人(1.8%)、「秋田大学」11人(1.3%)などとなっている。東北6県の大学医局出身者は計719人で、全体の82.6%を占めている。

表3- (4) -2 出身医局別医師数

	回答施設数	割合
山形大学医学部	547	62.9%
東北大学医学部	112	12.9%
新潟大学医学部	62	7.1%
日本医科大学	35	4.0%
福島県立医科大学	25	2.9%
弘前大学医学部	16	1.8%
秋田大学医学部	11	1.3%
岩手医科大学	8	0.9%
北海道大学医学部	6	0.7%
自治医科大学	6	0.7%
昭和大学医学部	6	0.7%
その他	5	0.6%
東京大学医学部	4	0.5%
杏林大学医学部	4	0.5%
群馬大学医学部	2	0.2%
筑波大学医学専門学群	2	0.2%
東京女子医科大学	2	0.2%
富山医科薬科大学医学部	2	0.2%
大阪大学医学部	2	0.2%
北里大学医学部	2	0.2%
順天堂大学医学部	2	0.2%
山形県立中央病院医局	2	0.2%
東京医科歯科大学医学部	1	0.1%
産業医科大学	1	0.1%
日本大学医学部	1	0.1%
慶應義塾大学医学部	1	0.1%
東京慈恵会医科大学	1	0.1%

高知大学医学部	1	0.1%
獨協医科大学	1	0.1%
帝京大学医学部	1	0.1%
東京歯科大学	1	0.1%
東北大学歯学部	1	0.1%
聖マリアンナ	1	0.1%
合計	870	100.0%

(5) 常勤医師平均年齢

全体の常勤医師の平均年齢分布は、「40～45歳」が19施設(43.2%)で最も多く、次いで「35～40歳」が11施設(25.0%)、「45～50歳」「50～55歳」がともに5施設(11.4%)などとなっている。

地域別では、村山地域は「40～45歳」が11施設(55.0%)と最も多く5割以上を占めている。

最上地域は、「35～40歳」が全体の半分の2施設であった。

置賜地域は、「35～40歳」が5施設(55.6%)で「40～45歳」の3施設(33.3%)を上回り、地域別では最も若い年齢分布となっている。

庄内地域は、「40～45歳」が4施設(36.4%)と最も多く、次いで「35～40歳」が3施設(27.3%)となっている。同地域では、「50～55歳」「55～60歳」「60歳以上」の施設も各1施設あり、常勤医師の高齢化の一端がうかがえる。

表3. 常勤医師平均年齢の医療施設分布(地域別)

	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	20	比率	4	比率	9	比率	11	比率	44	比率
35歳未満							1	9.1%	1	2.3%
35歳以上40歳未満	1	5.0%	2	50.0%	5	55.6%	3	27.3%	11	25.0%
40歳以上45歳未満	11	55.0%	1	25.0%	3	33.3%	4	36.4%	19	43.2%
45歳以上50歳未満	4	20.0%	1	25.0%					5	11.4%
50歳以上55歳未満	3	15.0%			1	11.1%	1	9.1%	5	11.4%
55歳以上60歳未満	1	5.0%					1	9.1%	2	4.5%
60歳以上							1	9.1%	1	2.3%

(注)「比率」は各区分の施設数を全回答施設数にて除したものの。

(6) 常勤医師平均経過年数

全体の常勤医師の平均経過年数分布は、「15～20年」が20施設(45.5%)と最も多く、次いで「10～15年」が13施設(29.5%)と「10～20年」の平均経過年数で75.0%と4分の3を占めている。また、「25～30年」が2施設、「30～35年」が3施設、「35年以上」が1施設と経験豊富な医師を中心に配置している施設が各1施設あった。一方、「10年未満」の施設は1施設のみで、若手医師を中心に配置している施設は少なかった。

た。

地域別では、村山地域は、「15～20年」が11施設（55.0%）と最も多く、次いで「10～15年」「20～25年」がともに3施設（15.0%）であった。

最上地域は、「10～15年」「15～20年」がそれぞれ2施設であった。

置賜地域は、「10～15年」「15～20年」がともに4施設（44.4%）であった。

庄内地域は、「10～15年」が4施設（36.4%）、次いで「15～20年」が3施設（27.3%）であった。

表3-16 常勤医師平均経年数の医療施設分布（地域別）

	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	20	比率	4	比率	9	比率	11	比率	44	比率
10年未満							1	9.1%	1	2.3%
10年以上15年未満	3	15.0%	2	50.0%	4	44.4%	4	36.4%	13	29.5%
15年以上20年未満	11	55.0%	2	50.0%	4	44.4%	3	27.3%	20	45.5%
20年以上25年未満	3	15.0%					1	9.1%	4	9.1%
25年以上30年未満	1	5.0%			1	11.1%			2	4.5%
30年以上35年未満	2	10.0%					1	9.1%	3	6.8%
35年以上							1	9.1%	1	2.3%

（注）「比率」は各区分の施設数を全回答施設数にて除したものの。

（7）常勤医師平均勤務年数

各医療施設への医師の定着度を見る一つの指標として調査した。

全体では、「5～10年」が20施設（48.8%）と最も多く、次いで「5年未満」が12施設（29.3%）と「10年未満」の施設が全体の8割弱（78.1%）という結果となった。平均勤務年数が「15～20年」「20年～」はそれぞれ3施設、2施設にとどまった。

地域別では、村山地域は、「5～10年」が10施設（50.0%）と最も多く、次いで「5年未満」が5施設（25.0%）であった。

最上地域は、「5年未満」「5～10年」がともに2施設であった。

置賜地域は、「5年未満」「5～10年」がともに4施設であった。

庄内地域は、「5～10年」が4施設（44.4%）と最も多かったが、他地域では該当のない「20年～」が2施設あったことが特徴的であった。

表3-17 常勤医師平均年齢の医療施設分布（地域別）

	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	20	比率	4	比率	8	比率	9	比率	41	比率
5年未満	5	25.0%	2	50.0%	4	50.0%	1	11.1%	12	29.3%
5年以上10年未満	10	50.0%	2	50.0%	4	50.0%	4	44.4%	20	48.8%
10年以上15年未満	2	10.0%					2	22.2%	4	9.8%
15年以上20年未満	3	15.0%							3	7.3%

20年以上						2	22.2%	2	4.9%
-------	--	--	--	--	--	---	-------	---	------

(注)「比率」は各区分の施設数を全回答施設数にて除したものを。

(8) 不足医師数

① 医療法に基づく標準医師数に対する不足医師数

全体

標準医師数に対する不足医師数は全体で43人、うち村山地域が16人、最上地域が6人、置賜地域が15人、庄内地域が6人であった。

「不足なし」は21施設(47.7%)で、標準医師数を充足している施設は半数に満たなかった。「不足数1人未満」が6施設(13.6%)、「1人～2人未満」が8施設(18.2%)、「2人～3人未満」が5施設(11.4%)、「3人～4人未満」が1施設(2.3%)であった。さらに、「4人以上不足」と厳しい状況にある施設が3施設(6.8%)であった。

地域別

- ・ 村山地域:「不足なし」が11施設(55.0%)と4割以上が標準医師数を満たしていない。不足数が、「1人未満」が2施設(10.0%)、「1人～2人未満」が4施設(20.0%)、「2人～3人未満」が2施設(10.0%)であった。さらに、「4人以上」と厳しい医師不足の状況にある施設が1施設(5.0%)であった。
- ・ 最上地域:「不足なし」が2施設(50.0%)、不足数が「2人～3人未満」が1施設(25.0%)であり、「4人以上」と厳しい医師不足の状況にある施設が1施設(25.0%)であった。
- ・ 置賜地域:「不足なし」が3施設(33.3%)と地域全体の三分の一にとどまっている。不足数が「1人未満」「1人～2人未満」がともに1施設(11.1%)、「2人～3人未満」が2施設(22.2%)であり、「4人以上」と厳しい医師不足の状況にある施設が1施設(11.1%)であった。
- ・ 庄内地域:「不足なし」が5施設(45.5%)と半数に満たなかった。不足数が「1人未満」が3施設(27.3%)、「1人～2人未満」が3施設(27.3%)であった。「2人以上不足」の施設はゼロであり、他地域に比べ不足医師数の水準を見ると比較的充足されている。

表2-1-10 標準医師数に対する不足医師数(地域別)

	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	回答施設数	比率	回答施設数	比率	回答施設数	比率	回答施設数	比率	回答施設数	比率
不足なし	11	55.0%	2	50.0%	3	33.3%	5	45.5%	21	47.7%
1人未満	2	10.0%			1	11.1%	3	27.3%	6	13.6%
1人以上2人未満	4	20.0%			1	11.1%	3	27.3%	8	18.2%
2人以上3人未満	2	10.0%	1	25.0%	2	22.2%			5	11.4%
3人以上4人未満					1	11.1%			1	2.3%
4人以上	1	5.0%	1	25.0%	1	11.1%			3	6.8%

不足医師数の合計	16		6		15		6		43
----------	----	--	---	--	----	--	---	--	----

(注)「比率」は各区分の施設数を全回答施設数にて除したものの。

2) 診療科別定員に対する不足医師数

全体

回答医療施設の医師定員合計に対する不足数は49人との回答結果であった。

診療科別では、「内科」が14人と最も多く、次いで「整形外科」が7人、「耳鼻咽喉科」、「産婦人科」及び「放射線科」がそれぞれ4人不足であった。

さらに、「小児科」、「皮膚科」、「外科」、「泌尿器科」及び「リハビリテーション科」がそれぞれ2人、「神経内科(神経科)」、「麻酔科」、「脳神経外科」、「小児外科」、「眼科」及び「人工透析科」がそれぞれ1人不足であった。

地域別では、村山地域が18人、最上地域が9人、置賜地域が7人、庄内地域が15人それぞれ不足であった。

表3- (接-2) 定員に対する不足医師数(地域別・診療科別)

	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	定員数	不足数	定員数	不足数	定員数	不足数	定員数	不足数	定員数	不足数
内科	18	6	4	1	9	4	2	3	33	14
神経内科(神経科)							1	1	1	1
小児科			3	1			2	1	5	2
外科							9	2	9	2
整形外科	15	6	3	1					18	7
脳神経外科			3	1					3	1
小児外科	2	1							2	1
皮膚科					2	1	1	1	3	2
泌尿器科			3	1			3	1	6	2
産婦人科	2	1	3	2			4	1	9	4
眼科	1	1							1	1
耳鼻咽喉科	2	1			2	1	2	2	6	4
リハビリテーション科			1	1			1	1	2	2
放射線科	5	2			2	1	2	1	9	4
麻酔科							2	1	2	1
人工透析科			1	1					1	1
合計	45	18	21	9	15	7	29	15	110	49

地域別にみた診療科別定員に対する不足医師数

次に、不足医師数について、地域別に診療科ごとの構成比を見ると、村山地域では、「内科」「整形外科」がともに6人(33.3%)、「放射線科」が2人(11.1%)などとな

っている。

最上地域では、「産婦人科」が2人(22.2%)のほか、「内科」「小児科」「整形外科」「泌尿器科」「リハビリテーション科」「脳神経外科」「人工透析科」がそれぞれ1人であった。

置賜地域では、「内科」が4人(58.8%)、「皮膚科」「耳鼻咽喉科」「放射線科」がそれぞれ1人となっている。

庄内地域では、「内科」が3人(19.7%)、「耳鼻咽喉科」「外科」がともに2人(13.2%)、「神経内科(神経科)」「小児科」「皮膚科」「麻酔科」「泌尿器科」「リハビリテーション科」「産婦人科」「放射線科」がともに1人であった。

表 11-8-4 定員に対する不足医師割合(地域別) 専ら診療科ごとの構成比

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	合計
内科	33.3%	11.1%	58.8%	19.7%	28.9%
神経内科(神経科)				6.6%	2.0%
小児科		11.1%		6.6%	4.0%
外科				13.2%	4.0%
整形外科	33.3%	11.1%			14.1%
脳神経外科		11.1%			2.0%
小児外科	5.6%				2.0%
皮膚科			13.7%	6.6%	4.0%
泌尿器科		11.1%		6.6%	4.0%
産婦人科	5.6%	22.2%		7.9%	8.5%
眼科	5.6%				2.0%
耳鼻咽喉科	5.6%		13.7%	13.2%	8.1%
リハビリテーション科		11.1%		6.6%	4.0%
放射線科	11.1%		13.7%	6.6%	3.1%
麻酔科				6.6%	2.0%
人工透析科		11.1%			2.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

診療科別定員に対する地域ごとの不足医師数

4地域すべてで不足している診療科は、「内科」のみ(14人)で、そのうち村山地域が6人、最上地域1人、置賜地域4人、庄内地域3人となっている。

3地域で不足している診療科は、「耳鼻咽喉科」「放射線科」が最上地域を除く3地域で、「産婦人科」が置賜地域を除く3地域で不足している。

2地域で不足している診療科は、「小児科」が最上地域及び庄内地域で、「皮膚科」が置賜地域及び庄内地域で、「泌尿器科」が最上地域及び庄内地域で、「リハビリテーション科」が最上地域及び庄内地域で、「整形外科」が村山地域及び最上地域でそれぞれ不足している。「神経内科(神経科)」「麻酔科」「外科」「脳神経外科」「眼科」「人工透析

科」などは1地域でのみ不足であった。

表3-1-4 定員に達する標準医師数割合（診療科別）毎な地域ごとの構成比

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	合計
内科	42.0%	7.0%	30.0%	21.0%	100.0%
神経内科(神経科)				100.0%	100.0%
小児科		50.0%		50.0%	100.0%
外科				100.0%	100.0%
整形外科	85.7%	14.3%			100.0%
脳神経外科		100.0%			100.0%
小児外科	100.0%				100.0%
皮膚科			50.0%	50.0%	100.0%
泌尿器科		50.0%		50.0%	100.0%
産婦人科	23.8%	47.6%		28.6%	100.0%
眼科	100.0%				100.0%
耳鼻咽喉科	25.0%		25.0%	50.0%	100.0%
リハビリテーション科		50.0%		50.0%	100.0%
放射線科	50.0%		25.0%	25.0%	100.0%
麻酔科				100.0%	100.0%
人工透析科		100.0%			100.0%
合計	36.4%	18.2%	14.7%	30.7%	100.0%

3. (1)以外の理由による要求医師数

診療科別要求医師数

全体の要求医師数は110人であった。これを診療科別に見ると、「内科」が35人で全体の31.9%と最も多く、次いで「整形外科」14人、「外科」12人、「麻酔科」「産婦人科」がともに6人、「小児科」が5人、「循環器科」「耳鼻咽喉科」「消化器科・胃腸科」がともに4人、「脳神経外科」「眼科」がともに3名、「皮膚科」「呼吸器科」「放射線科」などがともに2人必要との結果であった。また要求医師数が1人の診療科は、「神経内科(神経科)」、「泌尿器科」、「婦人科」、「精神科」及び「病理」であった。

重要度別要求医師数

「医療法に基づく標準医師数に対する不足数」及び「診療科別定員に対する不足医師数」を除き、各医療施設において今後要求を考えている医師数を重要度別に調査した。重要度の区分は、「A:1人体制の解消等現状の改善のためにできるだけ早期に必要な」、「B:病院機能の充実、医療レベルの向上等のために将来的には必要」、「C:その他」とした。

要求医師数110人のうち、重要度[A]が43人(39.1%)、[B]が33人(30.0%)、[C]が3人(2.7%)、重要度区分記載なしが31人であった。

診療科別に見ると、「内科」は[B]が10人で、[A]の7人を上回り、どちらかと云えば特

來的に充足させたい診療科の傾向が見られる。レベル[A]の要求医師数では、「整形外科」が6人と「内科」に次いで多く、「外科」が5人、「循環器科」「小児科」「麻酔科」「消化器科・胃腸科」がともに3人などであった。特に、「循環器科」「消化器科・胃腸科」の各3人は要求医師数のすべてがレベル[A]であり、当該診療科医師の確保が急務となっている現状が認められる。また、「外科」(5人)、「麻酔科」(3人)もレベル[A]が多く、早期の充足を求めているものと考えられる。

特にレベル[A]で要求している主な理由は、「常勤医1人体制による過重労働の解消」「開業、退職、引き揚げ等に伴う常勤医ゼロの解消」など切実な現状打開の必要性を訴えるものが多かった。

地域別では、村山地域が46人、最上地域が10人、置賜地域が28人、庄内地域が25人であった。これを、重要度別に見ると、村山地域ではレベル[A]が14人(30.4%)、[B]が22人(47.8%)、[C]が2人(4.3%)と[B]が[A]を大きく上回った。最上地域では、[A]はゼロ、[B]が5人であった。置賜地域では、[A]が23人(82.1%)、[B]が1人(3.6%)と[A]が際立って多かった。庄内地域では、[A]が6人、[B]が5人、[C]が1人と要求医師数25人のうち半数に区分記載がなく、重要度の実態が十分把握できなかった。

表3-12-1 重要度別要求医師数(地域別・診療科別)

	村山地域			最上地域			置賜地域			庄内地域			合計							
	要求医師数	A	B	C	要求医師数	A	B	C	要求医師数	A	B	C	要求医師数	A	B	C				
内科	14	3	6	1	6		2		5	3			10	1	2		35	7	10	1
精神科	1		1														1		1	
神経内科(神経科)									1		1						1		1	
呼吸器科	1	1							1	1							2	2		
消化器科・胃腸科									2	2			2	1			4	3		
循環器科									2	2			2	1			4	3		
小児科	3	2	1						2	1							5	3	1	
外科	3	2	1		3		1		3	2			3	1			12	5	2	
整形外科	8	3	3		1		1		2	2			3	1	1		14	6	5	
脳神経外科	2		1						1	1							3	1	1	
皮膚科	1		1										1	1			2	1	1	
泌尿器科									1	1							1	1		
産婦人科	2	1	1						1	1			3		1	1	6	2	2	1
婦人科	1		1		1		1										2		2	
眼科	2		2						1	1							3	1	2	
耳鼻咽喉科	2		2						1	1			1		1		4	1	3	

放射線科	1		1					1	1						2	1	1		
病理	1	1													1	1			
麻酔科	4	1	1	1				2	2						6	3	1	1	
内分泌代謝内科								2	2						2	2			
合計	46	14	22	2	11	5		28	23	1		25	6	5	1	110	43	33	3

※「要求医師数」に記載があるが、「重要度別」に記載がない回答施設があるため、要求医師数と内訳は必ずしも一致しない

表3-1-6 要求医師数（地域別に専攻診療科ごとの構成比）

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	合計
内科	30.4%	57.7%	17.9%	39.7%	31.9%
精神科	2.2%				0.9%
神経内科(神経科)			3.6%		0.9%
呼吸器科	2.2%		3.6%		1.8%
消化器科・胃腸科			7.1%	7.9%	3.6%
循環器科			7.1%	7.9%	3.6%
小児科	6.5%		7.1%		4.6%
外科	6.5%	28.8%	10.7%	11.9%	10.9%
整形外科	17.4%	9.6%	7.1%	11.9%	12.8%
脳神経外科	4.3%		3.6%		2.7%
皮膚科	2.2%			4.0%	1.8%
泌尿器科			3.6%		0.9%
産婦人科	4.3%		3.6%	12.7%	5.7%
婦人科	2.2%	3.8%			1.3%
眼科	4.3%		3.6%		2.7%
耳鼻咽喉科	4.3%		3.6%	4.0%	3.6%
放射線科	2.2%		3.6%		1.8%
病理	2.2%				0.9%
麻酔科	8.7%		7.1%		5.5%
内分泌代謝内科			7.1%		1.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-1-7 要求医師数（診療科別に専攻地域ごとの構成比）

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	合計
内科	40.0%	17.1%	14.3%	28.6%	100.0%
精神科	100.0%				100.0%
神経内科(神経科)			100.0%		100.0%
呼吸器科	50.0%		50.0%		100.0%
消化器科・胃腸科			50.0%	50.0%	100.0%

循環器科			50.0%	50.0%	100.0%
小児科	60.0%		40.0%		100.0%
整形外科	57.1%	7.1%	14.3%	21.4%	100.0%
脳神経外科	66.7%		33.3%		100.0%
皮膚科	50.0%			50.0%	100.0%
泌尿器科			100.0%		100.0%
産婦人科	32.3%		16.1%	51.6%	100.0%
婦人科	71.4%	28.6%			100.0%
眼科	66.7%		33.3%		100.0%
耳鼻咽喉科	50.0%		25.0%	25.0%	100.0%
放射線科	50.0%		50.0%		100.0%
病理	100.0%				100.0%
麻酔科	66.7%		33.3%		100.0%
内分泌代謝内科			100.0%		100.0%
合計	42.0%	9.5%	25.5%	23.0%	100.0%

(9) 離職医師数及び離職理由

年度別離職医師数の推移

全体では、平成14年度が273人に対し、平成15年度が284人で前年度に比べ11人増加した。参考までに、平成10年度の離職医師数は142人であった。

地域別では、村山地域は平成14年度134人が平成15年度138人で4人増、最上地域は12人から17人で5人増、置賜地域は57人から58人で1人増、庄内地域は70人から71人で1人増となっており、すべての地域で離職医師が増加した。

離職理由

平成15年度離職者数284人についてその離職理由を見ると、「医局人事により他病院へ」が161人(56.7%)と最も多く、次いで「大学医局へ」が73人(25.7%)、「医局人事以外の理由により他病院へ」が20人(7.0%)、「開業」が19人(6.7%)、「退職」が7人(2.5%)、「その他」が4人(1.4%)であった。

参考までに平成10年度の離職理由別比率を見ると、「医局人事により他病院へ」が54.2%と最も多く、次いで「大学医局へ」が28.2%、「開業」が9.9%、「退職」が2.8%、「医局人事以外の理由により他病院へ」が2.1%などであった。「開業」による離職理由が3番目で、その比率も平成15年度より3.1ポイント上回っていることが特徴的である。

平成15年度及び平成14年度増減比較

<全体>

平成15年度の離職理由ごとの離職者数を前年度と比較すると、「開業」が平成15年

度は19人で前年度と変化はなかった。「大学医局へ」は73人で9人増、「退職」は7人で9人減、「医局人事により他病院へ」は161人で12人増、「医局人事以外の理由により他病院へ」は20人で3人増であった。「医局人事により他病院へ」「大学医局へ」の理由による離職者数の増が全体の増の主な要因となっている。

<地域別>

- ・ 対平成14年度離職者数を地域合計で見ると、村山地域が4人、最上地域が5人、置賜地域及び庄内地域がともに1人増と全地域で前年度に比べ増加した。
- ・ 村山地域：「開業」が平成15年度は10人で前年度に比べ2人減、「大学医局へ」は29人で6人増、「退職」は5人で6人減、「医局人事により他病院へ」は85人で5人増、「医局人事以外の理由により他病院へ」は9人で1人増であった。
- ・ 最上地域：「開業」が1人で1人増、「大学医局へ」は9人で4人増、「退職」は0人で増減なし、「医局人事により他病院へ」は7人で1人増、「医局人事以外の理由により他病院へ」は0人で増減なしであった。
- ・ 置賜地域：「開業」が6人で4人増、「大学医局へ」は26人で10人増、「退職」は1人で1人減、「医局人事により他病院へ」は22人で7人減、「医局人事以外の理由により他病院へ」は2人で1人減であった。
- ・ 庄内地域：「開業」が2人で3人減、「大学医局へ」は9人で11人減、「退職」は1人で2人減、「医局人事により他病院へ」は47人で13人増、「医局人事以外の理由により他病院へ」は9人で3人増であった。

表3-15 離職医師及び離職理由（地域別）

		村山 地域	最上 地域	置賜 地域	庄内 地域	合計	構成比	
回答施設数		16	4	8	10	38		
平成14年度離職医師数		134	12	57	70	273	100.0%	
内 訳	A:開業	施設数	6		1	4	11	7.0%
		人数	12		2	5	19	
	B:大学医局へ	施設数	8	1	4	4	17	23.4%
		人数	23	5	16	20	64	
	C:退職	施設数	4		2	2	8	5.9%
		人数	11		2	3	16	
	D:医局人事により他病院へ	施設数	10	2	4	6	22	54.6%
		人数	80	6	29	34	149	
	E:D以外の理由により他病院へ	施設数	3		2	3	8	6.2%
		人数	8		3	6	17	
F:その他	施設数		1	2	2	5	2.9%	
	人数		1	5	2	8		
平成15年度離職医師数		138	17	58	71	284	100.0%	

内訳	A:開業	対H14	4	5	1	1	11	6.7%
		施設数	6	1	2	2	11	
		人数	10	1	6	2	19	
	B:大学医局へ	対H14	△ 2	1	4	△ 3	0	25.7%
		施設数	8	2	4	5	19	
		人数	29	9	26	9	73	
	C:退職	対H14	6	4	10	△ 11	9	2.5%
		施設数	4		1	1	6	
		人数	5		1	1	7	
	D:医局人事により他病院へ	対H14	△ 6	0	△ 1	△ 2	△ 9	56.7%
		施設数	12	3	4	7	26	
		人数	85	7	22	47	161	
	E:D以外の理由により他病院へ	対H14	5	1	△ 7	13	12	7.0%
		施設数	5		1	4	10	
		人数	9		2	9	20	
F:その他	対H14	1	0	△ 1	3	3	1.4%	
	施設数			1	3	4		
	人数			1	3	4		
平成 10 年度離職医師数			99	3	18	22	142	100.0%
内訳	A:開業	施設数	4		1	1	6	9.9%
		人数	8		1	5	14	
	B:大学医局へ	施設数	5		2	1	8	28.2%
		人数	28		4	8	40	
	C:退職	施設数	2		1		3	2.8%
		人数	2		2		4	
	D:医局人事により他病院へ	施設数	8	2	3	2	15	54.2%
		人数	58	3	8	8	77	
	E:D以外の理由により他病院へ	施設数	1			1	2	2.1%
		人数	2			1	3	
	F:その他	施設数	1		1		2	2.8%
		人数	1		3		4	

(10) 常勤医師一人当たり年間給与額（平成 15 年度実績：千円）

常勤医師一人当たり年間給与額の施設分布を見ると、全体では「15,000～20,000千円」が27施設（61.3%）と最も多く、次いで「10,000～15,000千円」が7施設（16.7%）、「20,000千円～」が6施設（14.3%）であった。

地域別では、村山地域、置賜地域、庄内地域は「15,000～20,000千円」が最も多く、それぞれの割合は60.0%、77.8%、88.9%であった。最上地域は「20,000千円～」が4

施設のうち3施設と最も多く、医師確保において給与面で配慮していることがうかがえる。

表 3-117 常勤医師一人当たり年間給与月額分布「地域別」

(単位：千円)

	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	回答施設数	比率	回答施設数	比率	回答施設数	比率	回答施設数	比率	回答施設数	比率
5,000千円未満										
5,000千円以上 10,000千円未満	2	10.0%							2	4.8%
10,000千円以上 15,000千円未満	4	20.0%	1	25.0%	1	11.1%	1	11.1%	7	16.7%
15,000千円以上 20,000千円未満	12	60.0%			7	77.8%	8	88.9%	27	64.3%
20,000千円以上	2	10.0%	3	75.0%	1	11.1%			6	14.3%

(注)「比率」は各区分の施設数を全回答施設数にて除したもの。

(1.1) 非常勤医師一人当たり平均報酬額(平成15年度実績：千円)

非常勤医師一人当たり平均報酬額の施設分布を見ると、全体では「500千円未満」が最も多く、11施設(34.4%)、次いで「1,500～2,000千円」が7施設(21.9%)であった。この結果を見ると、フルタイムより半日等の勤務形態が多いことがうかがえる。

地域別では、村山地域は「1,500～2,000千円」(35.7%)、最上地域は「2,000～2,500千円」(66.7%)、置賜地域及び庄内地域は「500千円未満」(50.0%、57.1%)が最も多く、地域あるいは医療施設の応援医師必要性等の需給事情が反映しているものと推察される。

表 3-118 常勤医師一人当たり年間報酬額分布「地域別」

(単位：千円)

	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	回答施設数	比率	回答施設数	比率	回答施設数	比率	回答施設数	比率	回答施設数	比率
500千円未満	3	21.4%			4	50.0%	4	57.1%	11	34.4%
500千円以上 1,000千円未満	3	21.4%							3	9.4%
1,000千円以上 1,500千円未満	1	7.1%	1	33.3%	1	12.5%			3	9.4%
1,500千円以上 2,000千円未満	5	35.7%			1	12.5%	1	14.3%	7	21.9%
2,000千円以上 2,500千円未満			2	66.7%	1	12.5%			3	9.4%
2,500千円以上 3,000千円未満	1	7.1%							1	3.1%
3,000千円以上	1	7.1%			1	12.5%	2	28.6%	4	12.5%

(注)「比率」は各区分の施設数を全回答施設数にて除したもの。

(1.2) 常勤医師一人当たり年間平均手当額(平成15年度実績：千円)

時間外勤務手当、特殊勤務手当、宿日直手当等の医師に支給されている手当額の施設分布を見ると、全体では、「8,000～9,000千円」「9,000～10,000千円」「10,000～11,000

千円]がともに4施設(10.3%)とこの手当額層で全体の3割を占めている。また、「12,000千円以上」が8施設(20.5%)で4分の1を占めている。一方、「5,000千円未満」が11施設(28.2%)と約3割にのぼり、「5,000千円未満」「5,000～12,000千円」「12,000千円以上」の三極化がうかがえる。

表3-1-1 常勤医師一人当たり研究費(平成15年度実績) (単位:千円)

(単位:千円)

	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	回答施設数	比率	4	比率	9	比率	7	比率	39	比率
1,000千円未満	2	10.5%			1	11.1%			3	7.7%
1,000千円以上 2,000千円未満	2	10.5%							2	5.1%
2,000千円以上 3,000千円未満	2	10.5%					1	14.3%	3	7.7%
3,000千円以上 4,000千円未満	2	10.5%							2	5.1%
4,000千円以上 5,000千円未満	1	5.3%							1	2.6%
5,000千円以上 6,000千円未満										
6,000千円以上 7,000千円未満	1	5.3%					1	14.3%	2	5.1%
7,000千円以上 8,000千円未満	1	5.3%			1	11.1%	1	14.3%	3	7.7%
8,000千円以上 9,000千円未満	1	5.3%	1	25.0%	1	11.1%	1	14.3%	4	10.3%
9,000千円以上 10,000千円未満	2	10.5%					2	28.6%	4	10.3%
10,000千円以上 11,000千円未満	2	10.5%			2	22.2%			4	10.3%
11,000千円以上 12,000千円未満	1	5.3%			2	22.2%			3	7.7%
12,000千円以上 13,000千円未満	1	5.3%			1	11.1%			2	5.1%
13,000千円以上 14,000千円未満			1	25.0%	1	11.1%			2	5.1%
14,000千円以上 15,000千円未満			1	25.0%			1	14.3%	2	5.1%
15,000千円以上	1	5.3%	1	25.0%					2	5.1%

(注)「比率」は各区分の施設数を全回答施設数にて除したものを。

(13) 常勤医師一人当たり研究費(平成15年度実績:千円)

全体では、「250千円未満」が12施設(42.9%)と最も多く、次いで「250～500千円」が8施設(28.6)%で「500千円未満」で20施設(71.5%)と7割以上にのぼり、医師に対する研究助成の厳しい現状がうかがえる。

表3-1-2 常勤医師一人当たり研究費(平成15年度実績) (単位:千円)

(単位:千円)

	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	回答施設数	比率	3	比率	9	比率	5	比率	28	比率
250千円未満	4	36.4%	1	33.3%	4	44.4%	3	60.0%	12	42.9%
250千円以上 500千円未満	2	18.2%			5	55.6%	1	20.0%	8	28.6%
500千円以上 750千円未満	3	27.3%							3	10.7%

750 千円以上 1,000 千円未満										
1,000 千円以上 1,250 千円未満										
1,250 千円以上 1,500 千円未満			1	33.3%			1	20.0%	2	7.1%
1,500 千円以上	2	18.2%	1	33.3%					3	10.7%

(注)「比率」は各区分の施設数を全回答施設数にて除したもの。

4 患者数について

(1) 診療科別 1日平均入院患者数 (平成 15 年度実績)

全体

「内科」が 2,696.3 人と最も多く、全入院患者数 8,157.8 人の 33.1% を占めている。次いで、「外科」が 1,109.5 人 (13.6%)、「整形外科」が 1,041.1 人 (12.8%)、「脳神経外科」が 539.8 人 (6.6%)、「小児科」が 460.6 人 (5.6%)、「産婦人科」が 434.9 人 (5.3%) などとなっている。

地域別の特徴

- ・ 村山地域：「内科」が 1,352.0 人 (地域計 4,225.5 人の 32.0%) と最も多く、次いで、「整形外科」が 605.6 人 (14.3%)、「外科」が 524.9 人 (12.4%)、「脳神経外科」が 273.5 人 (6.5%)、「産婦人科」が 264.7 人 (6.3%)、「小児科」が 244.5 人 (5.8%) などとなっている。同地域は「産婦人科」の割合が 6.5% と全体平均 (5.3%) を上回っている。
- ・ 最上地域：「内科」が 255.5 人 (地域計 503.6 人の 50.7%) と入院患者の半分以上が内科となっており、全体平均の 33.1% を大きく上回っている。次いで、「整形外科」が 90.2 人 (17.9%)、「外科」が 66.1 人 (13.1%) などとなっている。一方、「小児科」8.3 人 (1.6%)、「産婦人科」12.0 人 (2.4%) は全体平均 (5.6%、5.3%) に比べ構成割合が低い。
- ・ 置賜地域：「内科」が 445.9 人 (地域計 1,587.6 人の 28.1%) と最も多く、次いで「外科」が 173.2 人 (10.9%)、「整形外科」が 161.7 人 (10.2%) などとなっている。同地域は「小児科」が地域計の 9.7% を占め、全体平均 (5.6%) を大きく上回っている。
- ・ 庄内地域：「内科」が 643.3 人 (地域計 1,841.1 人の 34.9%) と最も多く、次いで「外科」が 345.4 人 (18.8%)、「整形外科」が 183.6 人 (10.0%) となっている。同地域では、循環器科が 2.9% と全体平均 (1.6%) を大きく上回っている。

表 4-1-1 1日平均入院患者数 (地域別・診療科別)

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	21	割合	4	割合	9	割合	10	割合	44	割合
内科	1,352.0	32.0%	255.5	50.7%	445.9	28.1%	643.3	34.9%	2,696.6	33.1%
心療内科	0.2	0.0%							0.2	0.0%
精神科	54.8	1.3%			140.2	8.8%	11.6	0.6%	206.6	2.5%

神経内科(神経科)	151.0	3.6%			57.3	3.6%	39.5	2.1%	247.8	3.0%
呼吸器科	104.1	2.5%			46.5	2.9%	44.9	2.4%	195.5	2.4%
消化器科-胃腸科	89.2	2.1%			63.1	4.0%	130.3	7.1%	282.6	3.5%
循環器科	47.1	1.1%			25.5	1.6%	54.3	2.9%	126.9	1.6%
アレルギー科										
リウマチ科										
小児科	244.5	5.8%	8.3	1.6%	153.8	9.7%	54.0	2.9%	460.6	5.6%
外科	524.9	12.4%	66.1	13.1%	173.2	10.9%	345.4	18.8%	1,109.5	13.6%
整形外科	605.6	14.3%	90.2	17.9%	161.7	10.2%	183.6	10.0%	1,041.1	12.8%
形成外科	13.4	0.3%			2.1	0.1%	15.6	0.8%	31.1	0.4%
気管食道科										
脳神経外科	273.5	6.5%	37.5	7.4%	111.9	7.0%	116.9	6.3%	539.8	6.6%
呼吸器外科	12.4	0.3%					7.0	0.4%	19.4	0.2%
心臓血管外科	41.2	1.0%			20.7	1.3%	3.0	0.2%	64.9	0.8%
小児外科							2.5	0.1%	2.5	0.0%
皮膚科	33.9	0.8%	5.2	1.0%	6.4	0.4%	10.8	0.6%	56.3	0.7%
泌尿器科	142.9	3.4%	16.4	3.3%	60.0	3.8%	47.3	2.6%	266.6	3.3%
産婦人科	264.7	6.3%	12.0	2.4%	71.1	4.5%	87.1	4.7%	434.9	5.3%
産科							23.4	1.3%	23.4	0.3%
婦人科					2.6	0.2%			2.6	0.0%
眼科	55.6	1.3%	2.5	0.5%	14.9	0.9%	15.4	0.8%	88.4	1.1%
耳鼻咽喉科	92.4	2.2%	9.7	1.9%	27.5	1.7%	38.4	2.1%	168.0	2.1%
リハビリテーション科	126.2	3.0%							126.2	1.5%
放射線科	4.2	0.1%							4.2	0.1%
病理										
麻酔科	0.9	0.0%			0.7	0.0%	0.2	0.0%	1.8	0.0%
こよう門科										
歯科口腔外科	12.9	0.3%			2.5	0.2%	2.9	0.2%	18.3	0.2%
歯科	1.0	0.0%					1.2	0.1%	2.2	0.0%
矯正歯科										
合計	4,225.5	100.0%	503.6	100.0%	1,587.6	100.0%	1,841.1	100.0%	8,157.8	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したものの。

医師(常勤)一人一日当たり入院患者数

<全体>—主な診療科—

患者数の多い診療科では、「リハビリテーション科」が21.0人、「内科」が12.3人、「脳神経外科」が12.0人、「整形外科」が11.0人などに対し、患者数の少ない診療科では、「皮膚科」が2.3人、「眼科」が2.5人、「形成外科」が3.5人などであった。

<地域別>

- ・ 地域計では、村山地域が5.8人と最も少なく、次いで庄内地域が7.6人、最上地域が8.0人、置賜地域が8.3人であった。
- ・ 内科：村山地域が10.3人、最上地域が10.6人に対し、庄内地域が16.1人、置賜地域が17.8人と各2地域がそれぞれ同水準の患者数となっている。
- ・ 神経内科（神経科）：置賜地域が14.3人、庄内地域が13.2人、村山地域が8.4人に対し、最上地域が0.0人となっている。
- ・ 小児科：最上地域が4.2人、庄内地域が4.5人、村山地域が7.0人に対し、置賜地域が15.4人で最上地域及び庄内地域の3倍以上となっている。
- ・ 外科：最上地域が6.6人、村山地域及び置賜地域がともに6.9人に対し、庄内地域が8.0人と他3地域に比べ多いが、際立った差異は見られなかった。
- ・ 整形外科：最上地域が12.9人、村山地域が11.4人、庄内地域が10.2人、置賜地域が9.5人と際立った差異は見られなかった。
- ・ 脳神経外科：村山地域が9.4人に対し、最上地域が18.8人、置賜地域が16.0人、庄内地域が16.7人で村山地域は他3地域の約半分となっている。
- ・ 皮膚科：最上地域が2.6人、村山地域及び置賜地域が2.1人に対し、庄内地域が3.6人と他3地域に比べやや多い。
- ・ 泌尿器科：村山地域が5.5人、庄内地域が5.9人に対し、最上地域が8.2人、置賜地域が8.6人とやや多くなっている。
- ・ 産婦人科：庄内地域が8.7人、村山地域が8.3人、置賜地域が7.9人に対し、最上地域が12.0人と比較的多くなっている。
- ・ 眼科：最上地域が1.3人と最も少なく、村山地域及び庄内地域がともに2.6人、置賜地域が2.1人で、最上地域以外の3地域ではほとんど差がなかった。
- ・ 耳鼻咽喉科：村山地域が4.4人、置賜地域が4.6人、最上地域が4.9人に対し、庄内地域が6.4人と若干多くなっている。

表4-13-2 医療一ノ宮たけ一日平均入院患者数（地域別・診療科別）

（単位：人）

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	合計
内科	10.3	10.6	17.8	16.1	12.3
精神科	3.9		15.6	2.9	7.7
神経内科(神経科)	8.4	0.0	14.3	13.2	9.5
呼吸器科	8.0		7.8	15.0	8.9
消化器科・胃腸科	5.9		4.2	9.3	6.4
アレルギー科	0.0		0.0	0.0	0.0
小児科	7.0	4.2	15.4	4.5	7.8
外科	6.9	6.6	6.9	8.0	7.2
整形外科	11.4	12.9	9.5	10.2	11.0
形成外科	3.4		2.1	3.9	3.5

脳神経外科	9.4	18.8	16.0	16.7	12.0
呼吸器外科	6.2			1.8	3.2
心臓血管外科	4.6		6.9	0.6	3.8
小児外科	0.0			2.5	1.3
皮膚科	2.1	2.6	2.1	3.6	2.3
泌尿器科	5.5	8.2	8.6	5.9	6.2
産婦人科	8.3	12.0	7.9	8.7	8.4
産科				7.8	7.8
婦人科	0.0			0.0	1.3
眼科	2.6	1.3	2.1	2.6	2.5
耳鼻咽喉科	4.4	4.9	4.6	6.4	4.8
リハビリテーション科	25.2			0.0	21.0
放射線科	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1
麻酔科	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
病理	0.0		0.0	0.0	0.0
歯科口腔外科	1.1		0.8	1.0	1.0
歯科	0.2			0.6	0.3
合計	5.8	8.0	8.3	7.6	6.7

<病院種別>

- ・ 内科：「国立」が4.8人と最も少なく、「自治体」が10.0人、「公立・公的」が15.9人、「私的」が28.0人となっている。
- ・ 小児科：「私的」が1.2人と最も少なく、次いで「公立・公的」が4.6人、「自治体」が5.0人に対し、国立が18.9人と他病院種別の4倍弱から約15倍の入院患者数となっている。
- ・ 外科：「国立」が4.1人と最も少なく、「自治体」が6.4人、「公立・公的」が8.5人、「私的」が9.8人であった。
- ・ 脳神経外科：「国立」が3.3人と極めて少なく、「自治体」が11.4人、「公立・公的」が19.7人、「私的」が22.1人と国立以外はほぼ同水準であった。
- ・ 泌尿器科：「国立」が2.5人と最も少なく、次いで「公立・公的」が7.1人、「自治体」が7.2人、「私的」が7.6人で「国立」以外はほとんど差がなかった。
- ・ 産婦人科：「国立」が4.7人に対し、「公立・公的」が8.7人、「自治体」が9.2人、「私的」が9.9人で「国立」以外はほとんど差がなかった。
- ・ 眼科：「公立・公的」が1.6人と最も少なく、次いで「国立」が2.5人、「自治体」が2.8人、「私的」が2.7人であった。
- ・ 耳鼻咽喉科：「私的」が2.8人と最も少なく、次いで「国立」が3.0人、「公立・公的」が4.2人、「自治体」が6.2人であった。

表 4-1-1 村山地域における診療科別入院患者数（診療科別）

(単位:人)

	国立	公立・公的	自治体	私的	全体
内科	4.8	15.9	10.0	28.0	12.3
精神科	6.1	14.3	6.2		7.7
神経内科(神経科)	14.1	11.0	7.0	0.0	9.5
呼吸器科	17.4	0.0	16.0	3.9	8.9
消化器科・胃腸科	0.0	1.0	10.4	7.2	6.4
循環器科		0.0	5.5	6.6	4.1
小児科	18.9	4.6	5.0	1.2	7.8
外科	4.1	8.5	6.4	9.8	7.2
整形外科	4.1	10.8	10.6	21.4	11.0
形成外科		2.8	3.5		3.5
脳神経外科	3.3	19.7	11.4	22.1	12.0
呼吸器外科			3.2		3.2
心臓血管外科		6.2	2.5	3.0	3.8
小児外科			2.5	0.0	1.3
皮膚科	2.1	1.8	2.4	4.1	2.3
泌尿器科	2.5	7.1	7.2	7.6	6.2
産婦人科	4.7	8.7	9.2	9.9	8.4
産科			7.8		7.8
婦人科			2.6	0.0	1.3
眼科	2.5	1.6	2.8	2.7	2.5
耳鼻咽喉科	3.0	4.2	6.2	2.8	4.8
リハビリテーション科	22.6	12.1		28.5	21.0
放射線科	0.4	0.0	0.0	0.0	0.1
麻酔科	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
病理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
歯科口腔外科	1.3	0.8	1.2	0.4	1.0
歯科	0.0	0.0	0.7	0.0	0.3
合計	5.3	7.7	7.0	13.2	7.5

医療施設への入院患者集中化の状況

地域の診療科別入院患者数について、医療施設上位(3位まで)の占める比率を基に、医療圏における医療施設への集中化状況を比較した。

村山地域：診療科合計では、上位1施設で全体の15.6%、上位2施設で30.2%と3割を占め、上位3施設では44.5%を占めている。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしている診療科は、「循環器科」「呼吸器外科」「心療内科」「歯科」であった。

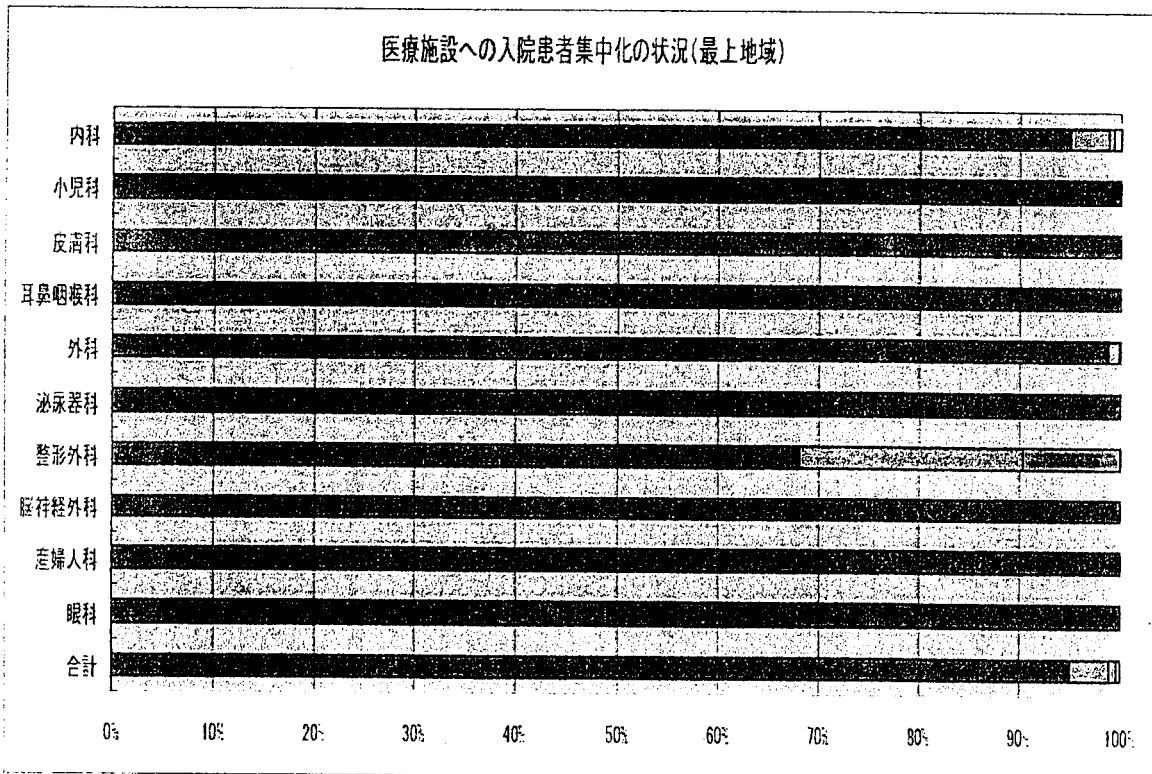
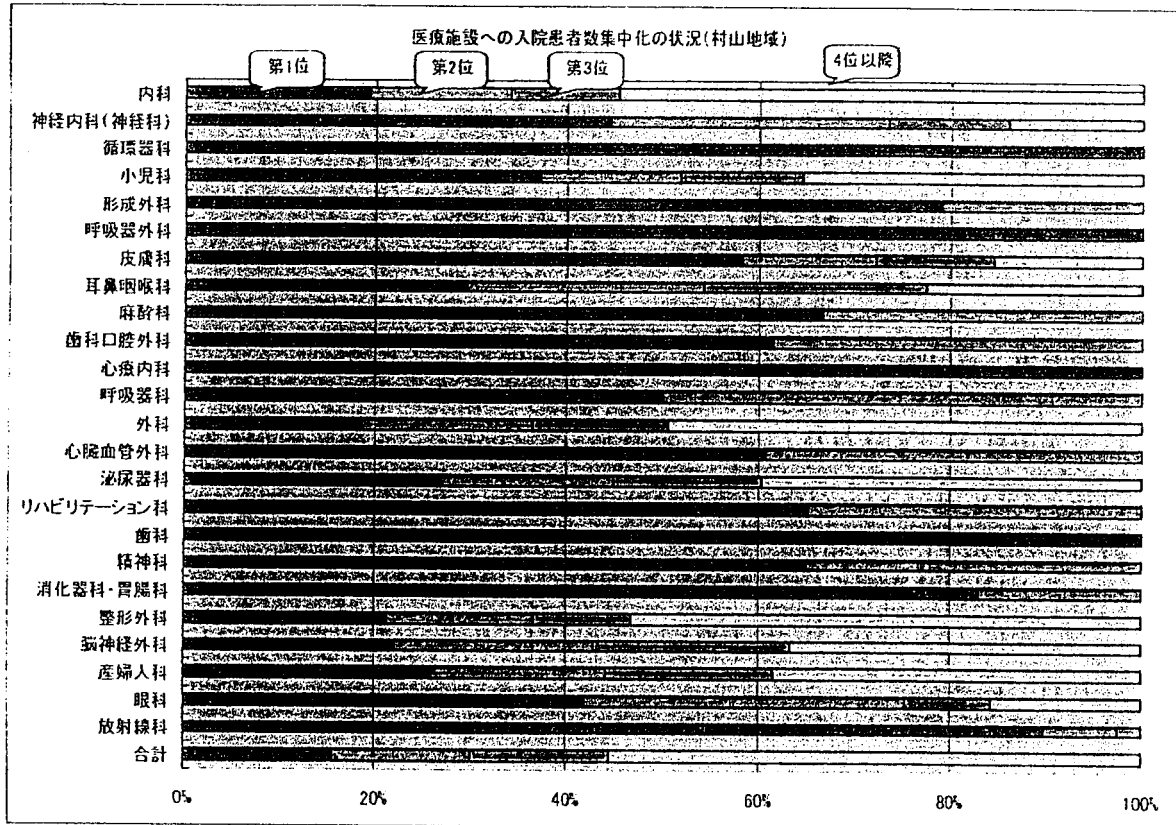
上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「形成外科」「歯科口腔外科」「心臓血管外科」などであった。上位3施設で地域全体をカバーしているのは、「放射線科」であった。一方、上位3施設の比率が最も低い（各施設に分散されている）のは「内科」が45.3%、「整形外科」が46.8%、次いで「外科」が50.6%などであった。

・最上地域：全体で4施設と母数が少ないこともあり、診療科合計では、上位1施設で地域全体の95.0%、上位2施設で99.0%、上位3施設で99.6%に達している。診療科別では、「内科」「外科」「整形外科」を除き、すべて1施設で地域全体をカバーしている。

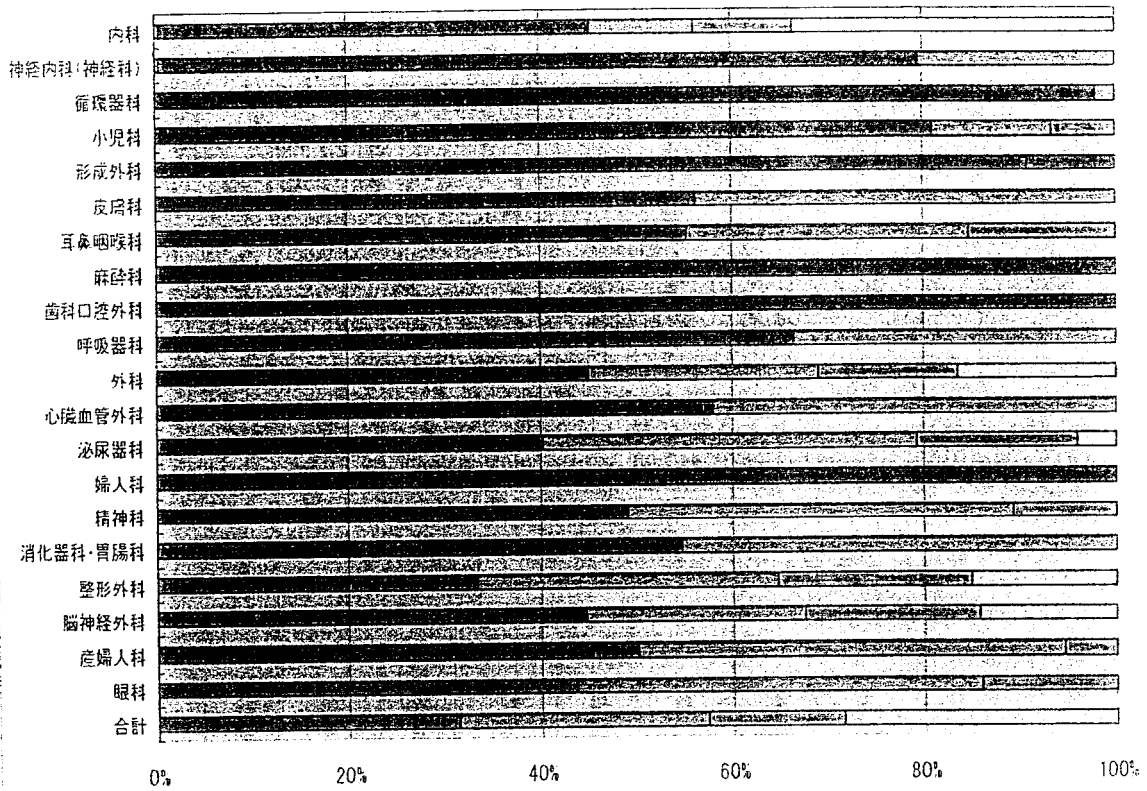
・置賜地域：合計では、上位1施設で全体の31.3%、上位2施設で57.5%、上位3施設で71.6%と7割以上に達している。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしている診療科は、「形成外科」「歯科口腔外科」などであった。同じく上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「神経内科（神経科）」「循環器科」「皮膚科」「心臓血管外科」「消化器科・胃腸科」などであった。同じく上位3施設で地域全体をカバーしているのは、「小児科」「耳鼻咽喉科」「精神科」「産婦人科」「眼科」などであった。一方、上位3施設の比率が最も低いのは「内科」が65.5%、「外科」が83.5%、「整形外科」が85.0%などであった。

・庄内地域：合計では、上位1施設で全体の27.3%、上位2施設で50.9%、上位3施設で69.4%と約7割を占めている。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしている診療科は、「心臓血管外科」「精神科」「小児外科」などであった。同じく上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「神経内科（神経科）」「循環器科」「形成外科」「歯科口腔外科」「消化器科・胃腸科」であった。上位3施設で地域全体をカバーしているのは、「皮膚科」「耳鼻咽喉科」「産婦人科」「眼科」であった。一方、上位3施設の比率が最も低い（各施設に分散配置されている）のは「外科」で56.5%などであった。

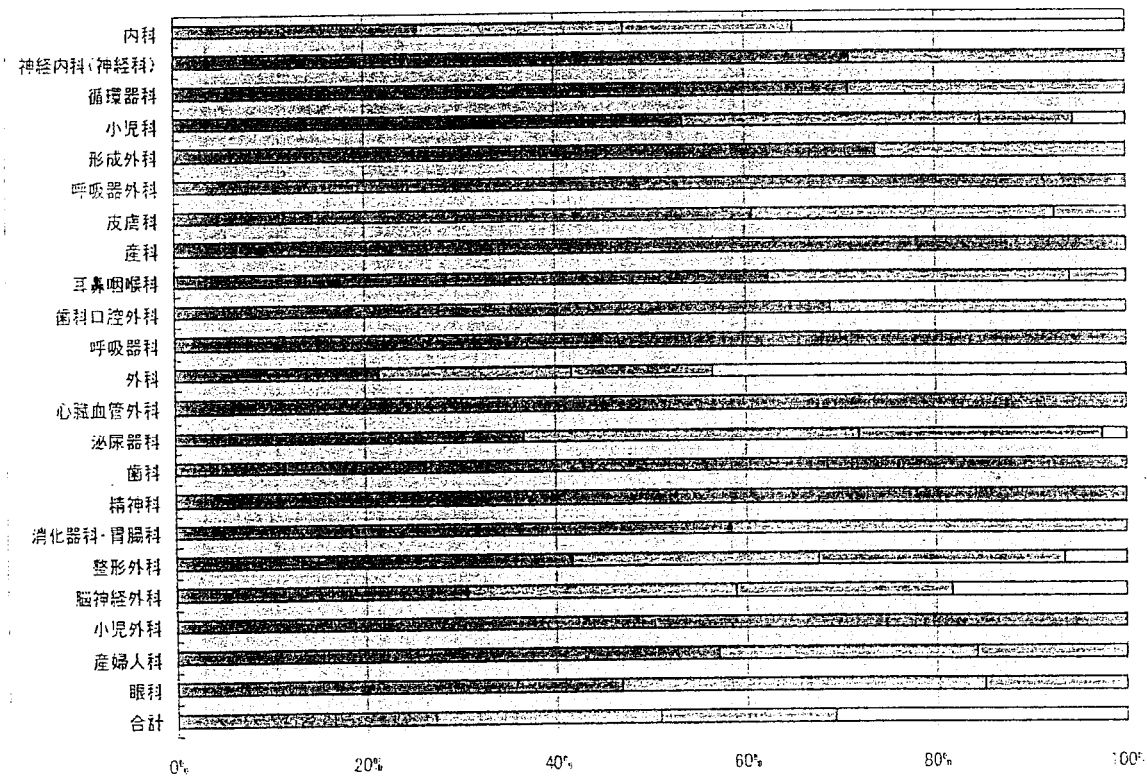
表 4- (1) -4 医療施設への入院患者集中化の状況 (地域別・診療科別)



医療施設への入院患者集中化の状況(置賜地域)



医療施設への入院患者集中化の状況(庄内地域)



医師一人当たり一日平均入院患者の医療施設分布

診療科別医師数及び同一日平均入院患者数から、医師一人が一日に入院治療に関わる患者数の施設分布を比較した。

一日平均入院患者数「5人未満」が最も多い施設数割合の主な診療科は、「形成外科」が5施設（100.0%）、「眼科」が14施設（93.3%）、「小児科」が12施設（60.0%）、「精神科」が5施設（55.6%）などであった。「5～10人」が最も多い診療科は、「外科」が18施設（50.0%）、「内科」が14施設（35.0%）などであった。「10～15人」は、「神経内科（神経科）」が5施設（41.7%）などであった。「15～20人」は、「脳神経外科」が6施設（40.0%）であった。また、「整形外科」は「5～10人」及び「10～15人」がともに8施設（33.3%）、「産婦人科」は「5～10人」及び「10～15人」がともに6施設（31.6%）であった。さらに「20人以上」を取り扱う医療施設が、「内科」が9施設（22.5%）、「整形外科」が3施設（12.5%）あったことが特徴的である。

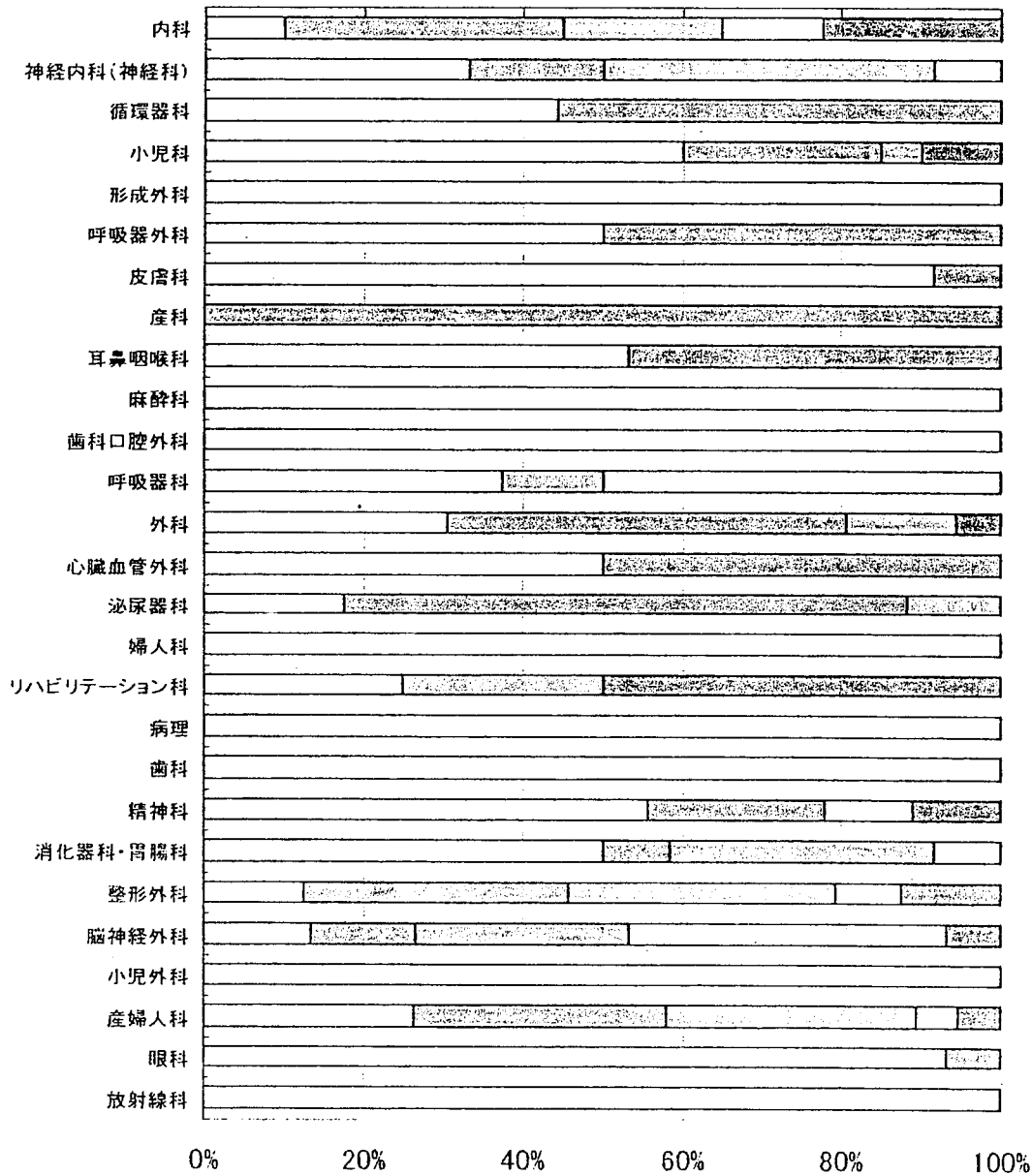
表 4. (1) -5 医師一人当たり一日平均入院患者数の医療施設分布（診療科別）

	～5人		5～10人		10～15人		15～20人		20人以上		合計
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	
内科	4	10.0%	14	35.0%	8	20.0%	5	12.5%	9	22.5%	40
精神科	5	55.6%	2	22.2%			1	11.1%	1	11.1%	9
神経内科(神経科)	4	33.3%	2	16.7%	5	41.7%	1	8.3%			12
呼吸器科	3	37.5%			1	12.5%	4	50.0%			8
消化器科・胃腸科	6	50.0%	1	8.3%	4	33.3%	1	8.3%			12
循環器科	4	44.4%	5	55.6%							9
小児科	12	60.0%	5	25.0%	1	5.0%			2	10.0%	20
外科	11	30.6%	18	50.0%	5	13.9%			2	5.6%	36
整形外科	3	12.5%	8	33.3%	8	33.3%	2	8.3%	3	12.5%	24
形成外科	5	100.0%									5
脳神経外科	2	13.3%	2	13.3%	4	26.7%	6	40.0%	1	6.7%	15
呼吸器外科	1	50.0%	1	50.0%							2
心臓血管外科	3	50.0%	3	50.0%							6
小児外科	2	100.0%									2
皮膚科	11	91.7%	1	8.3%							12
泌尿器科	3	17.6%	12	70.6%	2	11.8%	0	0.0%	0	0.0%	17
産婦人科	5	26.3%	6	31.6%	6	31.6%	1	5.3%	1	5.3%	19
産科	0	0.0%	1	100.0%							1

婦人科	2	100.0%								2
眼科	14	93.3%	1	6.7%						15
耳鼻咽喉科	8	53.3%	7	46.7%						15
リハビリテーション科	1	25.0%			1	25.0%		2	50.0%	4
放射線科	15	100.0%								15
麻酔科	16	100.0%								16
病理	9	100.0%								9
歯科口腔外科	7	100.0%								7
歯科	5	100.0%								5

医師一人当たり一日平均入院患者数の医療施設分布

□ ~5人 □ 5~10人 □ 10~15人 □ 15~20人 □ 20人以上



(2) 地域別入院患者延べ数

全体

地域ごとに見ると、全入院患者のうち村山地域が46.2%と半分近くを占めている。次いで置賜地域が21.5%、庄内地域が18.7%、最上地域が10.1%、県外が2.5%などとなっている。

地域別割合

- ・ 村山地域：地域全体の入院患者のうち、自医療圏の患者が91.7%を占めており、置賜地域が2.9%、最上地域が1.7%、庄内地域が0.8%となっている。
- ・ 最上地域：地域全体の入院患者のうち、自医療圏の患者が92.2%を占めており、村山地域が2.5%、庄内地域が0.2%、置賜地域が0.0%となっている。
- ・ 置賜地域：地域全体の入院患者のうち、自医療圏の患者が89.5%を占めているが、自診療圏の患者割合が最も低い。村山地域が3.1%、庄内地域が1.4%、最上地域が0.7%となっている。
- ・ 庄内地域：地域全体の入院患者のうち、自医療圏の患者が97.2%を占めており、4地域の中で自診療圏の患者割合が最も高い。最上地域が0.5%、村山地域が0.3%、置賜地域が0.1%となっている。

表 4-12 出身地別別・院別患者数

(単位:人)

患者出身 地域	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		県外		その他 住所不明		合計
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数
村山地域	734,667	91.7%	13,359	1.7%	22,861	2.9%	6,117	0.8%	17,654	2.2%	6,322	0.8%	800,980
最上地域	3,935	2.5%	147,087	92.2%	31	0.0%	290	0.2%	1,177	0.7%	7,014	4.4%	159,534
置賜地域	11,148	3.1%	2,469	0.7%	325,523	89.5%	5,077	1.4%	17,900	4.9%	1,750	0.5%	363,867
庄内地域	853	0.3%	1,369	0.5%	167	0.1%	291,696	97.2%	4,172	1.4%	1,750	0.6%	300,007
合計	750,603		164,284		348,582		303,180		40,903		16,836		1,624,388

(3) 診療科別一日平均外来患者数

全体

「内科」が5,861.7人で最も多く、全体の外来患者数19,239.9人の30.5%を占めている。次いで、「整形外科」が2,463.3人(12.8%)、「外科」が1,678.1人(8.7%)、「産婦人科」が1,099.0人(5.7%)、「眼科」が1,046.5人(5.4%)、「小児科」が1,045.0人(5.4%)、「耳鼻咽喉科」が996.7人(5.2%)などであった。

地域別の特徴

- ・ 村山地域：「内科」が2,868.3人で地域計9,022.1人の31.8%を占めている。次いで、「整形外科」が1,209.9人(13.4%)、「外科」が664.5人(7.4%)、「産婦人科」が641.8人(7.1%)などとなっている。同地域では、産婦人科患者の割合が他地域(2.5%~6.0%)に比べ高いのが特徴的である。
- ・ 最上地域：「内科」が693.9人(地域計1,702.0人の40.8%)と最も多く、次いで「整形外科」が246.1人(14.5%)、「耳鼻咽喉科」が178.7人(10.5%)、「外科」が138.2人(8.1%)、「泌尿器科」が90.9人(5.3%)などとなっている。同地域では、「耳鼻咽喉科」の外来患者数割合が10.5%と、他地域の2倍以上となっている。

ことが特徴的である。

- ・ 置賜地域：「内科」が1,227.9人（地域計4,359.6人の28.2%）と最も多く、次いで「整形外科」が589.2人（13.5%）、「外科」が288.3人（6.6%）、「小児科」が285.4人（6.5%）、「耳鼻咽喉科」が236.0人（5.4%）などとなっている。
- ・ 庄内地域：「内科」が1,071.6人（地域計4,156.3人の25.8%）と最も多く、次いで「外科」が587.1人（14.1%）、「整形外科」が418.1人（10.1%）、「産婦人科」が247.7人（6.0%）、「小児科」が238.1人（5.7%）などとなっている。同地域は、「外科」の外来患者数割合が14.1%と全体平均8.7%を大きく上回っていることが特徴的である。

表4-19-1 一日平均外来患者数（地域別・診療科別）

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	21	割合	4	割合	9	割合	10	割合	44	割合
内科	2,868.3	31.8%	693.9	40.8%	1,227.9	28.2%	1,071.6	25.8%	5,861.7	30.5%
心療内科	40.6	0.5%					0.2	0.0%	40.8	0.2%
精神科	152.0	1.7%			189.3	4.3%	119.4	2.9%	460.7	2.4%
神経内科(神経科)	172.8	1.9%	17.0	1.0%	66.6	1.5%	91.4	2.2%	347.8	1.8%
呼吸器科	53.8	0.6%			60.9	1.4%	42.9	1.0%	157.6	0.8%
消化器科・胃腸科	146.0	1.6%			117.0	2.7%	195.2	4.7%	458.2	2.4%
循環器科	88.9	1.0%			77.6	1.8%	91.1	2.2%	257.6	1.3%
アレルギー科										
リウマチ科										
小児科	441.7	4.9%	79.8	4.7%	285.4	6.5%	238.1	5.7%	1,045.0	5.4%
外科	664.5	7.4%	138.2	8.1%	288.3	6.6%	587.1	14.1%	1,678.1	8.7%
整形外科	1,209.9	13.4%	246.1	14.5%	589.2	13.5%	418.1	10.1%	2,463.3	12.8%
形成外科	60.8	0.7%			34.7	0.8%	57.4	1.4%	152.9	0.8%
気管食道科										
脳神経外科	296.2	3.3%	55.0	3.2%	218.9	5.0%	173.4	4.2%	743.5	3.9%
呼吸器外科	16.9	0.2%					12.1	0.3%	29.0	0.2%
心臓血管外科	39.0	0.4%			19.3	0.4%			58.3	0.3%
小児外科					19.2	0.4%	4.1	0.1%	23.3	0.1%
皮膚科	323.4	3.6%	69.5	4.1%	166.8	3.8%	163.1	3.9%	722.8	3.8%
泌尿器科	389.0	4.3%	90.9	5.3%	204.1	4.7%	191.8	4.6%	875.8	4.6%
産婦人科	641.8	7.1%	42.7	2.5%	166.8	3.8%	247.7	6.0%	1,099.0	5.7%
産科							49.6	1.2%	49.6	0.3%
婦人科	0.4	0.0%	1.7	0.1%	64.3	1.5%	0.6	0.0%	67.0	0.3%
眼科	512.1	5.7%	84.4	5.0%	248.9	5.7%	201.1	4.8%	1,046.5	5.4%
耳鼻咽喉科	417.7	4.6%	178.7	10.5%	236.0	5.4%	164.3	4.0%	996.7	5.2%
リハビリテーション科	86.3	1.0%							86.3	0.4%

放射線科	113.4	1.3%	4.0	0.2%	10.5	0.2%	16.6	0.4%	144.5	0.8%
病理										
麻酔科	25.0	0.3%			24.6	0.6%	1.6	0.0%	51.2	0.3%
こう門科										
歯科口腔外科	156.6	1.7%			43.0	1.0%	27.7	0.7%	227.3	1.2%
歯科	103.8	1.2%			0.3	0.0%	47.5	1.1%	151.6	0.8%
矯正歯科										
合計	9,022.1	100.0%	1,702.0	100.0%	4,359.6	100.0%	4,156.3	100.0%	19,239.9	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したものである。

医師（常勤）一人一日当たり外来患者数

<全体>

全体の医師一人一日当たり外来患者数は、17.8人であった。

患者数の多い診療科では、「皮膚科」が30.1人、「眼科」が29.1人、「耳鼻咽喉科」が28.5人、「内科」が26.6人、「整形外科」が25.9人などに対し、「小児科」が10.9人、「脳神経外科」が16.5人、「形成外科」が17.0人など相対的に少なかった。

地域では、村山地域が14.7人と最も少なく、次いで庄内地域が18.1人、置賜地域が24.2人、最上地域が28.4人であった。

<地域別>

- ・ 内科：村山地域が21.9人と最も少なく、次いで庄内地域が26.8人、最上地域が28.9人に対し、置賜地域が49.1人で村山地域の倍以上であった。
- ・ 神経内科（神経科）：村山地域が9.6人、置賜地域が16.7人、最上地域が17.0人に対し、庄内地域は30.5人で他地域の2倍から3倍となっている。
- ・ 小児科：村山地域が12.6人と最も少なく、庄内地域が19.8人、置賜地域が28.5人に対し、最上地域は39.9人で他地域の2倍から3倍となっている。
- ・ 外科：村山地域8.7人、置賜地域11.5人、庄内地域13.7人、最上地域13.8人となっている。
- ・ 整形外科：村山地域が22.8人、庄内地域が23.2人に対し、置賜地域が34.7人、最上地域が35.2人と前者2地域と後者2地域で一日当たり10人以上の差が見られる。
- ・ 脳神経外科：村山地域が10.2人に対し、庄内地域が24.8人、最上地域が27.5人、置賜地域が31.3人となっており、村山地域と他3地域との差が大きい。
- ・ 皮膚科：村山地域が20.2人に対し、最上地域が34.8人、庄内地域が54.4人、置賜地域が55.6人と村山地域と他3地域との差が大きい。
- ・ 泌尿器科：村山地域が15.0人に対し、庄内地域が24.0人、置賜地域が29.2人、最上地域が45.5人と地域ごとの格差がやや大きい。
- ・ 産婦人科：置賜地域が18.5人、村山地域が20.1人、庄内地域が24.8人に対し、最上地域が42.7人と他3地域の2倍以上または2倍程度となっている。
- ・ 眼科：村山地域が24.4人、次いで庄内地域が33.5人、置賜地域が35.6人、最上地域が42.2人となっている。

耳鼻咽喉科：村山地域が19.9人、次いで庄内地域が27.4人、置賜地域が39.3人、最上地域が89.4人となっており、最上地域は庄内地域及び置賜地域の2倍以上、村山地域の5倍弱の外来患者数となっている。

表4-3-2 医師一人当たり一日平均外来患者数（地域別・診療科別）

（単位：人）

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	診療科計
内科	21.9	28.9	49.1	26.8	26.6
精神科	10.9		21.0	29.9	17.1
神経内科(神経科)	9.6	17.0	16.7	30.5	13.4
呼吸器科	4.1		10.2	14.3	7.2
消化器科-胃腸科	9.7		7.8	13.9	10.4
循環器科	8.9		7.1	9.1	8.3
小児科	12.6	39.9	28.5	19.8	17.7
外科	8.7	13.8	11.5	13.7	10.9
整形外科	22.8	35.2	34.7	23.2	25.9
形成外科	15.2		34.7	14.4	17.0
脳神経外科	10.2	27.5	31.3	24.8	16.5
呼吸器外科	8.5			3.0	4.8
心臓血管外科	4.3		6.4	0.0	3.4
小児外科	0.0			4.1	11.7
皮膚科	20.2	34.8	55.6	54.4	30.1
泌尿器科	15.0	45.5	29.2	24.0	20.4
産婦人科	20.1	42.7	18.5	24.8	21.1
産科				16.5	16.5
婦人科	0.4			0.6	33.5
眼科	24.4	42.2	35.6	33.5	29.1
耳鼻咽喉科	19.9	89.4	39.3	27.4	28.5
リハビリテーション科	17.3			0.0	14.4
放射線科	5.2	2.0	2.6	4.2	4.5
麻酔科	0.9	0.0	4.1	0.2	1.1
病理	0.0		0.0	0.0	0.0
歯科口腔外科	13.1		14.3	9.2	12.6
歯科	20.8			23.8	21.7
地域計	14.7	28.4	24.2	18.1	17.8

<病院種別>

- ・ 内科：「国立」が7.6人と他種別に比べ最も少なく、「自治体」26.9人、「私的」37.0人、「自治体」26.9人、「公立・公的」41.7人と大きな差が見られた。
- ・ 小児科：「国立」が4.3人で最も少なく、「自治体」が19.5人、「私的」が19.9人、「公立・公的」が29.5人と他3種別との格差が大きかった。
- ・ 外科：「国立」が3.2人に対し、「自治体」が10.8人、「公立・公的」が11.3人、「私的」が15.1人となっている。
- ・ 整形外科：「国立」が9.2人と最も少なく、次いで「自治体」が26.7人、「公立・公的」が27.3人、「私的」が39.0人であった。
- ・ 脳神経外科：「国立」が3.0人と最も少なく、「自治体」が15.8人、「公立・公的」が28.0人、「私的」が32.2人であった。
- ・ 泌尿器科：「国立」が3.4人と最も少なく、「私的」が20.3人、「自治体」が24.6人、「公立・公的」が27.5人であった。
- ・ 産婦人科：「国立」が7.8人に対し、「公立・公的」が20.3人、「私的」が25.3人、「自治体」が25.8人であった。
- ・ 眼科：「国立」が8.9人に対し、「私的」が27.2人、「公立・公的」が36.7人、「自治体」が37.0人であった。
- ・ 耳鼻咽喉科：「国立」が6.4人に対し、「公立・公的」が35.2人、「自治体」が35.3人、「私的」が46.4人であった。
- ・ 医師一人一日当たり平均外来患者数において、4病院種別のうち最も多い平均患者数（4病院種別すべてで患者数が計上された診療科）で「公立・公的」が1位となったのは「内科」「小児科」「皮膚科」「泌尿器科」、「私的」が1位となったのは「神経内科（神経科）」「外科」「整形外科」「脳神経外科」「耳鼻咽喉科」「歯科」「口腔外科」、 「国立」はゼロ、その他の診療科では「自治体」が1位であった。

表1-1-2 医師一人当たり一日当たり平均外来患者数（病院種別・診療科別）

(単位:人)

	国立	公立・公的	自治体	私的	診療科計
内科	7.6	41.7	26.9	37.0	26.6
精神科	9.3	15.5	21.3		17.1
神経内科(神経科)	4.1	14.1	17.1	36.5	13.4
呼吸器科	4.9	0.0	14.1	7.4	7.2
消化器科・胃腸科	0.0	2.9	15.7	12.5	10.4
循環器科		0.0	10.9	14.0	8.3
小児科	4.3	29.5	19.5	19.9	17.7
外科	3.2	11.3	10.8	15.1	10.9
整形外科	9.2	27.3	26.7	39.0	25.9
形成外科		17.7	16.9		17.0
脳神経外科	3.0	28.0	15.8	32.2	16.5

呼吸器外科			4.8		4.8
心臓血管外科		4.2	3.3	0.0	3.4
小児外科			20.6	0.0	11.7
皮膚科	6.7	46.4	44.9	37.4	30.1
泌尿器科	3.4	27.5	24.6	20.3	20.4
産婦人科	7.8	20.3	25.8	25.3	21.1
産科			16.5		16.5
婦人科			25.2	5.8	33.5
眼科	8.9	36.7	37.0	27.2	29.1
耳鼻咽喉科	6.4	35.2	35.3	46.4	28.5
リハビリテーション科	5.2	34.4		3.6	14.4
放射線科	2.3	2.9	6.9	4.6	4.5
麻酔科	1.2	1.2	1.2	0.0	1.1
病理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
歯科口腔外科	8.0	14.3	8.5	28.4	12.6
歯科	12.6	31.5	35.8	0.0	21.7
病院種別計	5.8	20.9	19.5	23.4	17.8

医療施設への外来患者集中化の状況

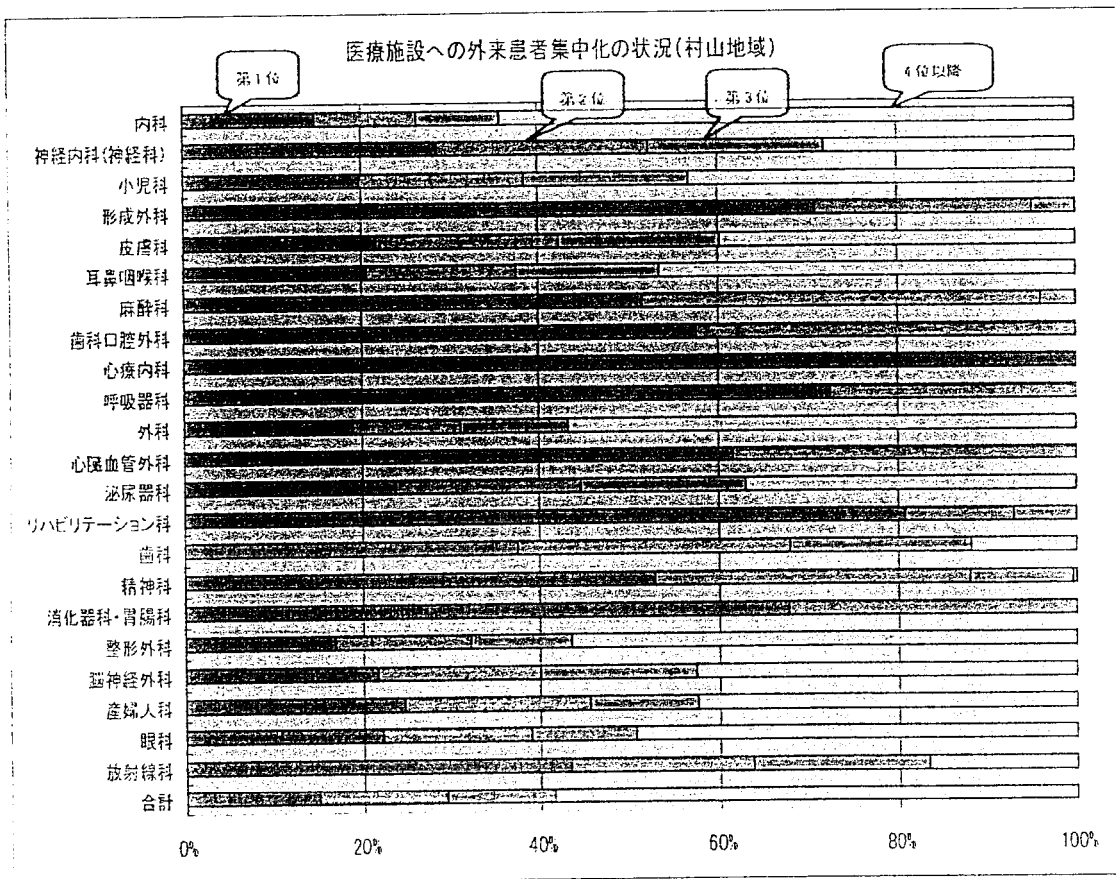
地域の診療科別外来患者数について、医療施設上位(3位まで)の占める比率を基に、医療圏における医療施設への集中化状況を比較した。

- ・ 村山地域：診療科合計では、上位1施設で全体の14.9%、上位2施設で29.5%と約3割を占め、上位3施設では41.5%を占めている。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしている診療科は、「心療内科」のみであった。上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「歯科口腔外科」「心臓血管外科」「消化器科・胃腸科」などであった。上位3施設で地域全体をカバーしているのは、「形成外科」「リハビリテーション科」であった。一方、上位3施設の比率が最も低い(各施設に分散されている)のは「内科」が35.8%、「外科」が43.3%、「整形外科」が43.4%などであった。
- ・ 最上地域：全体で4施設と母数が少ないこともあり、診療科合計では、上位1施設で地域全体の94.9%、上位2施設で98.6%、上位3施設で99.5%に達している。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしているのは、「神経内科(神経科)」「皮膚科」「泌尿器科」「脳神経外科」「産婦人科」「放射線科」であった。上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「小児科」「耳鼻咽喉科」「眼科」であった。上位3施設では「外科」が100%をはじめ、「内科」が99.4%、「整形外科」が99.6%とほぼ100%となっている。
- ・ 置賜地域：合計では、上位1施設で全体の29.6%、上位2施設で57.4%、上位3施設で70.7%と7割以上を占めている。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしている診療科は、「形成外科」「歯科口腔外科」であった。上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「循環器科」「心臓血管外科」「消化器科・胃腸科」などであった。

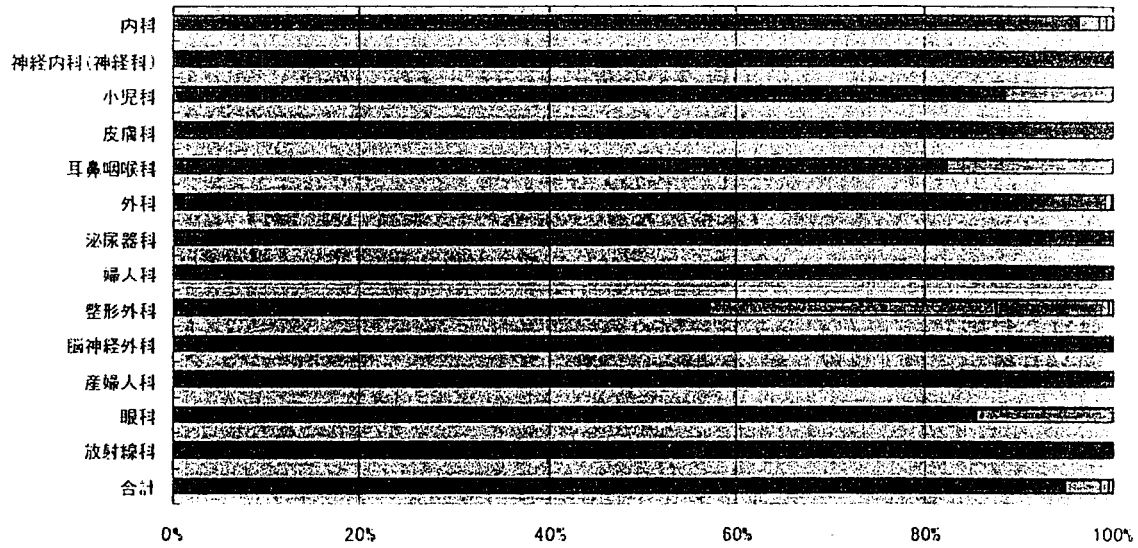
上位3施設で地域全体をカバーしているのは、「小児科」「皮膚科」「精神科」「産婦人科」であった。一方、上位3施設の比率が最も低いのは「外科」が57.0%、「内科」が59.3%、「整形外科」が69.9%などであった。

庄内地域：合計では、上位1施設で全体の27.9%、上位2施設で54.6%、上位3施設で76.7%と約7割以上を占めている。診療科別では、1施設で地域全体をカバーしている診療科は、「呼吸器外科」「歯科」などであった。同じく上位2施設で地域全体をカバーしているのは、「循環器科」「形成外科」「歯科口腔外科」であった。上位3施設で地域全体をカバーしているのは、「神経内科（神経科）」「耳鼻咽喉科」「消化器科・胃腸科」「産婦人科」「眼科」「放射線科」であった。一方、上位3施設の比率が最も低いのは「外科」が56.5%、「内科」が67.3%、「脳神経外科」が81.7%であった。

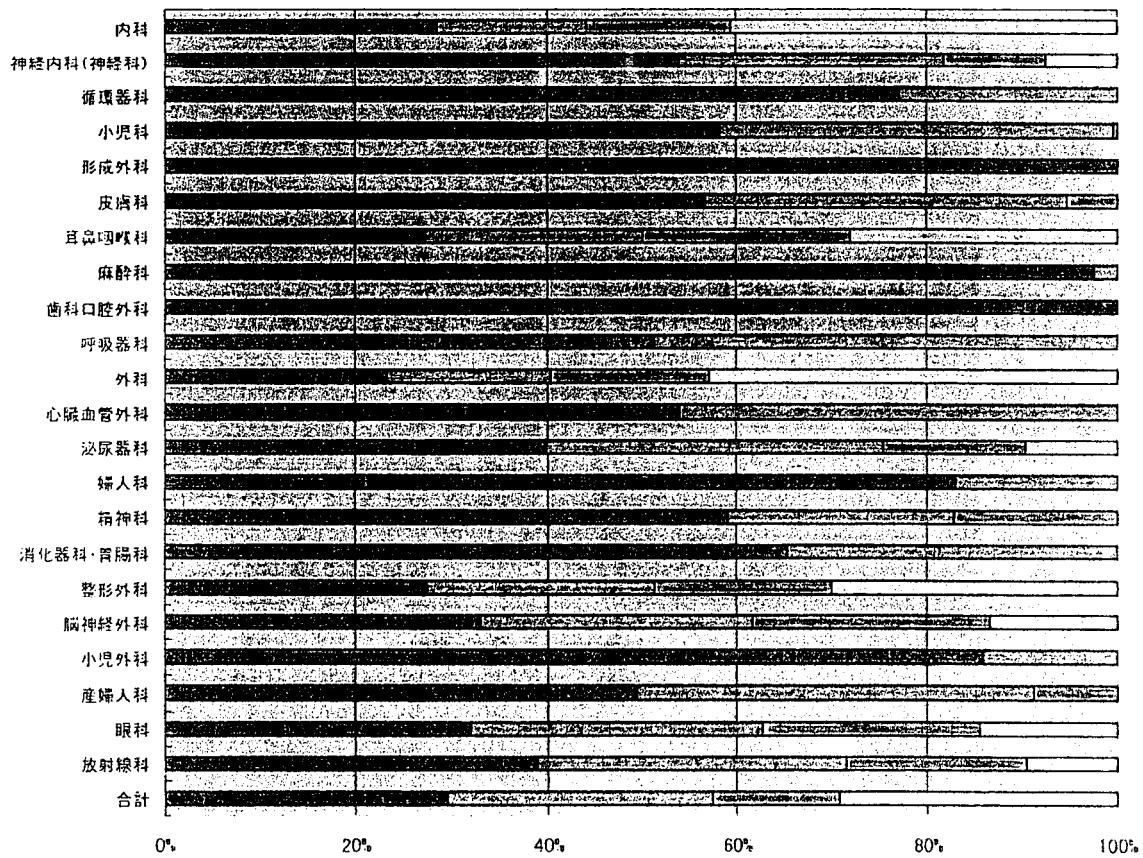
表4-(3)-4 医療施設への外来患者集中化の状況（地域別・診療科別）



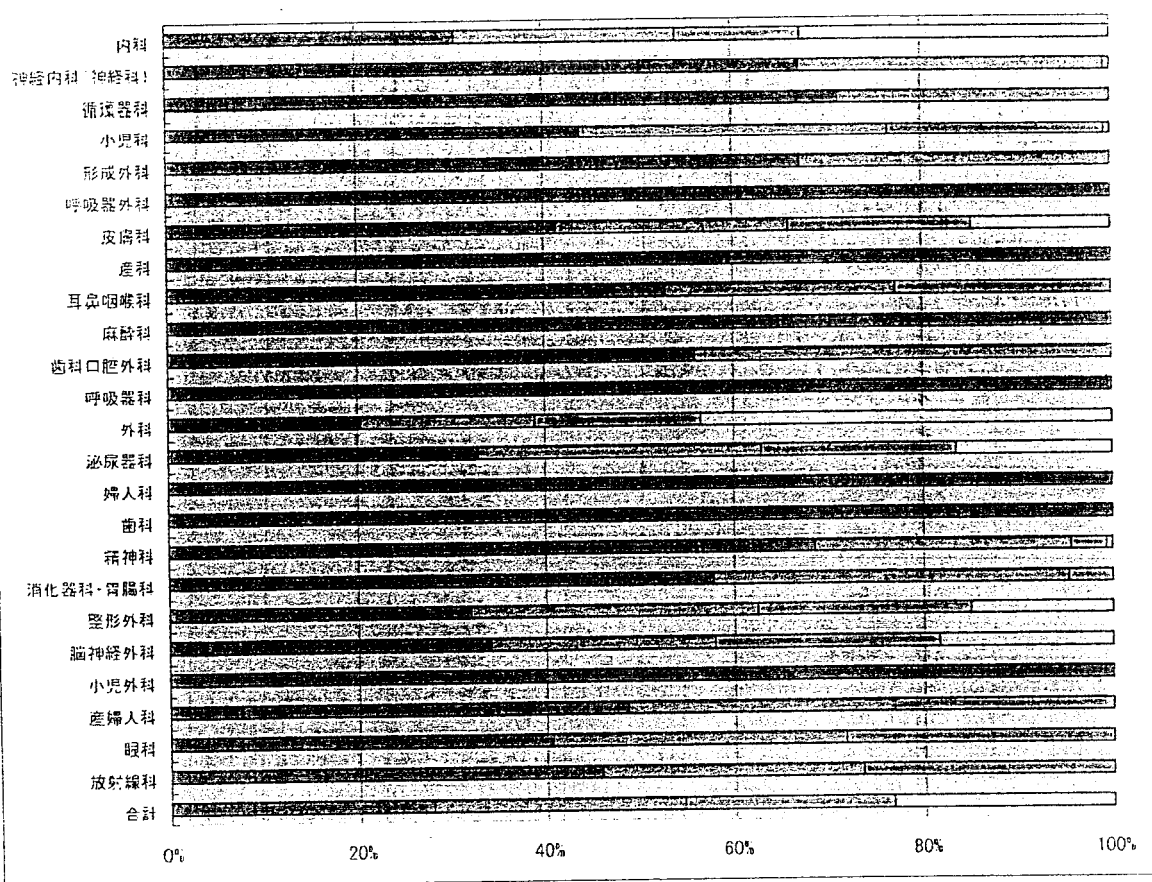
医療施設への外来患者数集中化の状況(最上地域)



医療施設への外来患者集中化の状況(置賜地域)



医療施設への外来患者集中化の状況(庄内地域)



医師一人当たり一日平均外来患者の医療施設分布

診療科別医師数及び同一日平均外来患者数から、医師一人が一日に外来診療に関わる患者数の医療施設分布を比較した。

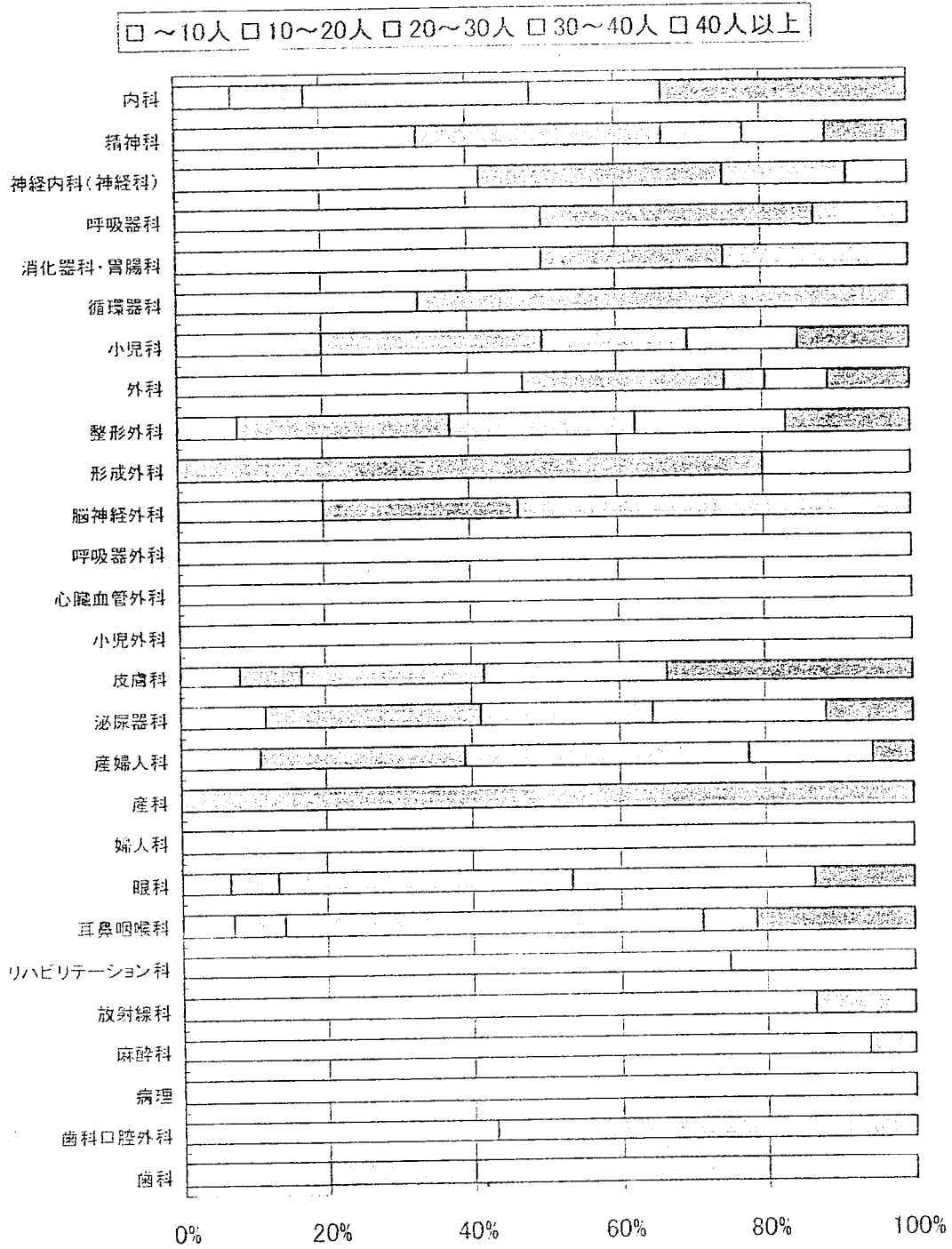
一日平均外来患者数「10人未満」が最も多い施設数割合の主な診療科は、「心臓血管外科」が6施設(100.0%)、「外科」が17施設(47.2%)、「神経内科(神経科)」が5施設(41.7)などであった。「10~20人」は、「形成外科」が4施設(80.0%)、「小児科」が6施設(30.0%)、「泌尿器科」が5施設(29.4%)、「整形外科」が7施設(29.2)などであった。「20~30人」は、「内科」が12施設(30.8%)、「脳神経外科」が8施設(53.3%)、「産婦人科」が7施設(38.9%)、「眼科」が6施設(40.0%)、「耳鼻咽喉科」が8施設(57.1%)などであった。「40人以上」は、「皮膚科」が4施設(33.3%)であった。

表4-(3)-5 医師一人当たり一日平均外来患者数の医療施設分布(診療科別)

	~10人		10~20人		20~30人		30~40人		40人以上		合計
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	
内科	3	7.7%	4	10.3%	12	30.8%	7	17.9%	13	33.3%	39

精神科	3	33.3%	3	33.3%	1	11.1%	1	11.1%	1	11.1%	9
神経内科(神経科)	5	41.7%	4	33.3%	2	16.7%	1	8.3%			12
呼吸器科	4	50.0%	3	37.5%	1	12.5%					8
消化器科・胃腸科	6	50.0%	3	25.0%	3	25.0%					12
循環器科	3	33.3%	6	66.7%							9
小児科	4	20.0%	6	30.0%	4	20.0%	3	15.0%	3	15.0%	20
外科	17	47.2%	10	27.8%	2	5.6%	3	8.3%	4	11.1%	36
整形外科	2	8.3%	7	29.2%	6	25.0%	5	20.8%	4	16.7%	24
形成外科			4	80.0%			1	20.0%			5
脳神経外科	3	20.0%	4	26.7%	8	53.3%					15
呼吸器外科	2	100.0%									2
心臓血管外科	6	100.0%									6
小児外科	2	100.0%									2
皮膚科	1	8.3%	1	8.3%	3	25.0%	3	25.0%	4	33.3%	12
泌尿器科	2	11.8%	5	29.4%	4	23.5%	4	23.5%	2	11.8%	17
産婦人科	2	11.1%	5	27.8%	7	38.9%	3	16.7%	1	5.6%	18
産科			1	100.0%							1
婦人科	2	100.0%									2
眼科	1	6.7%	1	6.7%	6	40.0%	5	33.3%	2	13.3%	15
耳鼻咽喉科	1	7.1%	1	7.1%	8	57.1%	1	7.1%	3	21.4%	14
リハビリテーション科	3	75.0%					1	25.0%			4
放射線科	13	86.7%	2	13.3%							15
麻酔科	15	93.8%	1	6.3%							16
病理	9	100.0%									9
歯科口腔外科	3	42.9%	4	57.1%							7
歯科	1	20.0%	1	20.0%	2	40.0%	1	20.0%			5

医師一人当たり一日平均外来患者数の医療施設分布



(4) 出身地域別外来患者延べ数

全体

地域ごとに見ると、全外来患者のうち村山地域が46.1%を占めている。次いで置賜地域が26.7%、庄内地域が16.1%、最上地域が9.3%、県外が1.3%などとなっている。

地域別割合

- ・ 村山地域：地域全体の外来患者のうち、自医療圏の患者が94.0%を占めており、置賜地域が2.6%、最上地域が0.9%、庄内地域が0.3%となっている。
- ・ 最上地域：地域全体の外来患者のうち、自医療圏の患者が96.8%を占めており、村山地域が2.5%、庄内地域が0.1%、置賜地域が0.0%となっている。
- ・ 置賜地域：地域全体の外来患者のうち、自医療圏の患者が98.8%を占めており、自医療圏内の患者割合が最も高く、入院の場合と逆の傾向を示している。村山地域、及び最上地域ともに0.0%、庄内地域は患者数ゼロであった。
- ・ 庄内地域：地域全体の外来患者のうち、自医療圏の患者が97.3%を占めており、最上地域が0.2%、村山地域が0.1%、置賜地域が0.0%となっている。

表 4- 4 出身地域別外来患者延数

(単位:人)

患者 出身 地域 医療 施設	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		県外		その他 住所不明		合計
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数
村山	1,748,421	94.0%	16,928	0.9%	49,117	2.6%	5,056	0.3%	25,512	1.4%	15,378	0.8%	1,860,412
最上	8,589	2.5%	338,276	96.8%	63	0.0%	322	0.1%	2,101	0.6%			349,351
置賜	687	0.1%	36	0.0%	967,460	98.8%			7,719	0.8%	3,578	0.4%	979,480
庄内	734	0.1%	1,150	0.2%	153	0.0%	606,881	97.3%	14,056	2.3%	585	0.1%	623,559
合計	1,758,431		356,390		1,016,793		612,259		49,388		19,541		3,812,802

(5) 救急患者数

① 診療科別救急患者数 (平成 15 年度実績)

全体

県全体の救急患者数は211,819人で、そのうち「内科」が27.0%、次いで「小児科」が23.3%、「整形外科」が13.8%と上位を占めており、その他の診療科は7%未満となっている。

地域別の特徴

- ・ 村山地域：地域全体の救急患者数84,254人のうち「内科」が20,747人で24.6%を占め、次いで「小児科」が21.8%、「整形外科」が13.3%、「脳神経外科」が6.7%などとなっている。
- ・ 最上地域：地域全体の救急患者数19,447人のうち「内科」が6,366人で32.7%を占め、次いで「小児科」が29.3%と二つの診療科で全体の6割以上(62.0%)に達している。さらに、「整形外科」が12.9%、「耳鼻咽喉科」が5.8%などとなっている。
- ・ 置賜地域：地域全体の救急患者数48,404人のうち「内科」が12,291人で25.4%を

占め、次いで「小児科」が23.8%と二つの診療科で全体の約半数（49.2%）に達している。さらに、「整形外科」が14.3%、「耳鼻咽喉科」が5.3%などとなっている。

庄内地域：地域全体の救急患者数59,714人のうち「内科」が17,863人で30.0%を占め、次いで小児科が23.1%と二つの診療科で全体の半分以上（53.1%）に達している。さらに、「整形外科」が14.4%、「脳神経外科」が6.0%などとなっている。

表4-13-1 救急患者数（診療科別）

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	12	割合	2	割合	5	割合	8	割合	27	割合
内科	20,747	24.6%	6,366	32.7%	12,291	25.4%	17,893	30.0%	57,297	27.0%
神経内科(神経科)	1,786	2.1%	33	0.2%	208	0.4%	911	1.5%	2,938	1.4%
循環器科	584	0.7%			171	0.4%	141	0.2%	896	0.4%
小児科	18,372	21.8%	5,701	29.3%	11,517	23.8%	13,802	23.1%	49,392	23.3%
形成外科	1,657	2.0%			301	0.6%	1,316	2.2%	3,274	1.5%
呼吸器外科	103	0.1%					109	0.2%	212	0.1%
皮膚科	2,867	3.4%	991	5.1%	2,158	4.5%	1,516	2.5%	7,532	3.6%
産科							288	0.5%	288	0.1%
耳鼻咽喉科	3,958	4.7%	1,119	5.8%	2,558	5.3%	2,086	3.5%	9,721	4.6%
麻酔科	41	0.0%			57	0.1%	8	0.0%	106	0.1%
歯科口腔外科	389	0.5%			238	0.5%	84	0.1%	711	0.3%
心療内科	181	0.2%							181	0.1%
呼吸器科	879	1.0%			290	0.6%	105	0.2%	1,274	0.6%
アレルギー科										
外科	5,039	6.0%	886	4.6%	1,243	2.6%	3,002	5.0%	10,170	4.8%
器官食道科										
心臓血管外科	387	0.5%			416	0.9%			803	0.4%
泌尿器科	2,145	2.5%	428	2.2%	718	1.5%	1,403	2.3%	4,694	2.2%
婦人科			1	0.0%	53	0.1%			54	0.0%
リハビリテーション科					372	0.8%			372	0.2%
病理										
歯科	84	0.1%					200	0.3%	284	0.1%
精神科	782	0.9%			740	1.5%	658	1.1%	2,180	1.0%
消化器科・胃腸科	2,449	2.9%			798	1.6%	2,303	3.9%	5,550	2.6%
リウマチ科										
整形外科	11,228	13.3%	2,502	12.9%	6,935	14.3%	8,574	14.4%	29,239	13.8%
脳神経外科	5,678	6.7%	707	3.6%	3,865	8.0%	3,572	6.0%	13,822	6.5%
小児外科							109	0.2%	109	0.1%
産婦人科	3,243	3.8%	363	1.9%	1,336	2.8%	804	1.3%	5,746	2.7%
眼科	1,648	2.0%	347	1.8%	899	1.9%	828	1.4%	3,722	1.8%

放射線科	7	0.0%	3	0.0%	2	0.0%	2	0.0%	14	0.0%
こう門科										
矯正歯科										
合計	84,254	100.0%	19,447	100.0%	48,404	100.0%	59,714	100.0%	211,819	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したもの。

2) 地域別救急患者数割合

- ・ 村山地域：地域全体の救急患者のうち、自医療圏の救急患者が96.5%を占めており、置賜地域が0.8%、最上地域が0.4%、庄内地域が0.3%、県外が2.1%などとなっている。
- ・ 最上地域：地域全体の救急患者のうち、自医療圏の救急患者が93.9%を占めており、村山地域が3.1%、庄内地域が0.3%、置賜地域が0.1%、県外が1.9%などとなっている。
- ・ 置賜地域：地域全体の救急患者のうち、自医療圏の救急患者が96.4%を占めており、村山地域が0.9%、庄内地域が0.1%、最上地域が0.0%、県外が2.1%などとなっている。
- ・ 庄内地域：地域全体の外来患者のうち、自医療圏の救急患者が96.6%を占めており、村山地域が0.5%、最上地域が0.2%、置賜地域が0.1%、県外が1.9%などとなっている。

表 4-1-2 出身地域別救急患者数

(単位:人)

患者出身 地域	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		県外		その他不明		合計	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
村山地域	56,689	96.5%	213	0.4%	469	0.8%	154	0.3%	1,211	2.1%			58,736	100.0%
最上地域	628	3.1%	19,305	93.9%	22	0.1%	68	0.3%	398	1.9%	145	0.7%	20,566	100.0%
置賜地域	309	0.9%	16	0.0%	33,713	96.4%	46	0.1%	724	2.1%	163	0.5%	34,971	100.0%
庄内地域	111	0.5%	58	0.2%	22	0.1%	22,898	96.6%	460	1.9%	147	0.6%	23,696	100.0%
合計	57,737		19,592		34,226		23,166		2,793		455		137,969	

3) 来院方法別救急患者数

全体で見ると、平成15年度の救急患者数は229,244人で、そのうち「救急車」による救急患者は28,884人(12.6%)、「自己来院」は200,360人(84.4%)であった。地域別では、村山地域は「救急車」が13.6%、「自己来院」が86.4%、最上地域では8.6%及び91.4%、置賜地域では11.1%及び88.9%、庄内地域では13.9%及び86.1%であった。

「救急車」及び「自己来院」の救急患者数(区分ごとの施設数分布を比較した)。「救急

車」では、「年間500人未満」が半数以上または半数近くを占め最も多かった。「自己来院」では、「年間2,500人未満」が置賜地域を除く3地域で半数以上を占め最も多かったが、置賜地域では「2,500人～5,000人」が4割を超え最も多かった。

表4-1-1 救急車・自己来院の患者数・割合

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	合計
回答施設数	15	4	7	9	35
救急車	12,176 (13.6%)	1,948 (8.6%)	6,049 (11.1%)	8,711 (13.9%)	28,884 (12.6%)
自己来院	77,326 (86.4%)	20,687 (91.4%)	48,397 (88.9%)	53,950 (86.1%)	200,360 (84.4%)
合計	89,502 (100.0%)	22,635 (100.0%)	54,446 (100.0%)	62,661 (100.0%)	229,244 (100.0%)
<救急車>					
	比率	比率	比率	比率	比率
500人未満	8 53.3%	3 75.0%	4 57.1%	4 44.4%	19 54.3%
500人以上 1,000人未満	2 13.3%		1 14.3%	2 22.2%	5 14.3%
1,000人以上 1,500人未満	2 13.3%				2 5.7%
1,500人以上 2,000人未満	1 6.7%	1 25.0%	1 14.3%	1 11.1%	4 11.4%
2,000人以上	2 13.3%		1 14.3%	2 22.2%	5 14.3%
<自己来院>					
	比率	比率	比率	比率	比率
2,500人未満	8 53.3%	3 75.0%	2 28.6%	5 55.6%	18 51.4%
2,500人以上 5,000人未満	2 13.3%		3 42.9%	1 11.1%	6 17.1%
5,000人以上 7,500人未満	1 6.7%				1 2.9%
7,500人以上 10,000人未満	1 6.7%				1 2.9%
10,000人以上 12,500人未満					
12,500人以上 15,000人未満	1 6.7%		1 14.3%	1 11.1%	3 8.6%
15,000人以上	2 13.3%	1 25.0%	1 14.3%	2 22.2%	6 17.1%
<合計>					
	比率	比率	比率	比率	比率
2,500人未満	8 53.3%	3 75.0%	2 28.6%	5 55.6%	18 51.4%
2,500人以上 5,000人未満	1 6.7%		2 28.6%		3 8.6%
5,000人以上 7,500人未満	1 6.7%		1 14.3%	1 11.1%	3 8.6%
7,500人以上 10,000人未満	2 13.3%				2 5.7%
10,000人以上 12,500人未満					
12,500人以上 15,000人未満	1 6.7%			1 11.1%	2 5.7%
15,000人以上 17,500人未満		1 25.0%	1 14.3%	1 11.1%	3 8.6%
17,500人以上 20,000人未満	1 6.7%				1 2.9%

20,000人以上	1	6.7%		1	14.3%	1	11.1%	3	8.6%
-----------	---	------	--	---	-------	---	-------	---	------

(注)「比率」は各区分の施設数を全回答施設数にて除したもの。

※「3来院方法別救急患者数」及び「4一次・二次・三次別救急患者数」の内訳に記載のあった数値を集計しているため総救急患者数は一致しない。

1 一次、二次、三次別救急患者数

全体では、一次が83.3%、二次が14.6%、三次が2.1%と圧倒的に一次患者が多かった。地域別に見ても、一次患者がすべての地域で80%を超えており、特に最上地域では89.6%と約9割が一次患者となっている。

一次・二次・三次別の救急患者数区分ごとの医療施設分布を見ると、「一次」では、「2,500人未満」がどの地域でも最も多かった。「二次」では、「500人未満」が、「三次」では「250人未満」がいずれも最も多かった。

表4- (5) -4 救急患者数 一次・二次・三次別

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	合計
回答施設数	9	2	6	6	23
一次救急患者	56,530 (81.1%)	2,753 (89.6%)	44,845 (87.6%)	34,523 (81.3%)	138,651 (83.3%)
二次救急患者	11,421 (16.4%)	279 (9.1%)	4,961 (9.7%)	7,669 (18.1%)	24,330 (14.6%)
三次救急患者	1,784 (2.5%)	41 (1.3%)	1,384 (2.7%)	257 (0.6%)	3,466 (2.1%)
合計	69,735 (100.0%)	3,073 (100.0%)	51,190 (100.0%)	42,449 (100.0%)	166,447 (100.0%)
<一次救急患者>					
	比率	比率	比率	比率	比率
2,500人未満	4 44.4%	2 100.0%	2 33.3%	3 50.0%	11 47.8%
2,500人以上 5,000人未満	1 11.1%		2 33.3%	1 16.7%	4 17.4%
5,000人以上 7,500人未満					
7,500人以上 10,000人未満	1 11.1%				1 4.3%
10,000人以上 12,500人未満	1 11.1%				1 4.3%
12,500人以上 15,000人未満			1 16.7%	1 16.7%	2 8.7%
15,000人以上	2 22.2%		1 16.7%	1 16.7%	4 17.4%
<二次救急患者>					
	比率	比率	比率	比率	比率
500人未満	5 55.6%	2 100.0%	3 50.0%	3 50.0%	13 56.5%
500人以上 1,000人未満			1 16.7%	1 16.7%	2 8.7%
1,000人以上 1,500人未満					
1,500人以上 2,000人未満	1 11.1%		1 16.7%	0 0.0%	2 8.7%

2,000人以上 2,500人未満	1	11.1%			1	16.7%	1	16.7%	3	13.0%
2,500人以上 3,000人未満										
3,000人以上	2	22.2%					1	16.7%	3	13.0%
<三次救急患者>										
		比率		比率		比率		比率		比率
250人未満	7	77.8%	2	100.0%	5	83.3%	6	100.0%	20	87.0%
250人以上 500人未満	1	11.1%							1	4.3%
500人以上 750人未満									0	0.0%
750人以上 1,000人未満									0	0.0%
1,000人以上	1	11.1%			1	16.7%			2	8.7%

(注)「比率」は各区分の施設数を全回答施設数にて除したものの。

※「③来院方法別救急患者数」と「④一次・二次・三次別救急患者数」の内訳に記載のあった数値を集計しているため総救急患者数が一致しない。

(6) 人間ドック受診者数

人間ドックを実施している施設は31施設（全回答施設の68.9%）で、受診者の総数は43,228人であった。

コース別に見ると、1日コースが24,173人（55.9%）、1泊2日コースが7,414人（17.2%）、2泊3日コースが3,268人（7.6%）、その他が8,373人（19.4%）であった。

地域別のコースごとの受診者数及び比率は次表のとおり。

表 1 人間ドック受診者数（地域別）

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	13	割合	3	割合	6	割合	9	割合	31	割合
一日コース	3,773	38.8%	1,547	91.4%	5,675	77.5%	8,178	70.4%	24,173	55.9%
一泊二日コース	4,180	18.5%	73	4.3%	907	12.4%	2,254	19.4%	7,414	17.2%
二泊三日コース	3,205	14.2%			21	0.3%	42	0.4%	3,268	7.6%
その他	6,431	28.5%	73	4.3%	722	9.9%	1,147	9.9%	8,373	19.4%
合計	22,589	100.0%	1,693	100.0%	7,325	100.0%	11,621	100.0%	43,228	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したものの。

5 病床数等について

(1) 病床種別病床数

回答のあった医療施設全体の病床数は9,982床で、うち一般病床が8,928床（89.4%）、精神病床が196床（2.0%）、感染病床が18床（0.2%）、療養病床が719床（7.2%）、結核病床が50床（0.5%）などであった。

今回の調査対象は、一般病床を有する医療施設としているため必然的に一般病床の割合が高くなっている。

表5-1 病床数 地域別・病床区分別

(平成17年1月1日現在)

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	21	割合	4	割合	9	割合	11	割合	45	割合
一般病床	4,455	88.1%	618	96.6%	1,619	91.0%	2,236	89.3%	8,928	89.4%
精神病床	40	0.8%			156	8.8%			196	2.0%
感染病床	8	0.2%	2	0.3%	4	0.2%	4	0.2%	18	0.2%
療養病床	445	8.8%	20	3.1%			254	10.1%	719	7.2%
結核病床	50	1.0%							50	0.5%
その他	61	1.2%					10	0.4%	71	0.7%
合計	5,059	100.0%	640	100.0%	1,779	100.0%	2,504	100.0%	9,982	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したものの。

(2) 診療科別病床数

全体

県全体では、「内科」が2,148床(28.8%)と3割弱を占めている。次いで、「外科」が1,016床(13.6%)、「整形外科」が907床(12.2%)、「脳神経外科」が518床(6.9%)、「産婦人科」が502床(6.7%)などとなっている。

地域別

診療科別の病床数構成割合について地域ごとの特徴を見ると、「内科」は最上地域以外が20%~30%台に対し、最上地域では40.0%と内科の構成割合が際立って高くなっている。「小児科」は、置賜地域が10.6%と他地域の3倍以上または3倍程度となっている。「外科」は、庄内地域では23.6%とほぼ4分の1を占め、他地域の倍以上または倍近い構成割合となっている。

表5-2 病床数 地域別・診療科別

(平成17年1月1日現在)

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	16	割合	1	割合	5	割合	7	割合	29	割合
内科	1,296	31.0%	186	40.0%	302	20.8%	364	27.0%	2,148	28.8%
神経内科(神経科)	112	2.7%			59	4.1%	30	2.2%	201	2.7%
循環器科	52	1.2%			32	2.2%	10	0.7%	94	1.3%
小児科	159	3.8%	13	2.8%	154	10.6%	38	2.8%	364	4.9%
形成外科	18	0.4%			4	0.3%	10	0.7%	32	0.4%
呼吸器外科	13	0.3%							13	0.2%
皮膚科	39	0.9%	10	2.2%	10	0.7%	10	0.7%	69	0.9%
産科										

耳鼻咽喉科	102	2.4%	12	2.6%	37	2.5%	42	3.1%	193	2.6%
麻酔科	5	0.1%			1	0.1%	7	0.5%	13	0.2%
歯科口腔外科	17	0.4%			4	0.3%	5	0.4%	26	0.3%
心療内科	1	0.0%							1	0.0%
呼吸器科	49	1.2%			42	2.9%			91	1.2%
アレルギー科									0	0.0%
外科	500	11.9%	61	13.1%	137	9.4%	318	23.6%	1,016	13.6%
器官食道科										
心臓血管外科	50	1.2%	0	0.0%	28	1.9%	5	0.4%	83	1.1%
泌尿器科	163	3.9%	24	5.2%	58	4.0%	40	3.0%	285	3.8%
婦人科							5	0.4%	5	0.1%
リハビリテーション科	60	1.4%					5	0.4%	65	0.9%
病理										
菌科	2	0.0%					8	0.6%	10	0.1%
精神科	40	1.0%			156	10.7%	14	1.0%	210	2.8%
消化器科・胃腸科	85	2.0%			68	4.7%	93	6.9%	246	3.3%
リウマチ科										
整形外科	591	14.1%	65	14.0%	137	9.4%	114	8.4%	907	12.2%
脳神経外科	264	6.3%	44	9.5%	129	8.9%	81	6.0%	518	6.9%
小児外科										
産婦人科	314	7.5%	27	5.8%	59	4.1%	102	7.6%	502	6.7%
眼科	82	2.0%	6	1.3%	17	1.2%	12	0.9%	117	1.6%
放射線科	25	0.6%							25	0.3%
こう門科										
矯正歯科										
ICU その他	58	1.4%	17	3.7%	20	1.4%	37	2.7%	132	1.8%
合計	4,186	100.0%	465	100.0%	1,454	100.0%	1,350	100.0%	7,455	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したものの。

(3) 病床利用率

① 一般病床

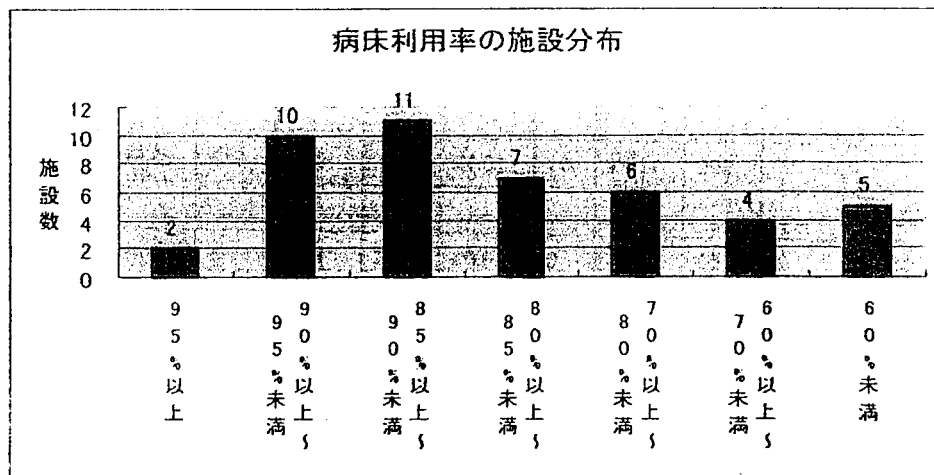
病床利用率水準別の施設分布

医療施設のうち最も病床利用率が高かった施設は 96.5%、最も低かった施設は 14.0%であった。

利用率水準別の施設分布を見ると、回答のあった 45 施設のうち、一般病床の病床利用率「95%以上」が 2 施設 (4.4%)、「90%以上～95%未満」が 10 施設 (22.2%)、「85%以上～90%未満」が 11 施設 (24.4%)、「80%以上～85%未満」が 7 施設 (15.6%)、「70%以上～80%未満」が 6 施設 (13.3%)、「60%以上～70%未満」が 4 施設 (8.9%)、「60%未満」が 5 施設 (11.1%)であった。なお、85%以上の病床利用率の施設数は

23施設で全体の51.1%を占めている。

表5-(3)-1 病床利用率の施設分布 (一般病床)



地域別病床利用率

各施設の「年延入院患者数」及び「年延病床数」の地域累計から一般病床の病床利用率を算定し地域別に比較した。その結果、全体の病床利用率は85.2%で、地域別では置賜地域が91.8%と唯一90%を超え最も高く、次いで村山地域が83.9%、庄内地域が83.8%、最上地域が82.7%と置賜地域を除く3地域ではほとんど差はなかった。

表5-(3)-2 一般病床の地域別病床利用率比較

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	合計
回答施設数	21	4	9	11	45
年延入院患者数	1,373,253	184,284	549,654	631,453	2,738,644
年延病床数	1,637,681	222,789	598,808	753,553	3,212,831
年延入院患者数/年延病床数	83.9%	82.7%	91.8%	83.8%	85.2%

② 一般病床以外

各施設の「年延入院患者数」及び「年延病床数」の地域累計から一般病床以外の病床利用率を算定し地域別に比較した。その結果、全体の病床利用率は90.9%で、地域別では村山地域が92.0%と唯一90%を超え最も高く、次いで置賜地域が89.5%、最上地域が89.4%、庄内地域が88.8%と村山地域を除く3地域ではほとんど差はなかった。

表5-(3)-3 一般病床以外の地域別病床利用率比較

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	合計
年延入院患者数	185,231	6,544	26,183	66,306	284,264
年延病床数	201,342	7,320	29,260	74,664	312,586

年延入院患者数／年延病床数	92.0%	89.4%	89.5%	88.8%	90.9%
---------------	-------	-------	-------	-------	-------

(4) 平均在院日数

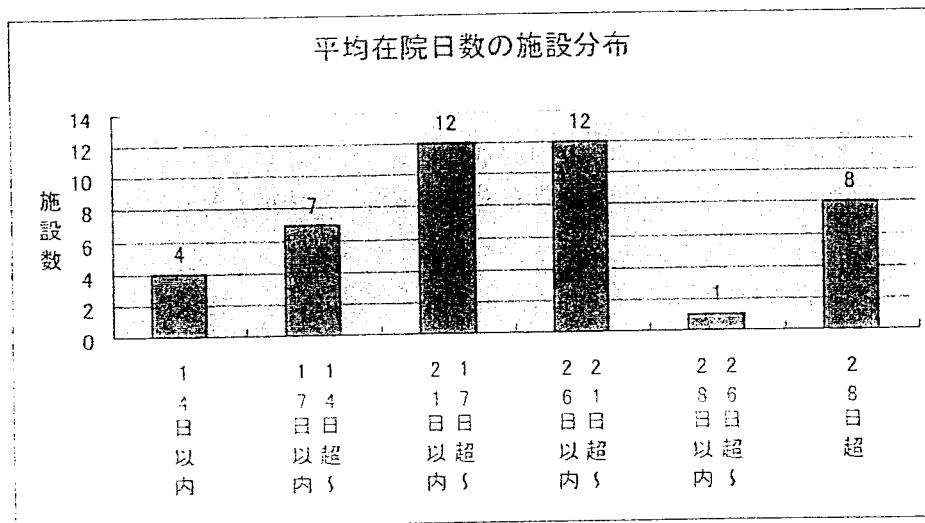
平均在院日数水準別施設分布

各医療施設の平均在院日数について、最も短かった施設は5.0日、最も長かった施設は564.0日であった。

平均在院日数水準別の施設分布を見ると、回答のあった44施設のうち、平均在院日数が「14日以内」（超急性期期間）が4施設（9.1%）、「14日超～17日以内」（急性期入院加算要件）が7施設（15.9%）、「17日超～21日以内」（入院基本料1要件）が12施設（27.3%）、「21日超～26日以内」（入院基本料2要件）が12施設（27.3%）、「26日超～28日以内」（入院基本料1群要件）が1施設（2.3%）、「28日超」が8施設（18.2%）であった。また、急性期入院加算取得の要件の一つである“平均在院日数17日以内（※）”をクリアしている施設は11施設（25.0%）であった。

※備考：急性期入院加算の施設基準では、「当該一般病棟の入院患者の平均在院日数が17日以内であること」が要件とされており、本調査における各医療施設の平均在院日数とは必ずしも一致しない。

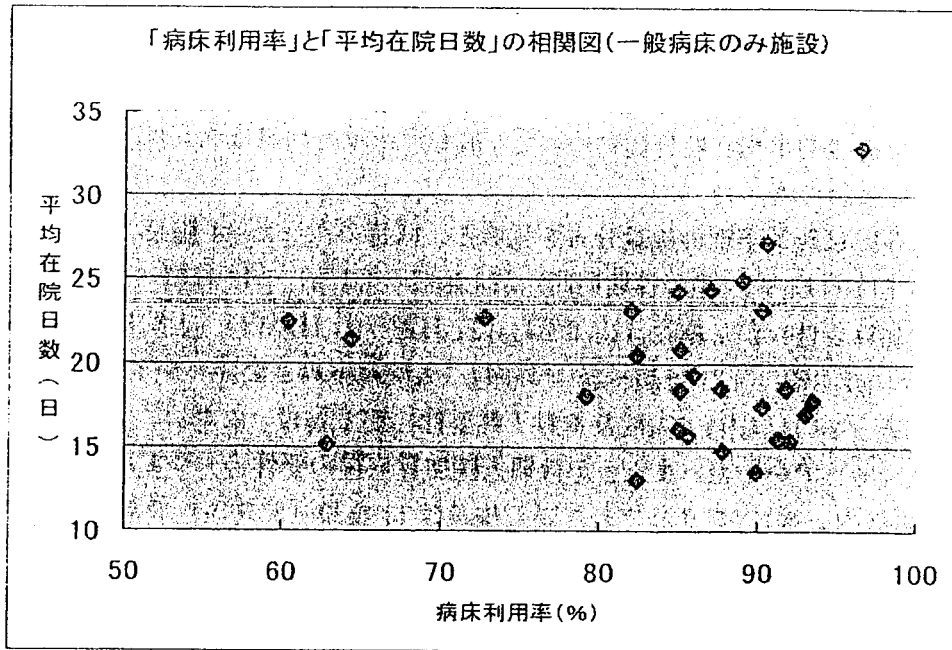
表5- (4)



(5) 「病床利用率」と「平均在院日数」について

一般病床及び療養病床を有するケアミックス型施設を除く「一般病床のみを有する施設」における「病床利用率」と「平均在院日数」との相関関係を見ると、平均在院日数20日以内の施設ではほとんどが病床利用率85%以上の実績を示しており、地域で急性期を担う病院として医療連携と機能分担を図りながら、平均在院日数の短縮化と病床利用率の向上・維持に努めている実状がうかがえる。

表 5- (5)



6 手術件数について (平成 15 年度実績)

(1) 診療科別手術件数

全体

最も手術件数が多い診療科は、「整形外科」で 10,540 件 (22.5%)、次いで「外科」が 9,941 件 (21.2%)、「眼科」が 5,546 件 (11.8%)、「産婦人科」が 3,853 件 (8.2%)、「泌尿器科」が 2,876 件 (6.1%) などとなっている。

全体の手術件数 46,834 件のうち、村山地域が 23,080 件 (49.3%) とほぼ半数を占めている。次いで、庄内地域が 12,912 件 (27.6%)、置賜地域が 8,987 件 (19.2%)、最上地域が 1,855 件 (4.0%) となっている。

地域別

- ・ 村山地域：「外科」が最も多く 5,147 件 (22.3%)、次いで「整形外科」が 5,052 件 (21.9%)、「眼科」が 3,228 件 (14.0%)、「産婦人科」が 2,436 件 (10.6%) などとなっている。
- ・ 最上地域：「整形外科」が最も多く 731 件 (39.6%)、次いで「外科」が 562 件 (30.3%) とこの 2 診療科で地域全体の約 7 割 (69.9%) を占めている。
- ・ 置賜地域：「整形外科」が最も多く 2,064 件 (23.0%)、次いで「外科」が 1,669 件 (18.6%)、「眼科」が 1,168 件 (13.0%) などとなっている。
- ・ 庄内地域：「整形外科」が最も多く 2,690 件 (20.8%)、次いで「外科」が 2,563 件 (19.8%)、「眼科」が 1,048 件 (8.1%) などとなっている。

表6-1-1 診療科目別手術件数（地域別）

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	20	割合	4	割合	7	割合	10	割合	41	割合
内科	1,451	6.3%			58	0.6%	987	7.6%	2,496	
精神科	31	0.1%			19	0.2%	82	0.6%	132	0.3%
神経内科(神経科)	7	0.0%					24	0.2%	31	0.1%
呼吸器科					6	0.1%			6	0.0%
消化器科・胃腸科					456	5.1%	846	6.6%	1,302	2.8%
循環器科	50	0.2%			104	1.2%	83	0.6%	237	0.5%
小児科	47	0.2%			7	0.1%	9	0.1%	63	0.1%
外科	5,147	22.3%	562	30.3%	1,669	18.6%	2,563	19.8%	9,941	21.2%
整形外科	5,052	21.9%	734	39.6%	2,064	23.0%	2,690	20.8%	10,540	22.5%
形成外科	361	1.6%			698	7.8%	965	7.5%	2,024	4.3%
脳神経外科	889	3.9%	111	6.0%	307	3.4%	418	3.2%	1,725	3.7%
呼吸器外科	129	0.6%			63	0.7%	102	0.8%	294	0.6%
心臓血管外科	560	2.4%			269	3.0%	50	0.4%	879	1.9%
小児外科					24	0.3%	73	0.6%	97	0.2%
皮膚科	382	1.7%	12	0.6%	236	2.6%	414	3.2%	1,044	2.2%
泌尿器科	1,425	6.2%	145	7.8%	370	4.1%	936	7.2%	2,876	6.1%
産婦人科	2,436	10.6%	61	3.3%	868	9.7%	488	3.8%	3,853	8.2%
産科							246	1.9%	246	0.5%
婦人科							2	0.0%	2	0.0%
眼科	3,228	14.0%	102	5.5%	1,168	13.0%	1,048	8.1%	5,546	11.8%
耳鼻咽喉科	1,319	5.7%	128	6.9%	548	6.1%	794	6.1%	2,789	6.0%
リハビリテーション科	11	0.0%							11	0.0%
放射線科	2	0.0%					10	0.1%	12	0.0%
麻酔科	1	0.0%			7	0.1%	7	0.1%	15	0.0%
歯科口腔外科	518	2.2%			46	0.5%	46	0.4%	610	1.3%
歯科	34	0.1%					29	0.2%	63	0.1%
合計	23,080	100.0%	1,855	100.0%	8,987	100.0%	12,912	100.0%	46,834	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したものの。

医師一人当たり手術件数（地域別）

- 内科：庄内地域が24.7件で最も多く、村山地域11.1件、置賜地域2.3件を大きく上回る。最上地域はゼロ件であった。
- 外科：村山地域が67.7件と最も多いが、置賜地域が66.8件、庄内地域が59.6件、最上地域が56.2件と際立った差は見られなかった。
- 整形外科：庄内地域が149.4件と最も多く、次いで置賜地域が121.4件、最上地域が104.9件、村山地域が95.3件で村山地域と庄内地域は約54件の差がある。

- ・ 脳神経外科：庄内地域が59.7件と最も多く、次いで最上地域が55.5件、置賜地域が43.9件、村山地域が30.7件であった。庄内地域と村山地域の差は29件にのぼる。
- ・ 皮膚科：庄内地域が138.0件と格段に多く、置賜地域が78.7件、村山地域が23.9件、最上地域が6.0件とかなりの地域差が見られる。
- ・ 泌尿器科：庄内地域が117.0件と最も多く、最上地域が72.5件、置賜地域が52.9件、村山地域が54.8件となっている。
- ・ 産婦人科：置賜地域が96.4件と最も多く、次いで村山地域が76.1件、最上地域が61.0件、庄内地域が48.8件で庄内地域は置賜地域の約半分となっている。
- ・ 眼科：庄内地域が174.7件と最も多く、次いで置賜地域が166.9件、村山地域が153.7件に対し、最上地域は51.0件と他地域の約3分の1となっている。
- ・ 耳鼻咽喉科：庄内地域が132.3件と最も多く、次いで置賜地域が91.3件、最上地域が64.0件、村山地域が62.8件となっている。

表6-11-2 医師一人当たり手術件数（地域別）

（単位：件）

	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域	診療科計
内科	11.1		2.3	24.7	11.3
精神科	2.2		2.1	20.5	4.9
神経内科(神経科)	0.4			8.0	1.2
呼吸器科			1.0		0.3
消化器科・胃腸科			30.4	60.4	29.6
循環器科	5.0		9.5	8.3	7.6
小児科	1.3		0.7	0.8	1.1
外科	67.7	56.2	66.8	59.6	64.6
整形外科	95.3	104.9	121.4	149.4	110.9
形成外科	90.3		698.0	241.3	224.9
脳神経外科	30.7	55.5	43.9	59.7	38.3
呼吸器外科	64.5			25.5	49.0
心臓血管外科	62.2		89.7	10.0	51.7
小児外科				73.0	48.5
皮膚科	23.9	6.0	78.7	138.0	43.5
泌尿器科	54.8	72.5	52.9	117.0	66.9
産婦人科	76.1	61.0	96.4	48.8	74.1
産科				82.0	82.0
婦人科				2.0	1.0
眼科	153.7	51.0	166.9	174.7	154.1
耳鼻咽喉科	62.8	64.0	91.3	132.3	79.7
リハビリテーション科	2.2				1.8
放射線科	0.1			2.5	0.4

麻酔科			1.2	0.7	0.3
歯科口腔外科	43.2		15.3	15.3	33.9
歯科	6.8			14.5	9.0
地域計	37.7	30.9	49.9	56.4	43.3

(2) 主な手術件数

表 10-1-1 主な手術件数(地域別)

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	19	割合	4	割合	6	割合	11	割合	40	割合
外科(体表)										
乳房(部分)切除術	295	1.2%	22	2.3%	60	1.2%	153	1.2%	530	1.2%
甲状腺(垂)全摘術 (頭部郭清術を含む)	110	0.4%	11	1.1%	12	0.2%	52	0.4%	185	0.4%
そけいおよび大腿ヘル ニア根治術	660	2.7%	66	6.9%	222	4.3%	315	2.4%	1,263	2.9%
痔根治術	143	0.6%	13	1.4%	37	0.7%	80	0.6%	273	0.6%
体表腫瘍切除	223	0.9%	2	0.2%	68	1.3%	446	3.5%	739	1.7%
その他の体表手術	207	0.8%	3	0.3%	71	1.4%	246	1.9%	527	1.2%
小計	1,638	6.7%	117	12.2%	470	9.1%	1,292	10.0%	3,517	8.1%
外科(開腹)										
胃(垂)全摘術	499	2.0%	79	8.3%	182	3.5%	281	2.2%	1,041	2.4%
食道全摘術	34	0.1%	12	1.3%	13	0.3%	23	0.2%	82	0.2%
腹腔鏡下胆石症手術	317	1.3%	39	4.1%	83	1.6%	141	1.1%	580	1.3%
開腹胆石症手術(総胆 管手術を含む)	192	0.8%	16	1.7%	33	0.6%	90	0.7%	331	0.8%
肝臓切除術	102	0.4%	12	1.3%	14	0.3%	18	0.1%	146	0.3%
膵臓、胆嚢胆管、十二 指腸の悪性腫瘍術 (膵臓部分切除を含 む)	97	0.4%	30	3.1%	18	0.3%	111	0.9%	256	0.6%
結腸切除術(腹腔鏡 下手術、Hartmann 手 術を含む)	346	1.4%	40	4.2%	138	2.7%	235	1.8%	759	1.7%
低位前方切除術/マイ ルス手術	138	0.6%	21	2.2%	47	0.9%	83	0.6%	289	0.7%
癒着剥離 イレウス解 除術	113	0.5%	20	2.1%	27	0.5%	46	0.4%	206	0.5%
その他の腸切除術	175	0.7%			22	0.4%	53	0.4%	250	0.6%

虫垂切除術	325	1.3%	60	6.3%	91	1.8%	141	1.1%	617	1.4%
開腹術(試験、止血、ドレナージなど)	74	0.3%	14	1.5%	18	0.3%	53	0.4%	159	0.4%
胃腸瘻造設、人工肛門閉鎖など	84	0.3%			18	0.3%	149	1.2%	251	0.6%
その他の開腹術	190	0.8%	2	0.2%	45	0.9%	99	0.8%	336	0.8%
小計	2,686	10.9%	345	36.1%	749	14.6%	1,523	11.8%	5,303	12.2%
外科(胸部)										
肺葉(部分)切除術(内視鏡的手術および気管支形成術)を含む	246	1.0%	61	6.4%	56	1.1%	121	0.9%	484	1.1%
その他の肺手術(肺縫縮術、肺瘻閉鎖術などを含む)	18	0.1%	7	0.7%	25	0.5%	1	0.0%	51	0.1%
胸腺摘出術	18	0.1%					2	0.0%	20	0.0%
その他の縦隔摘出術	12	0.0%	3	0.3%	1	0.0%	5	0.0%	21	0.0%
その他の胸部手術	59	0.2%	6	0.6%	11	0.2%	39	0.3%	115	0.3%
小計	353	1.4%	77	8.0%	93	1.8%	168	1.3%	691	1.6%
心臓血管外科										
小児先天性奇形シャント手術	4	0.0%							4	0.0%
小児先天性奇形根治術	27	0.1%							27	0.1%
CABG	65	0.3%			12	0.2%	2	0.0%	79	0.2%
CABG(off Pump)	4	0.0%			1	0.0%	31	0.2%	36	0.1%
弁疾患手術(MVR AVRなど)	70	0.3%			8	0.2%	88	0.7%	166	0.4%
伝導系手術、ペースメーカー挿入	230	0.9%	22	2.3%	2	0.0%	97	0.8%	351	0.8%
腹部動脈瘤手術	75	0.3%			21	0.4%	22	0.2%	118	0.3%
胸部動脈瘤手術	26	0.1%			1	0.0%	25	0.2%	52	0.1%
その他の動脈手術/血行再建術(AFバイパスなど)	100	0.4%	2	0.2%	20	0.4%	109	0.8%	231	0.5%
静脈手術(ストリッピングなど)	79	0.3%	7	0.7%	8	0.2%	52	0.4%	146	0.3%
その他の心臓血管手術	264	1.1%	63	6.6%	34	0.7%	101	0.8%	462	1.1%
小計	944	3.8%	94	9.8%	107	2.1%	527	4.1%	1,672	3.8%

小児外科											
小児外科手術(そけいヘルニアを除く)	162	0.7%	24	2.5%	24	0.5%	24	0.2%	234	0.5%	
脳神経外科											
脳腫瘍摘出(意識下開頭術およびHardy手術を含む)	133	0.5%	6	0.6%	16	0.3%	23	0.2%	178	0.4%	
動脈瘤手術	168	0.7%	16	1.7%	72	1.4%	67	0.5%	323	0.7%	
シャント術	86	0.4%	19	2.0%	22	0.4%	45	0.3%	172	0.4%	
微小血管再建減圧術	11	0.0%							11	0.0%	
血腫除去術	172	0.7%			54	1.0%	33	0.3%	259	0.6%	
その他の脳神経外科手術	260	1.1%	1	0.1%	14	0.3%	197	1.5%	472	1.1%	
小計	830	3.4%	42	4.4%	178	3.5%	365	2.8%	1,415	3.3%	
整形外科											
人工関節置換術	543	2.2%	25	2.6%	125	2.4%	166	1.3%	859	2.0%	
関節手術(関節鏡手術を含む)	556	2.3%	18	1.9%	76	1.5%	260	2.0%	910	2.1%	
四肢骨骨折に対する観血的骨接合術	954	3.9%	83	8.7%	502	9.8%	811	6.3%	2,350	5.4%	
脊椎手術	458	1.9%	1	0.1%	197	3.8%	317	2.5%	973	2.2%	
悪性腫瘍摘出術(脊髄腫瘍を除く)	57	0.2%	1	0.1%	8	0.2%	12	0.1%	78	0.2%	
血管、神経などのマイクローサージャリー	59	0.2%	8	0.8%	18	0.3%	40	0.3%	125	0.3%	
筋肉靭帯手術	181	0.7%	5	0.6%	44	0.9%	121	0.9%	352	0.8%	
四肢奇形修復術	28	0.1%							28	0.1%	
創外・内固定	111	0.5%			7	0.1%	71	0.6%	189	0.4%	
形成外科の手術(皮膚移植など)	230	0.9%	2	0.2%	13	0.3%	222	1.7%	467	1.1%	
その他の整形外科手術	1,356	5.5%	109	11.4%	462	9.0%	875	6.8%	2,802	6.4%	
小計	4,533	18.5%	253	26.4%	1,452	28.2%	2,895	22.5%	9,133	21.0%	
耳鼻咽喉科											
耳手術(鼓室形成術)	74	0.3%			11	0.2%	50	0.4%	135	0.3%	
鼻および副鼻腔手術、顔面骨手術(骨折整復を含む)	390	1.6%			41	0.8%	193	1.5%	624	1.4%	
扁桃およびアデノイド	239	1.0%			217	4.2%	130	1.0%	586	1.3%	

摘出術										
顕微鏡下喉頭手術	72	0.3%			17	0.3%	19	0.1%	108	0.2%
喉頭全摘術/頸部郭清術	29	0.1%			19	0.4%	2	0.0%	50	0.1%
その他の咽喉頭手術	50	0.2%			3	0.1%	130	1.0%	183	0.4%
だ液腺手術	45	0.2%			4	0.1%	12	0.1%	61	0.1%
舌手術	20	0.1%			9	0.2%	12	0.1%	41	0.1%
切開およびドレナージ	82	0.3%			9	0.2%	8	0.1%	99	0.2%
その他の耳鼻科手術	205	0.8%			58	1.1%	247	1.9%	510	1.2%
小計	1,206	4.9%			388	7.5%	803	6.2%	2,397	5.5%
産婦人科										
腹式および腔式子宮全摘術(腹腔鏡下手術を含む)	422	1.7%	5	0.5%	69	1.3%	207	1.6%	703	1.6%
広汎子宮全摘術(腹腔鏡下手術を含む)	17	0.1%					25	0.2%	42	0.1%
その他の子宮手術	481	2.0%			3	0.1%	90	0.7%	574	1.3%
良性付属器手術	367	1.5%			30	0.6%	133	1.0%	530	1.2%
悪性付属器手術	37	0.2%					12	0.1%	49	0.1%
その他の婦人科手術	185	0.8%			15	0.3%	25	0.2%	225	0.5%
帝王切開術	578	2.4%			204	4.0%	149	1.2%	931	2.1%
子宮外妊娠手術(内視鏡下手術を含む)	37	0.2%			7	0.1%	15	0.1%	59	0.1%
その他の産科手術	801	3.3%			11	0.2%	44	0.3%	856	2.0%
小計	2,925	11.9%	5	0.5%	339	6.6%	700	5.4%	3,969	9.1%
泌尿器科										
腎尿管切石術(内視鏡下手術を含む)	62	0.3%			17	0.3%	23	0.2%	102	0.2%
腎臓手術	115	0.5%			11	0.2%	29	0.2%	155	0.4%
膀胱腫瘍切術(内視鏡下を除く)	64	0.3%			9	0.2%	40	0.3%	113	0.3%
前立腺手術(内視鏡下を除く)	181	0.7%			31	0.6%	67	0.5%	279	0.6%
TUR(TULなどの内視鏡下手術を含む)	352	1.4%			102	2.0%	130	1.0%	584	1.3%
辜丸および副辜丸手術	69	0.3%			12	0.2%	44	0.3%	125	0.3%
その他の泌尿器科手術	768	3.1%			64	1.2%	553	4.3%	1,385	3.2%

小計	1,611	6.6%			246	4.6%	886	6.9%	2,743	6.3%
眼科										
角膜結膜手術	50	0.2%			54	1.0%	19	0.1%	123	0.3%
白内障手術	1,372	5.6%			713	13.9%	828	6.4%	2,913	6.7%
硝子体手術	305	1.2%			14	0.3%	33	0.3%	352	0.8%
網膜手術	137	0.6%			83	1.6%	82	0.6%	302	0.7%
外傷および異物に対する手術	15	0.1%			5	0.1%	25	0.2%	45	0.1%
その他の眼科手術	1,339	5.4%			114	2.2%	61	0.5%	1,513	3.5%
小計	3,217	13.1%			983	19.1%	1,048	8.1%	5,248	12.1%
その他の手術										
皮膚科手術	375	1.5%			16	0.3%	143	1.1%	534	1.2%
内科手術	1,708	7.0%			55	1.1%	1,801	14.0%	3,564	8.2%
小児科手術	52	0.2%			24	0.5%	6	0.0%	82	0.2%
精神科電撃療法	15	0.1%			15	0.3%	82	0.6%	112	0.3%
その他の手術	2,312	9.4%			5	0.1%	605	4.7%	2,922	6.7%
小計	4,462	18.2%			115	2.2%	2,637	20.5%	7,214	16.6%
合計	24,557	100.0%	957	100.0%	5,144	100.0%	12,868	100.0%	43,536	100.0%

(注)「割合」は、各項目の数値を、「合計」の数値で除したもの。

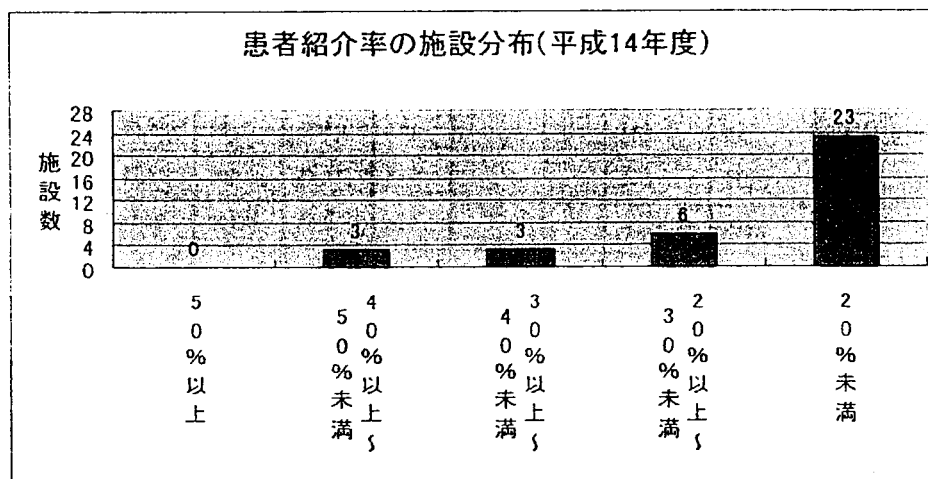
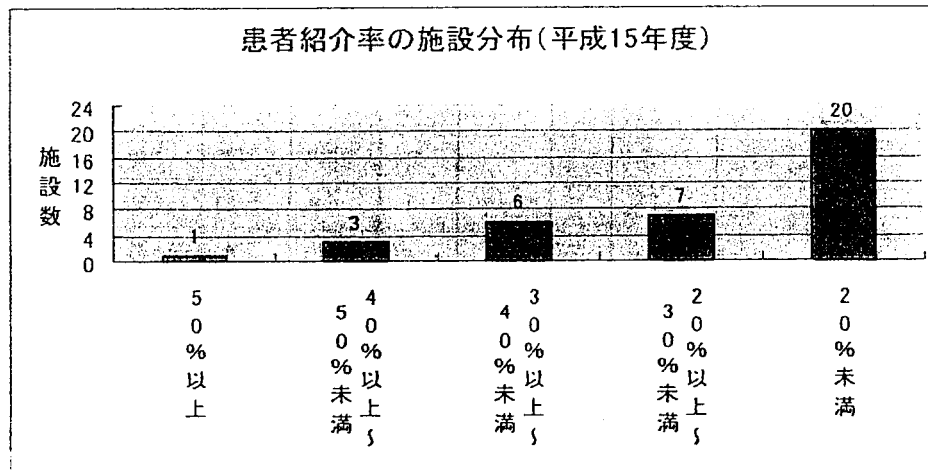
7 患者紹介率について

(1) 患者紹介率

当該項目に記入のあった37医療施設の平成15年度患者紹介率を見ると、最も高い施設は51.1%、最も低い施設は0.8%であった。

紹介率水準ごとの施設分布数を見ると、「50%以上」が1施設(2.7%)、「40%以上～50%未満」が3施設(8.1%)、「30%以上～40%未満」が6施設(16.2%)、「20%以上～30%未満」が7施設(18.9%)、「20%未満」が20施設(54.1%)で、「20%未満」が半数以上を占め最も多かった。

表 7- (1)

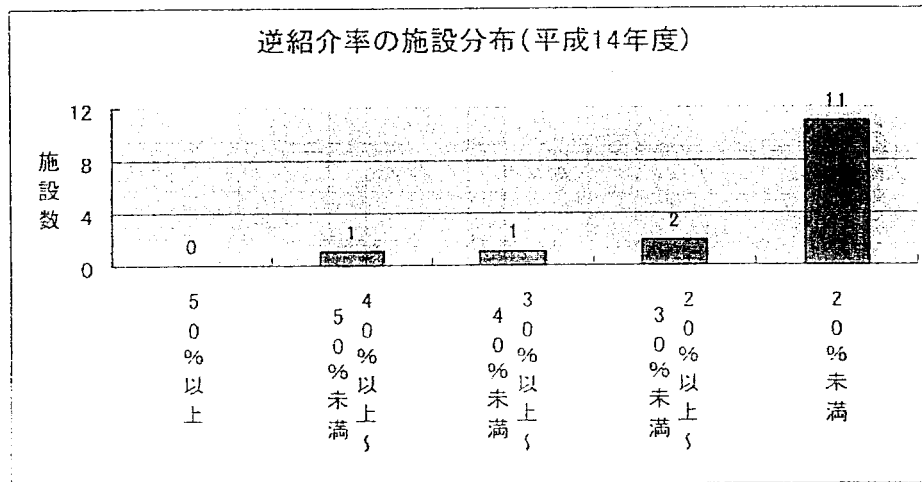
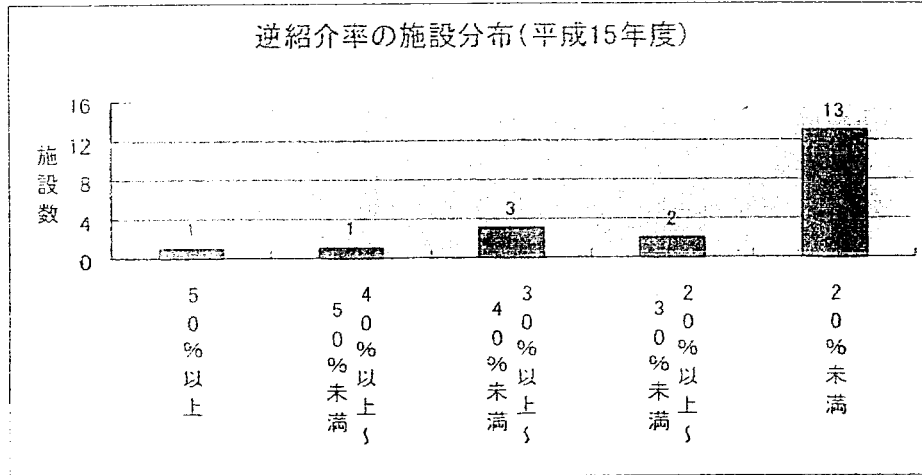


2) 逆紹介率

当該項目に記入のあった20医療施設の平成15年度における逆紹介率について、最も高い施設は51.4%、最も低い施設は1.8%であった。

逆紹介率水準ごとの施設分布数を見ると、「50%以上」が1施設(5.0%)、「40%以上～50%未満」が1施設(5.0%)、「30%以上～40%未満」が3施設(15.0%)、「20%以上～30%未満」が2施設(10.0%)、「20%未満」が13施設(65.0%)と「20%未満」が最も多かった。

表7- (2)



8 施設基準について

全体

施設基準の届出を行っている割合の高い順に、「一般病棟入院基本料」が38施設(84.4%)、次いで「紹介患者加算6(紹介率20%未滿)」が18施設(40.0%)、「診療録管理体制加算」が16施設(35.6%)、「紹介患者加算4(紹介率30%以上)」が11施設(24.4%)、「療養病棟入院基本料」が10施設(22.2%)、「急性期入院加算」及び「特定集中治療室管理料」がともに6施設(13.3%)などとなっている。急性期病院であることを示す「急性期入院加算」の要件である「診療録管理体制加算」及び「紹介患者加算4」をクリアすることが必要であることから当該要件の届出割合が高くなっているものと考えられる。

一方、「急性期特定入院加算」、「ハイケアユニット入院医療管理料(平成16年改定時新設)」などの施設基準については該当施設がなかった。

地域別

・村山地域:「一般病棟入院基本料」が16施設(76.2%)と最も多く、次いで「診療

録管理体制加算1及び「紹介患者加算6」がともに8施設(38.1%)、「急性期入院加算」及び「紹介患者加算4」がともに4施設(19.0%)などとなっている。

- ・ 最上地域：「一般病棟入院基本料」が4施設(100.0%)すべてで届出しており、他は「療養病棟入院基本料」、「診療録管理体制加算」、「特定集中治療室管理料」及び「紹介患者加算4」がともに1施設(25.0%)となっている。
- ・ 置賜地域：「一般病棟入院基本料」が8施設(88.9%)と最も多く、次いで「紹介患者加算6」が4施設(44.4%)、「精神病棟入院基本料」及び「紹介患者加算1」がともに3施設(33.3%)などとなっている。
- ・ 庄内地域：「一般病棟入院基本料」が10施設(90.9%)と最も多く、次いで「紹介患者加算6」が6施設(54.5%)、「診療録管理体制加算」が5施設(45.5%)、「紹介患者加算4」が3施設(27.3%)などとなっている。

表6 施設基準の状況(地域別)

	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	回答施設数	21 比率	4 比率	4 比率	9 比率	9 比率	11 比率	11 比率	45 比率	
一般病棟入院基本料	16	76.2%	4	100.0%	8	88.9%	10	90.9%	38	84.4%
療養病棟入院基本料	5	23.8%	1	25.0%			4	36.4%	10	22.2%
精神病棟入院基本料					3	33.3%			3	6.7%
特定機能病院入院基本料	1	4.8%							1	2.2%
結核病院入院基本料	1	4.8%							1	2.2%
障害者施設等入院基本料	1	4.8%							1	2.2%
急性期入院加算	4	19.0%			1	11.1%	1	9.1%	6	13.3%
急性期特定入院加算										
臨床研修病院入院診療加算	3	14.3%					2	18.2%	5	11.1%
診療録管理体制加算	8	38.1%	1	25.0%	2	22.2%	5	45.5%	16	35.6%
地域医療支援病院入院診療加算	1	4.8%							1	2.2%
救命救急入院料	1	4.8%			1	11.1%			2	4.4%
ハイケアユニット入院医療管理料										
亜急性期入院医療管理料	2	9.5%			1	11.1%	2	18.2%	5	11.1%
特定集中治療室管理料	2	9.5%	1	25.0%	2	22.2%	1	9.1%	6	13.3%
新生児特定集中治療室管理料	2	9.5%							2	4.4%
回復期リハビリテーション病棟入院料	2	9.5%							2	4.4%
精神科救急入院料										
精神科急性期治療病棟入院料										
紹介患者加算1	1	4.8%							1	2.2%
紹介患者加算2	1	4.8%							1	2.2%
紹介患者加算3	1	4.8%							1	2.2%
紹介患者加算4	4	19.0%	1	25.0%	3	33.3%	3	27.3%	11	24.4%
紹介患者加算5	3	14.3%			1	11.1%	1	9.1%	5	11.1%

紹介患者加算6	8	38.1%		4	44.4%	6	54.5%	18	40.0%
---------	---	-------	--	---	-------	---	-------	----	-------

(注)「比率」は各項目の施設数を全回答施設数にて除したものだ。

9 医療機器の設置状況及び稼働実績

(1) 医療機器の設置状況

全 体

導入率（医療施設数に対する導入済施設数の割合）の高い医療機器を見ると、「上部消化管ファイバースコープ」が最も高く43施設中41施設が導入済で導入率95.3%、次いで「エコー（腹部エコー、心エコーを含む。以下同じ）」「血液ガス測定装置」「大腸ファイバースコープ」がそれぞれ93.0%、「CT（全身用X線(T、頭部(頭頸部)用X線CT、シングルフォトンエミッションCT(SPECT)、ヘリカル スパイラル)CTを含む。以下同じ。）」が90.7%と導入率9割以上に達している。導入率80%台は、「心エコー」が86.0%、「人工呼吸器」が81.4%。同70%台は、「腹部エコー」が79.1%、「心細動除去装置」が76.7%、「気管支ファイバースコープ」が74.4%、「生化学自動分析装置（12チャンネル以上）」が72.1%。同60%台は、「乳房X線撮影システム（マンモグラフィー）」が69.8%、「ヘリカル（スパイラル）CT」「骨塩定量測定装置」がともに67.4%、「トレッドミル」が62.8%。5割以上の導入率では、「人工透析装置」が53.5%、「脳波計」「磁気共鳴診断装置（MRI）」がともに51.2%となっている。

一方、導入率の低い医療機器としては、「脳磁波計」「頭部（頭頸部）用X線CT」がゼロ、「ポジトロンエミッション（PET）」「ハイパーサーミア装置」がそれぞれ1医療施設（2.3%）、「ガンマナイフ」「脳血管撮影装置」がともに2施設（4.7%）、「アフターローディング」が3施設（7.0%）などとなっている。

地域別設置状況

- ・ 村山地域：回答のあった19施設すべてに導入されている医療機器はなかったが、「上部消化管ファイバースコープ」「大腸ファイバースコープ」がともに18施設（94.7%）と最も多く、次いで「エコー」「血液ガス分析装置」「CT」がそれぞれ17施設（89.5%）、「心エコー」「人工呼吸器」「心細動除去装置」「気管支ファイバースコープ」がそれぞれ16施設（84.2%）と8割以上の導入率となっている。他地域では導入されておらず、村山地域にのみ導入されている機器は、「PET」「ハイパーサーミア装置」の2機器であった。
- ・ 最上地域：回答のあった地域内4施設すべてに導入されている医療機器は、「上部消化管ファイバースコープ」「大腸ファイバースコープ」「心エコー」「腹部エコー」「血液ガス測定装置」「ヘリカルCT」「骨塩定量測定装置」であった。一方、他3地域では導入されているが最上地域にのみ導入されていない機器は、「心臓及び腹部血管撮影装置」「血管内超音波検査装置（ドップラー）」「新生児専用呼吸循環監視装置」「体外衝撃波尿路結石破碎装置」「人工心肺装置」など11機器であった。
- ・ 置賜地域：回答のあった地域内9施設すべてに導入されている医療機器は、「上部消化管ファイバースコープ」「大腸ファイバースコープ」「心エコー」「ヘリカルCT」であった。一方、他3地域では導入されているが置賜地域にのみ導入されていない

機器は、「高圧酸素タンク」の1機器のみであった。

庄内地域: 回答のあった11施設すべてに導入されている医療機器はなかったが、「上部消化管ファイバースコープ」「エコー」「血液ガス測定装置」がともに10施設(90.9%)と最も多く、次いで「大腸ファイバースコープ」「CT」がともに9施設(81.8%)などとなっている。一方、他3地域では導入されているが庄内地域にのみ導入されていない機器は、「筋肉増強装置(サイバックス)」の1機器のみであった。

表9-11-1 主な医療機器の導入台数(地域別)

	村山 地域	最上 地域	置賜 地域	庄内 地域	合計
回答施設数	19	4	9	11	43
リニアック	4	1	1	3	9
ガンマナイフ	1			1	2
アフターローディング	2			1	3
人工心肺装置	6		2	4	12
心臓カテーテル	5	1	2	3	11
心細動除去装置	76	8	39	32	155
長時間心電図分析装置	32	7	29	10	78
高圧酸素タンク	2	1		2	5
デジタル減算血管撮影法(DSA)	5		3		8
血管撮影装置	12		5	6	23
心臓血管撮影装置	5		2	3	10
腹部血管撮影装置	6		1	3	10
脳血管撮影装置	1		2		3
エコー	94	9	40	42	185
心エコー	45	4	11	12	72
腹部エコー	49	5	29	30	113
血管内超音波検査装置(ドップラー)	6		8	6	20
血液ガス測定装置	29	5	16	19	69
トレッドミル	18	4	7	7	36
手術用顕微鏡システム	27	7	10	13	57
脳波計	19	2	8	11	40
脳磁波計					
新生児専用呼吸循環監視装置	48		3	24	75
新生児人工呼吸器	30	1	5	15	51
新生児聴覚スクリーニング検査装置	1		1	2	4
分娩監視装置	49	2	19	30	100
体外受精・顕微授精システム	4		1	2	7

人工透析装置	202	17	90	181	490
血漿交換装置	6	1	3	2	12
体外衝撃波尿路結石粉碎装置	6		1	2	9
人工呼吸器	146	9	55	110	320
上部消化管ファイバースコープ	86	11	65	59	221
気管支ファイバースコープ	57	4	31	17	109
大腸ファイバースコープ	66	9	32	35	142
尿路ファイバースコープ	11	1	7	8	27
乳房X線撮影システム(マンモグラフィ)	12	3	7	8	30
循環器系X線診断装置	5	1	2	3	11
磁気共鳴診断装置(MRI)	16	1	5	7	29
CT	29	6	11	14	60
全身用X線CT	11	2	5	2	20
頭部(頭頸部)用X線CT					
シングルフォトエミッションCT(SPECT)	6			1	7
ヘリカル(スパイラル)CT	12	4	6	11	33
RI診断装置(シンチレーションカメラ等)	7	1	3	4	15
ポジトロンエミッション(PET)	2				2
コンピュータドラジオグラフィ装置	11	2	11	19	43
骨塩量測定装置	12	4	5	8	29
マイクロサージャリー装置	2		1	2	5
IABP駆動装置	9	1	5	6	21
ハイパーサーミア装置	1				1
低体温療法装置	9		7	3	19
生化学自動分析装置(12チャンネル以上)	23	8	11	9	51
光凝固装置	11	3	8	1	23
レーザーメス	15	2	6	12	35
筋肉増強装置(サイベックス)	4	1	3		8

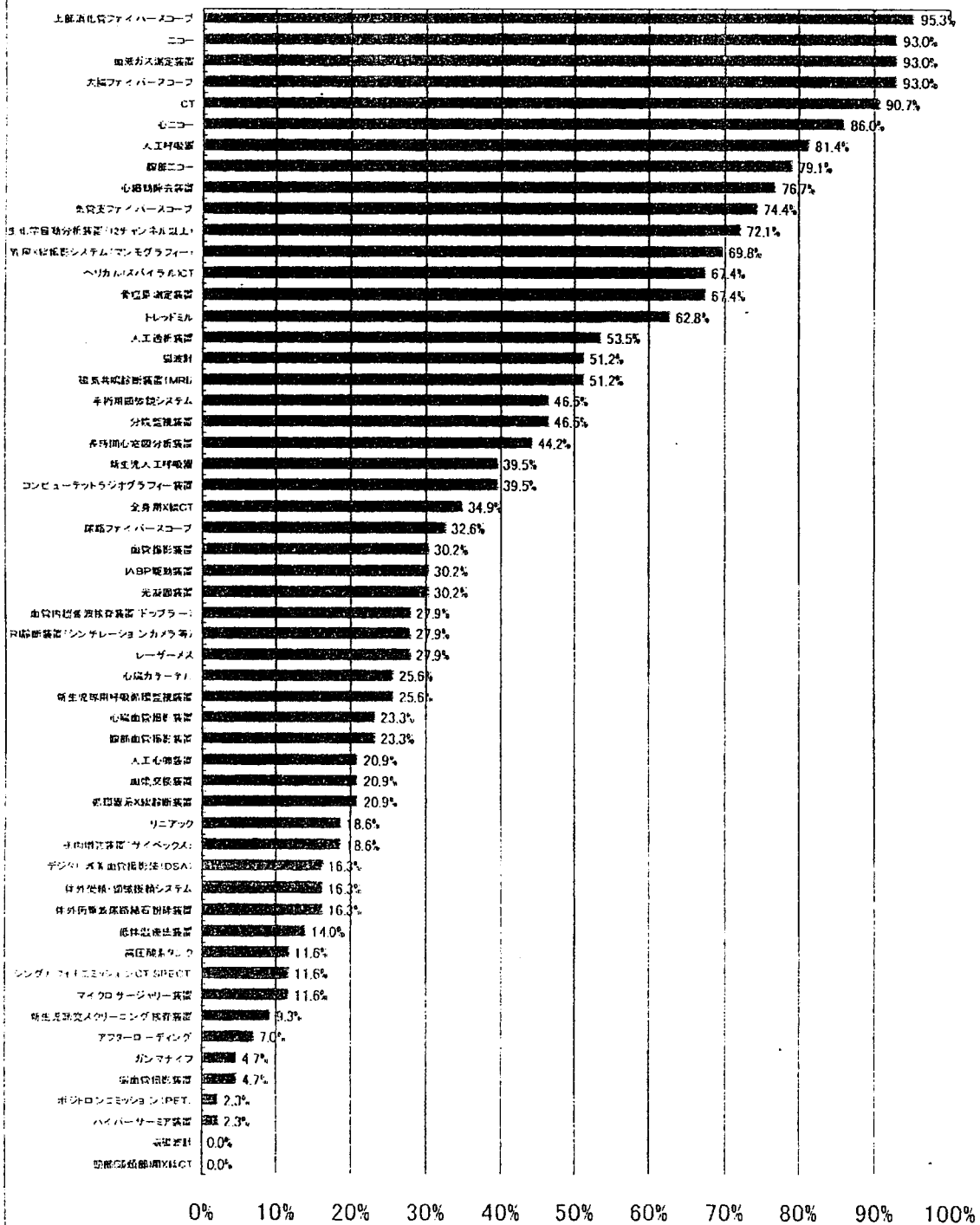
表9-11-2 主要医療機器の導入率 地域別

	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	導入施設数	導入率	導入施設数	導入率	導入施設数	導入率	導入施設数	導入率	導入施設数	導入率
リニアック	3	15.8%	1	25.0%	1	11.1%	3	27.3%	8	18.6%
ガンマナイフ	1	5.3%					1	9.1%	2	4.7%
アフターローディング	2	10.5%					1	9.1%	3	7.0%
人工心肺装置	3	15.8%			2	22.2%	4	36.4%	9	20.9%
心臓カテーテル	5	26.3%	1	25.0%	2	22.2%	3	27.3%	11	25.6%

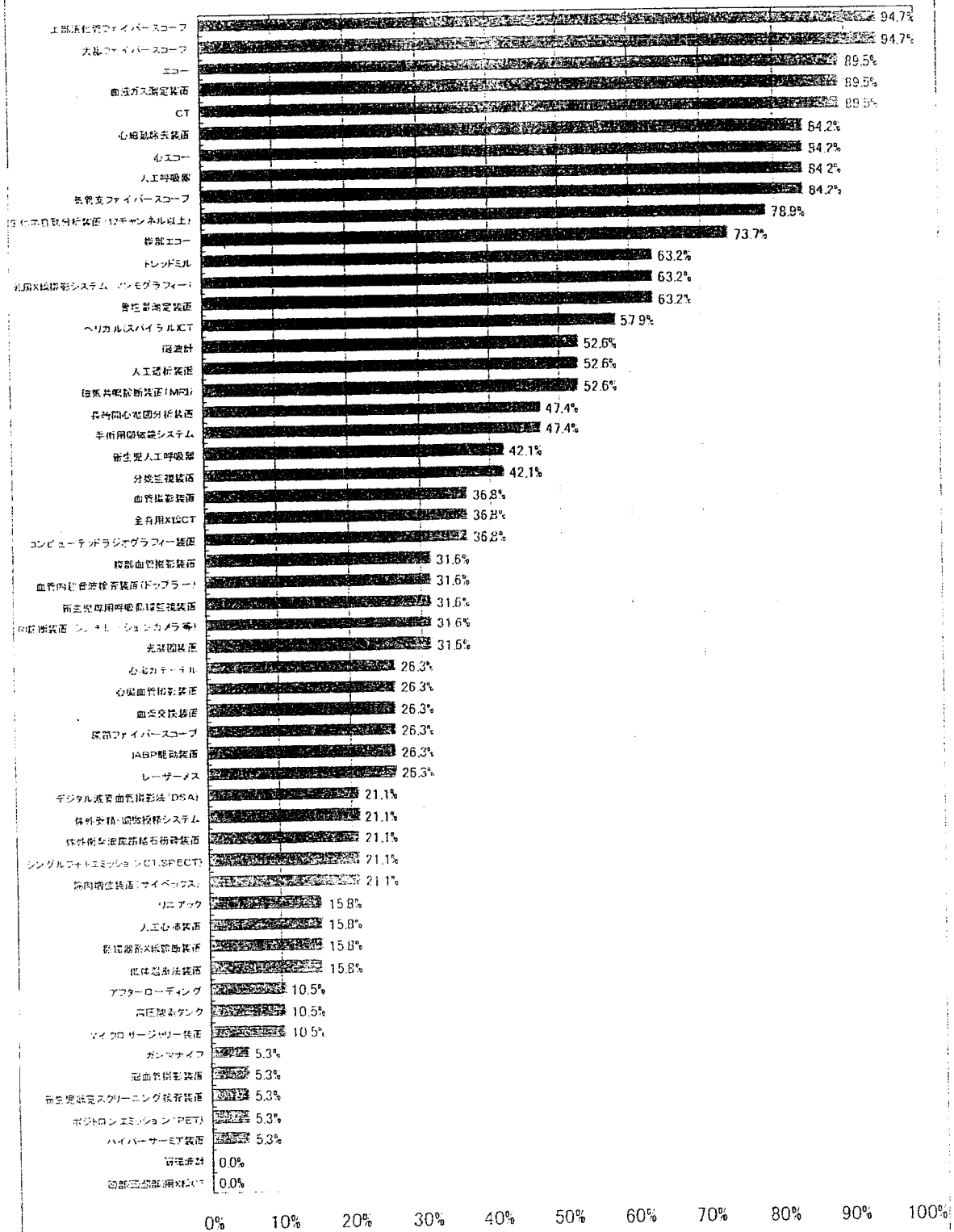
心細動除去装置	16	84.2%	2	50.0%	8	88.9%	7	63.6%	33	76.7%
長時間心電図分析装置	9	47.4%	2	50.0%	4	44.4%	4	36.4%	19	44.2%
高圧酸素タンク	2	10.5%	1	25.0%			2	18.2%	5	11.6%
デジタル減算血管撮影法(DSA)	4	21.1%			3	33.3%			7	16.3%
血管撮影装置	7	36.8%			2	22.2%	4	36.4%	13	30.2%
心臓血管撮影装置	5	26.3%			2	22.2%	3	27.3%	10	23.3%
腹部血管撮影装置	6	31.6%			1	11.1%	3	27.3%	10	23.3%
脳血管撮影装置	1	5.3%			1	11.1%			2	4.7%
エコー	17	89.5%	4	100.0%	9	100.0%	10	90.9%	40	93.0%
心エコー	16	84.2%	4	100.0%	9	100.0%	8	72.7%	37	86.0%
腹部エコー	14	73.7%	4	100.0%	8	88.9%	8	72.7%	34	79.1%
血管内超音波検査装置(ドップラー)	6	31.6%			4	44.4%	2	18.2%	12	27.9%
血液ガス測定装置	17	89.5%	4	100.0%	9	100.0%	10	90.9%	40	93.0%
トレッドミル	12	63.2%	3	75.0%	6	66.7%	6	54.5%	27	62.8%
手術用顕微鏡システム	9	47.4%	2	50.0%	4	44.4%	5	45.5%	20	46.5%
脳波計	10	52.6%	1	25.0%	6	66.7%	5	45.5%	22	51.2%
脳磁波計										
新生児専用呼吸循環監視装置	6	31.6%			1	11.1%	4	36.4%	11	25.6%
新生児人工呼吸器	8	42.1%	1	25.0%	3	33.3%	5	45.5%	17	39.5%
新生児聴覚スクリーニング検査装置	1	5.3%			1	11.1%	2	18.2%	4	9.3%
分娩監視装置	8	42.1%	1	25.0%	5	55.6%	6	54.5%	20	46.5%
体外受精・顕微授精システム	4	21.1%			1	11.1%	2	18.2%	7	16.3%
人工透析装置	10	52.6%	1	25.0%	6	66.7%	6	54.5%	23	53.5%
血漿交換装置	5	26.3%	1	25.0%	2	22.2%	1	9.1%	9	20.9%
体外衝撃波尿路結石粉碎装置	4	21.1%			1	11.1%	2	18.2%	7	16.3%
人工呼吸器	16	84.2%	3	75.0%	8	88.9%	8	72.7%	35	81.4%
上部消化管ファイバースコープ	18	94.7%	4	100.0%	9	100.0%	10	90.9%	41	95.3%
気管支ファイバースコープ	16	84.2%	3	75.0%	6	66.7%	7	63.6%	32	74.4%
大腸ファイバースコープ	18	94.7%	4	100.0%	9	100.0%	9	81.8%	40	93.0%
尿路ファイバースコープ	5	26.3%	1	25.0%	4	44.4%	4	36.4%	14	32.6%
乳房X線撮影システム(マンモグラフィ)	12	63.2%	3	75.0%	7	77.8%	8	72.7%	30	69.8%
循環器系X線診断装置	3	15.8%	1	25.0%	2	22.2%	3	27.3%	9	20.9%
磁気共鳴診断装置(MRI)	10	52.6%	1	25.0%	5	55.6%	6	54.5%	22	51.2%
CT	17	89.5%	4	100.0%	9	100.0%	9	81.8%	39	90.7%
全身用X線CT	7	36.8%	1	25.0%	5	55.6%	2	18.2%	15	34.9%
頭部(頭頸部)用X線CT										
シングルフォトエミッションCT(SP ECT)	4	21.1%					1	9.1%	5	11.6%
ヘリカル(スパイラル)CT	11	57.9%	4	100.0%	6	66.7%	8	72.7%	29	67.4%

RI診断装置(シンチレーションカメラ等)	6	31.6%	1	25.0%	2	22.2%	3	27.3%	12	27.9%
ホジトロンエミッション(PET)	1	5.3%							1	2.3%
コンピューテッドラジオグラフィ装置	7	36.8%	2	50.0%	3	33.3%	5	45.5%	17	39.5%
骨塩量測定装置	12	63.2%	4	100.0%	5	55.6%	8	72.7%	29	67.4%
マイクロサージャリー装置	2	10.5%			1	11.1%	2	18.2%	5	11.6%
IABP駆動装置	5	26.3%	1	25.0%	3	33.3%	4	36.4%	13	30.2%
ハイパーサーミア装置	1	5.3%							1	2.3%
低体温療法装置	3	15.8%			2	22.2%	1	9.1%	6	14.0%
生化学自動分析装置(12チャンネル以上)	15	78.9%	3	75.0%	8	88.9%	5	45.5%	31	72.1%
光凝固装置	6	31.6%	1	25.0%	5	55.6%	1	9.1%	13	30.2%
レーザーメス	5	26.3%	2	50.0%	3	33.3%	2	18.2%	12	27.9%
筋肉増強装置(サイベックス)	4	21.1%	1	25.0%	3	33.3%			8	18.6%

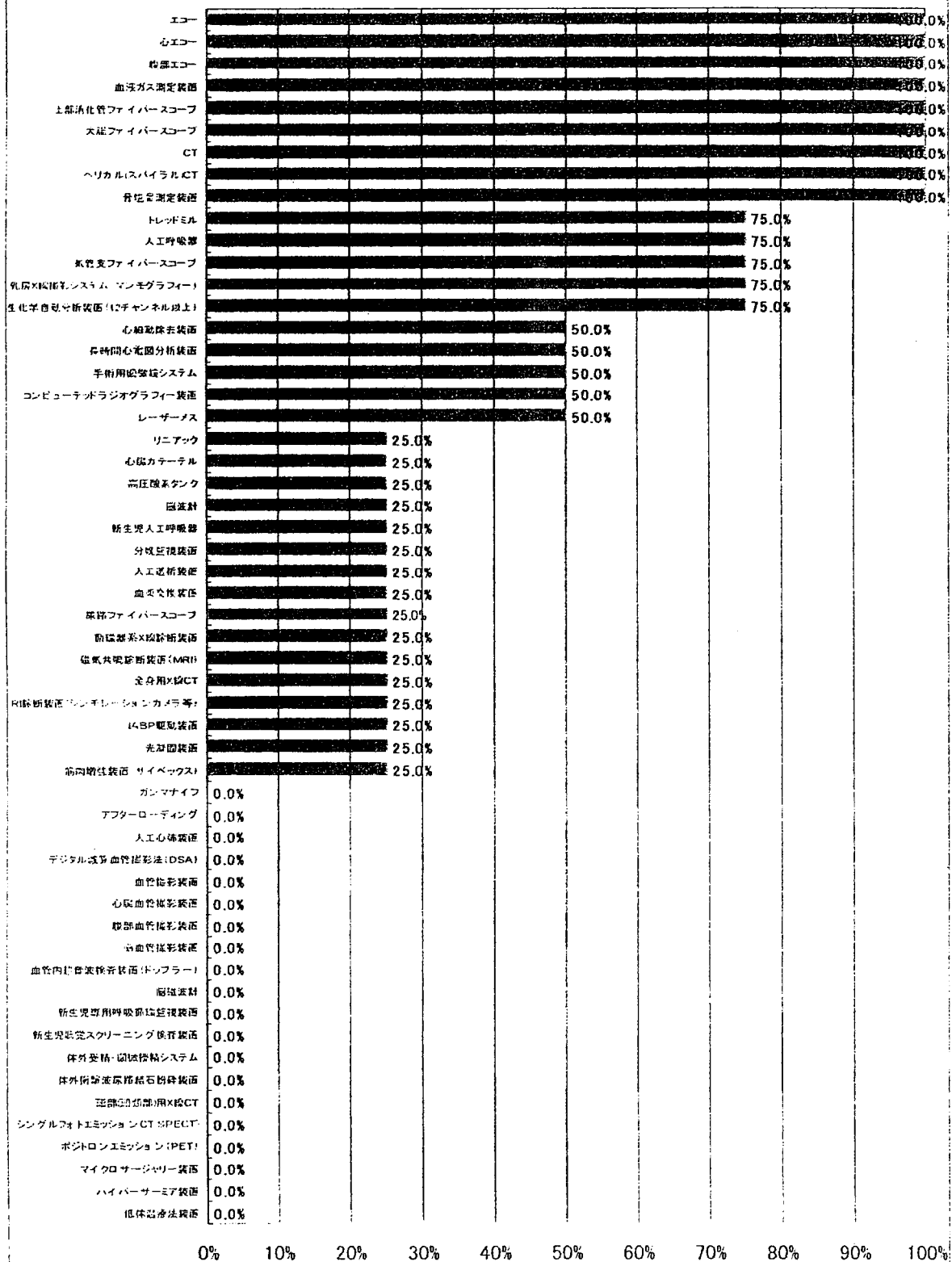
医療機器の導入状況(全体)



医療機器の導入状況(村山)



医療機器の導入状況(最上)



医療機器の導入状況(庄内)

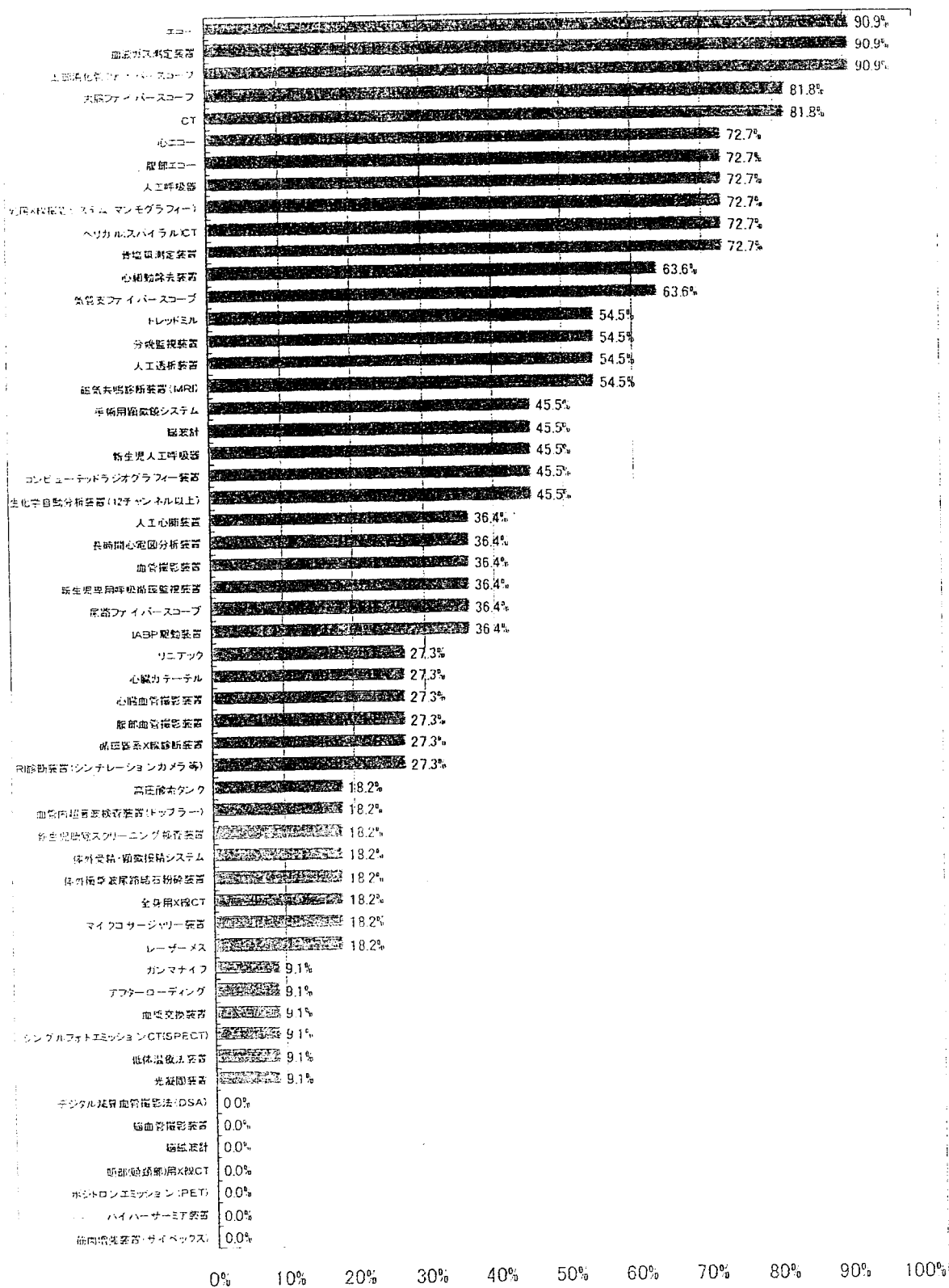


表9-1-43 主な医療機器の地域別構成比（導入台数ベース）

	村山 地域	最上 地域	置賜 地域	庄内 地域	合計
リニアック	44.4%	11.1%	11.1%	33.3%	100.0%
ガンマナイフ	50.0%			50.0%	100.0%
アフターローディング	66.7%			33.3%	100.0%
人工心肺装置	50.0%		16.7%	33.3%	100.0%
心臓カテーテル	45.5%	9.1%	18.2%	27.3%	100.0%
心細動除去装置	49.0%	5.2%	25.2%	20.6%	100.0%
長時間心電図分析装置	41.0%	9.0%	37.2%	12.8%	100.0%
高圧酸素タンク	40.0%	20.0%		40.0%	100.0%
デジタル減算血管撮影法(DSA)	62.5%		37.5%		100.0%
血管撮影装置	52.2%		21.7%	26.1%	100.0%
心臓血管撮影装置	50.0%		20.0%	30.0%	100.0%
腹部血管撮影装置	60.0%		10.0%	30.0%	100.0%
脳血管撮影装置	33.3%		66.7%		100.0%
エコー	50.8%	4.9%	21.6%	22.7%	100.0%
心エコー	62.5%	5.6%	15.3%	16.7%	100.0%
腹部エコー	43.4%	4.4%	25.7%	26.5%	100.0%
血管内超音波検査装置(ドップラー)	30.0%		40.0%	30.0%	100.0%
血液ガス測定装置	42.0%	7.2%	23.2%	27.5%	100.0%
トレッドミル	50.0%	11.1%	19.4%	19.4%	100.0%
手術用顕微鏡システム	47.4%	12.3%	17.5%	22.8%	100.0%
脳波計	47.5%	5.0%	20.0%	27.5%	100.0%
脳磁波計					
新生児専用呼吸循環監視装置	64.0%		4.0%	32.0%	100.0%
新生児人工呼吸器	58.8%	2.0%	9.8%	29.4%	100.0%
新生児聴覚スクリーニング検査装置	25.0%		25.0%	50.0%	100.0%
分娩監視装置	49.0%	2.0%	19.0%	30.0%	100.0%
体外受精・顕微授精システム	57.1%		14.3%	28.6%	100.0%
人工透析装置	41.2%	3.5%	18.4%	36.9%	100.0%
血漿交換装置	50.0%	8.3%	25.0%	16.7%	100.0%
体外衝撃波尿路結石粉碎装置	66.7%		11.1%	22.2%	100.0%
人工呼吸器	45.6%	2.8%	17.2%	34.4%	100.0%
上部消化管ファイバースコープ	38.9%	5.0%	29.4%	26.7%	100.0%
気管支ファイバースコープ	52.3%	3.7%	28.4%	15.6%	100.0%
大腸ファイバースコープ	46.5%	6.3%	22.5%	24.6%	100.0%
尿路ファイバースコープ	40.7%	3.7%	25.9%	29.6%	100.0%
乳房X線撮影システム(マンモグラフィー)	40.0%	10.0%	23.3%	26.7%	100.0%

循環器系X線診断装置	45.5%	9.1%	18.2%	27.3%	100.0%
磁気共鳴診断装置(MRI)	55.2%	3.4%	17.2%	24.1%	100.0%
CT	48.3%	10.0%	18.3%	23.3%	100.0%
全身用X線CT	55.0%	10.0%	25.0%	10.0%	100.0%
頭部(頭頸部)用X線CT					
シングルフォトエミッションCT(SPECT)	85.7%			14.3%	100.0%
ヘリカル(スパイラル)CT	36.4%	12.1%	18.2%	33.3%	100.0%
RI診断装置(シンチレーションカメラ等)	46.7%	6.7%	20.0%	26.7%	100.0%
ポジトロンエミッション(PET)	100.0%				100.0%
コンピューテッドラジオグラフィ装置	25.6%	4.7%	25.6%	44.2%	100.0%
骨塩量測定装置	41.4%	13.8%	17.2%	27.6%	100.0%
マイクロサージャリー装置	40.0%		20.0%	40.0%	100.0%
IABP駆動装置	42.9%	4.8%	23.8%	28.6%	100.0%
ハイパーサーミア装置	100.0%				100.0%
低体温療法装置	47.4%		36.8%	15.8%	100.0%
生化学自動分析装置(12チャンネル以上)	45.1%	15.7%	21.6%	17.6%	100.0%
光凝固装置	47.8%	13.0%	34.8%	4.3%	100.0%
レーザーメス	42.9%	5.7%	17.1%	34.3%	100.0%
筋肉増強装置(サイベックス)	50.0%	12.5%	37.5%		100.0%

表6-10 平成16年増設入医療機器

	村山 地域	最上 地域	置賜 地域	庄内 地域	合計
回答施設数	10	2	6	6	24
心臓カテーテル	1				1
心細動除去装置	6	3	6	9	24
長時間心電図分析装置		1	14		15
血管撮影装置	2				2
エコー	4	1	2	2	9
血管内超音波検査装置(ドップラー)			1		1
血液ガス測定装置	2				2
脳波計	1	1		1	3
脳磁波計	1				1
新生児人工呼吸器	1				1
新生児聴覚スクリーニング検査装置			1	1	2
分娩監視装置		1	1		2
体外受精・顕微授精システム			1		1
人工透析装置	2	16		1	19
血漿交換装置		1			1

人工呼吸器	7	-	1	2	10
上部消化管ファイバースコープ	1	1	9	3	14
気管支ファイバースコープ	1		3		4
大腸ファイバースコープ	1		7	2	10
乳房X線撮影システム(マンモグラフィ)		1	1	1	3
CT		1	2		3
ポジトロンエミッション(PET)	2				2
コンピューテッドラジオグラフィ装置			4	1	5
骨塩量測定装置		1			1
生化学自動分析装置(12チャンネル以上)	1			2	3
合計	39	30	57	27	153

(2) 医療機器の稼働状況

表 9-12-1 主な医療機器の稼働状況(地域別) -1台平均-

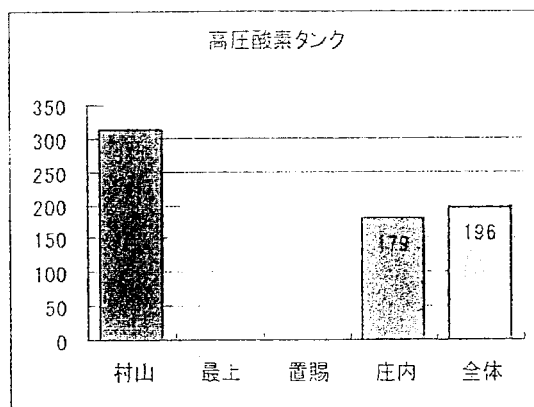
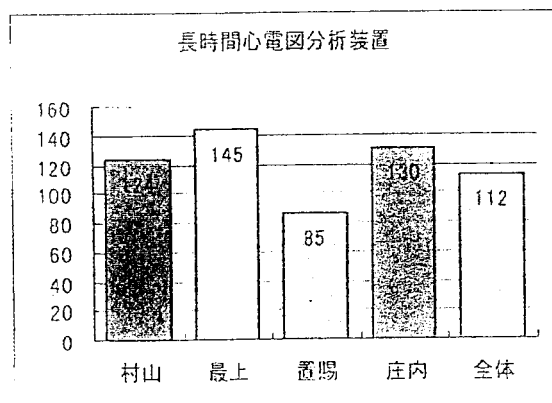
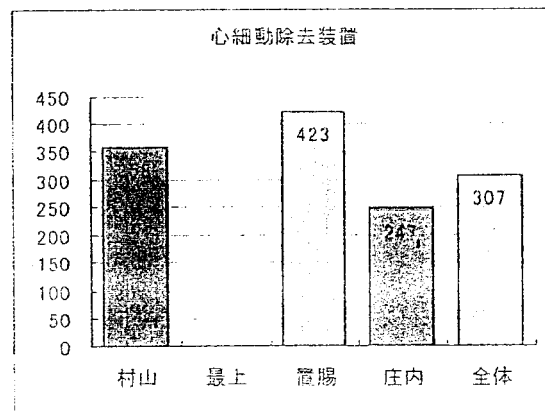
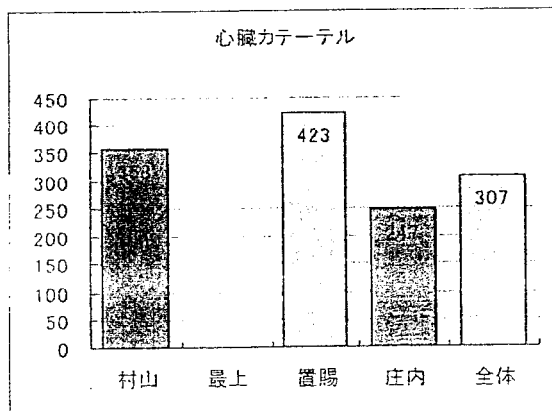
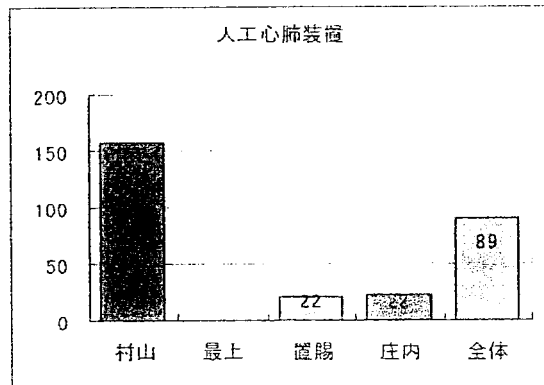
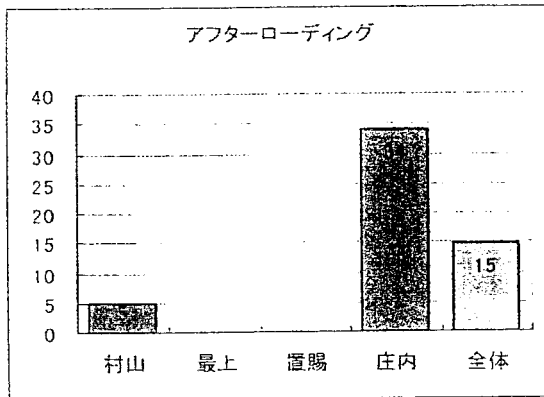
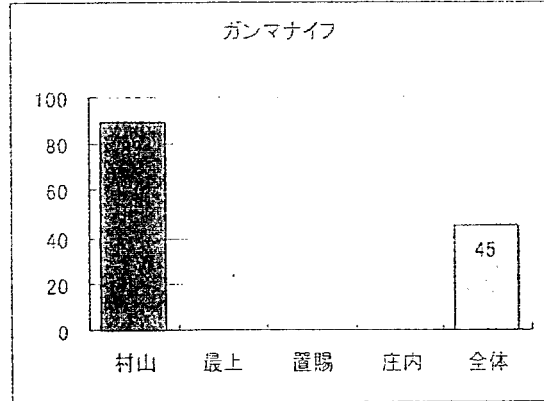
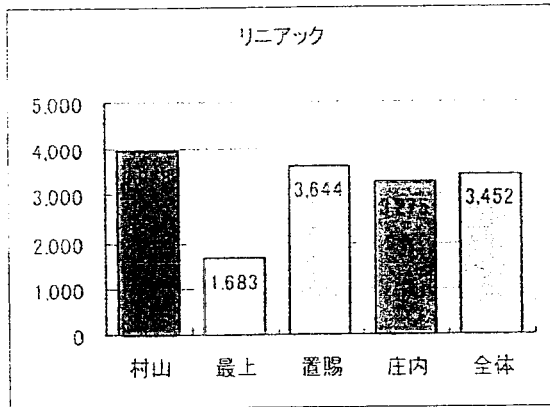
回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		全体	
	15	1台 平均	4	1台 平均	7	1台 平均	8	1台 平均	34	1台 平均
リニアック	15,912	3,978	1,683	1,683	3,644	3,644	9,825	3,275	31,064	3,452
ガンマナイフ	89	89							89	45
アフターローディング	10	5					34	34	44	15
人工心肺装置	940	157			43	22	88	22	1,071	89
心臓カテーテル	1,791	358			846	423	741	247	3,378	307
心細動除去装置	95	1			123	3	30	1	248	2
長時間心電図分析装置	3,956	124	1,013	145	2,472	85	1,303	130	8,744	112
高圧酸素タンク	622	311					357	179	979	196
デジタル減算血管撮影法(DSA)	1,480	296			523	174			2,003	250
心臓血管造影装置	2,836	236			168	34	1,803	301	4,807	209
心臓血管造影装置	1,180	236			168	84	805	268	2,153	215
腹部血管造影装置	1,075	179					935	312	2,010	201
脳血管造影装置	581	581					63		644	215
	59,567	634	9,659	1,073	29,386	735	19,507	464	118,119	638
心エコー	14,765	328	3,158	790	5,018	456	9,093	758	32,034	445
腹部エコー	44,802	914	6,501	1,300	24,368	840	10,414	347	86,085	762

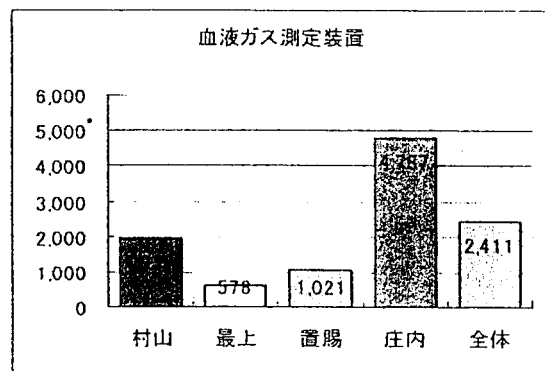
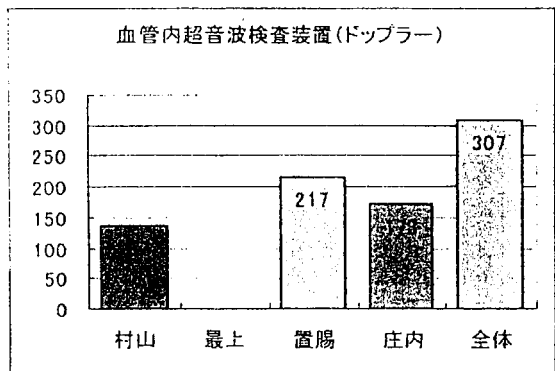
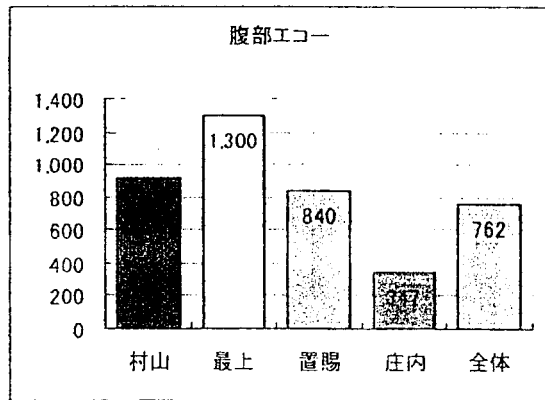
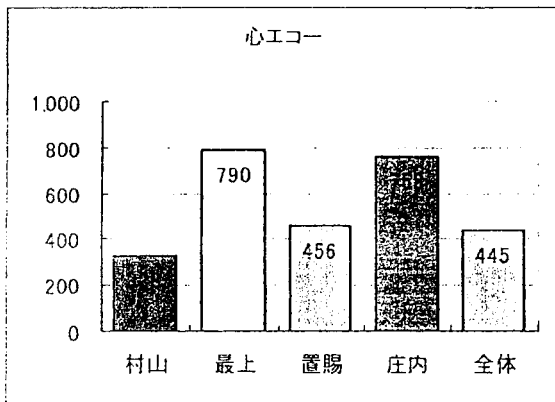
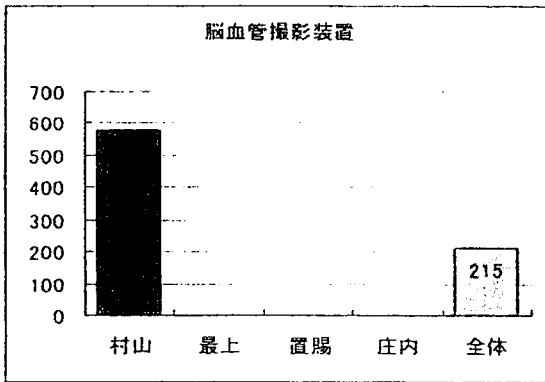
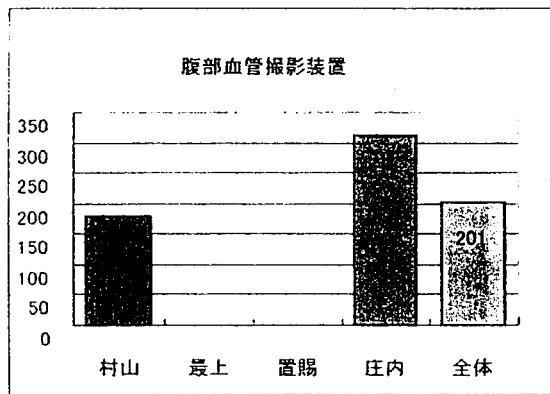
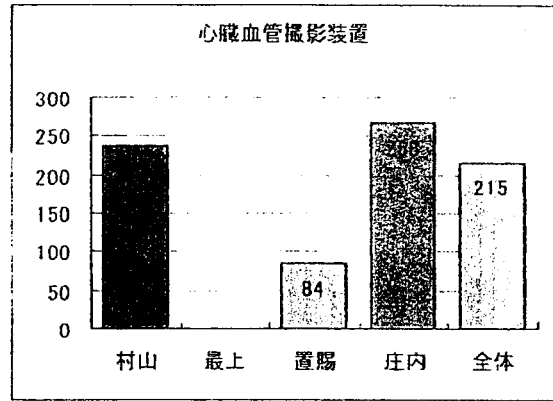
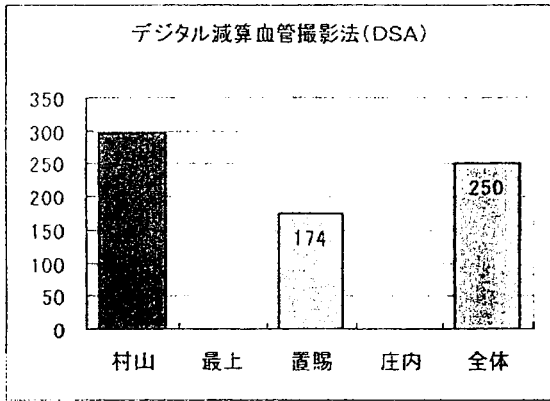
血管内超音波検査装置(ドップラー)	819	137	2,555		1,736	217	1,039	173	6,149	307
血液ガス測定装置	56,164	1,937	2,891	578	16,329	1,021	90,954	4,787	166,338	2,411
トレットミル	1,429	79	392	98	311	44	927	132	3,059	85
手術用顕微鏡システム	844	31	138	20	364	36	242	19	1,588	28
脳波計	4,659	245	194	97	857	107	1,915	174	7,825	191
脳磁波計										
新生児専用呼吸循環監視装置	10	0			492	164			502	7
新生児人工呼吸器	56	2			6	1	241	16	303	6
新生児聴覚スクリーニング検査装置										
分娩監視装置	664	14			2,323	122	288	10	3,275	33
体外受精・顕微授精システム	517	129			99	99	12	6	628	90
人工透析装置	64,143	318	4,856	286	25,419	282	50,952	282	145,370	297
血漿交換装置	54	9	36	36	14	5	2	1	106	9
体外衝撃波尿路結石粉碎装置	234	39			107	107	324	162	665	74
人工呼吸器	102,849	704			3,670	67	2,473	22	108,992	341
上部消化管ファイバースコープ	23,930	278	5,260	478	13,099	202	20,582	349	62,871	284
気管支ファイバースコープ	709	12	260	65	267	9	2,777	163	4,013	37
大腸ファイバースコープ	8,852	134	1,732	192	5,293	165	8,135	232	24,012	169
尿路ファイバースコープ	329	30	500	500	459	66	1,665	208	2,953	109
乳房X線撮影システム(マンモグラフィ)	6,345	529	575	192	2,073	296	4,026	503	13,019	434
循環器系X線診断装置	653	131	607	607	4,786	2,393	745	248	6,791	617
磁気共鳴診断装置(MRI)	31,091	1,943	3,727	3,727	11,372	2,274	14,408	2,058	60,598	2,090
	87,741	3,026	13,525	2,254	33,568	3,052	48,394	3,457	183,228	3,054
全身用X線CT	44,756	4,069	5,111	2,556	27,503	5,501	1,505	753	78,875	3,944
頭部(頭頸部)用X線CT	4,058								4,058	

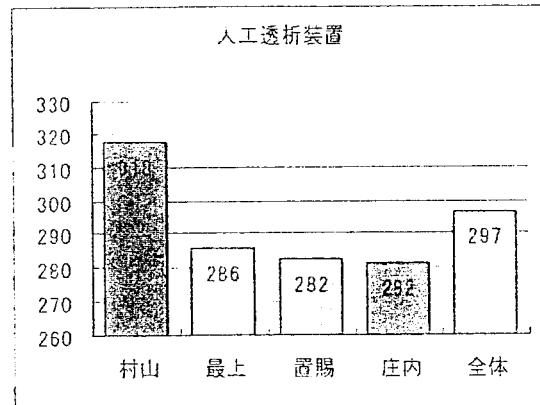
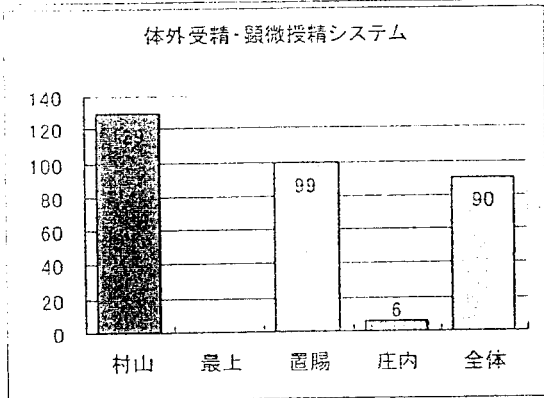
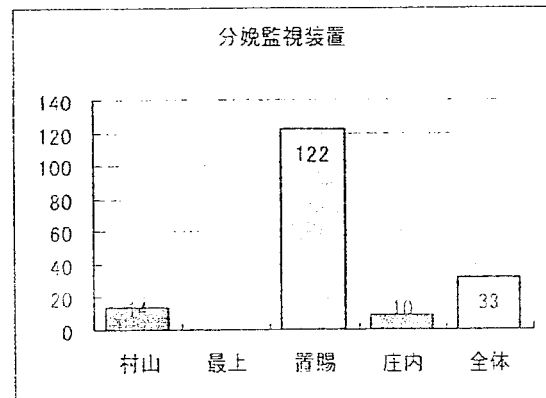
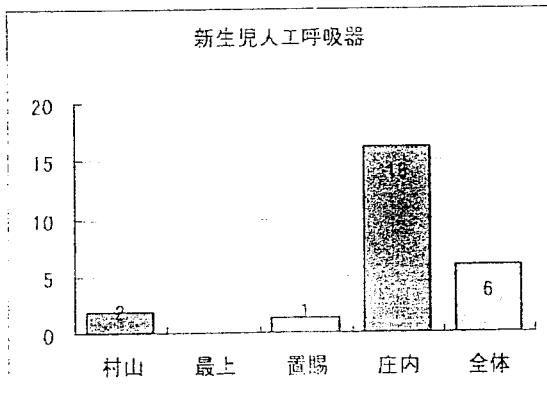
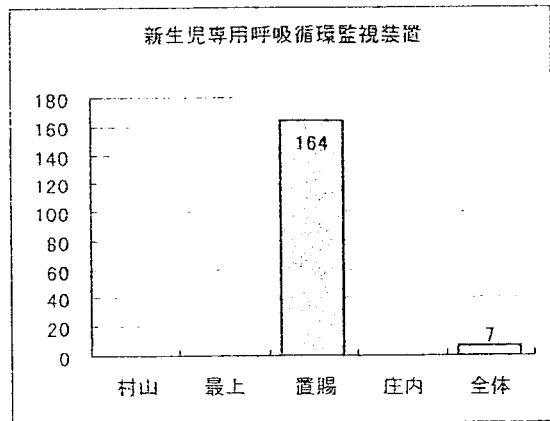
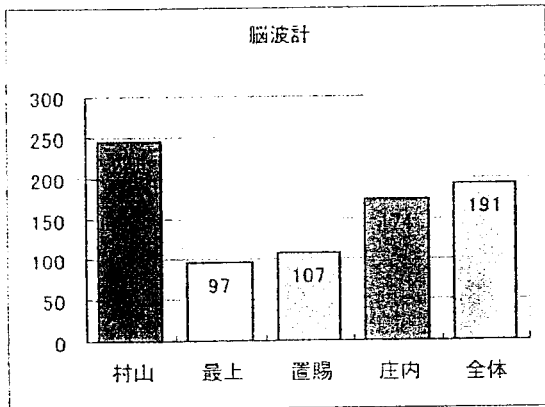
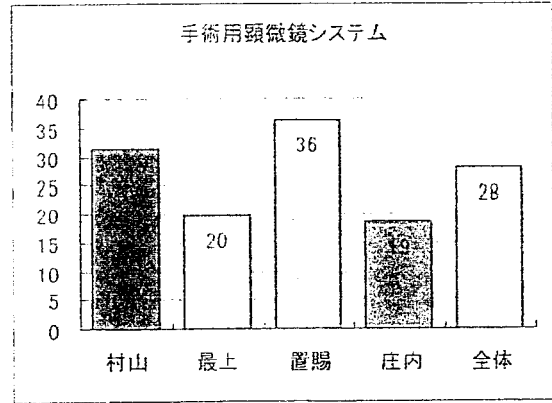
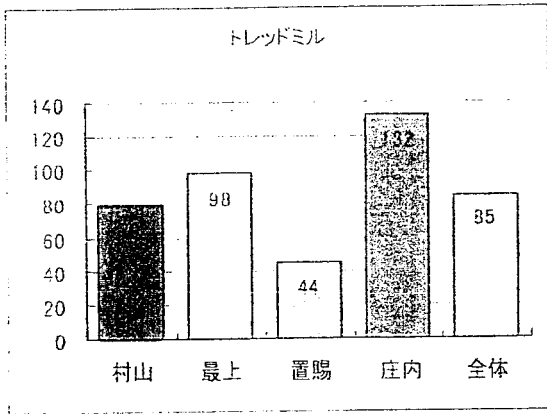
シングルフォトエミ ッションCT(SPECT)	3,273	546					222	222	3,495	499
ヘリカルスパイラ ル)CT	35,654	2,971	8,414	2,104	6,065	1,011	46,667	4,242	96,800	2,933
RI診断装置(シンチ レーションカメラ等)	5,104	729	1,132	1,132	2,180	727	2,350	588	10,766	718
ポジトロンエミッシ ョン(PET)										
コンピューテッドラジ オグラフィ装置	115,791	10,526	16,259	8,130	49,814	4,529	112,132	5,902	293,996	6,837
骨塩量測定装置	6,126	511	521	130	1,199	240	3,963	495	11,809	407
マイクロサージャリ ー装置	399	200					71	36	470	94
IABP駆動装置	66	7			40	8	17	3	123	6
ハイパーサーミア装 置										
低体温療法装置							520	173	520	27
生化学自動分析装 置(12チャンネル以上)	2,351,274	102,229	489,891	61,236	1,701,615	154,692	1,230,284	136,698	5,773,064	113,197
光凝固装置	266	24			14,814	1,852	2,805	2,805	17,885	778
レーザーメス	35	2	1	1	14	2			50	1
筋肉増強装置(サイ ベックス)	712	178			144	48			856	107

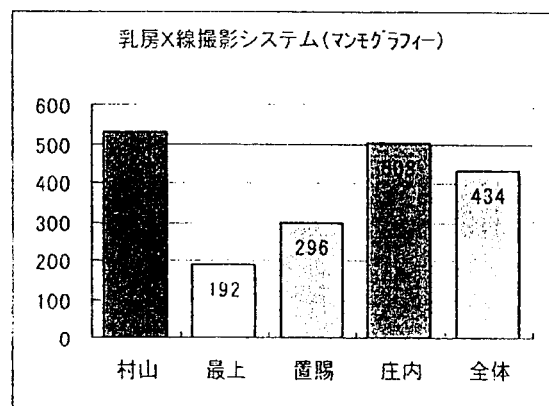
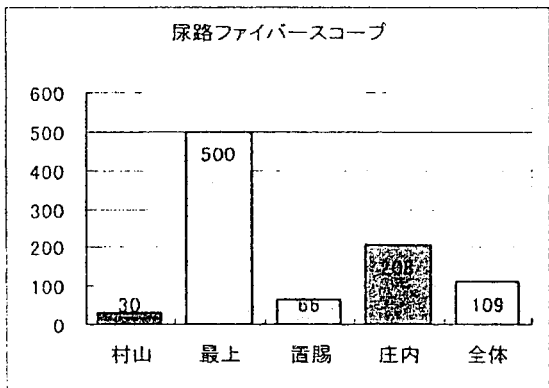
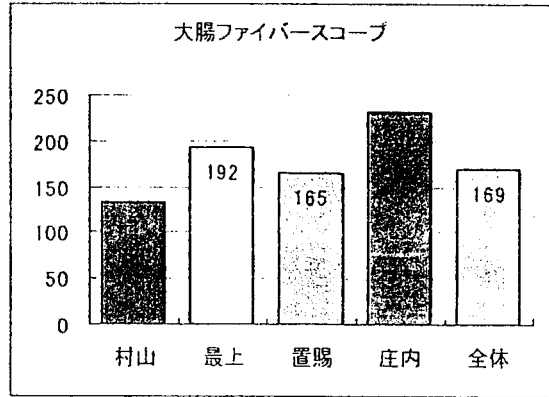
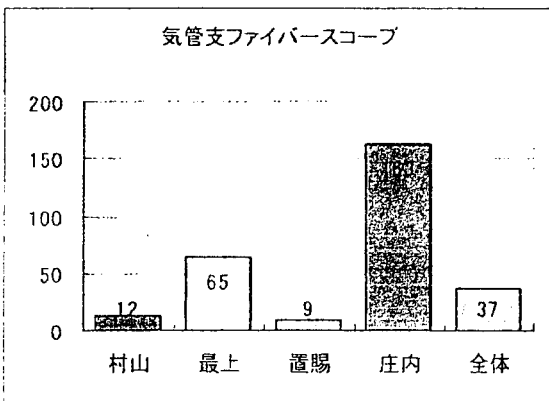
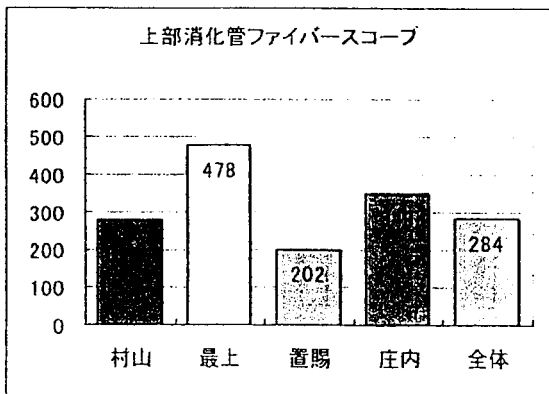
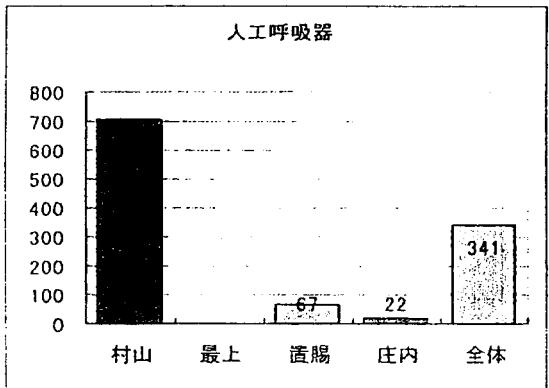
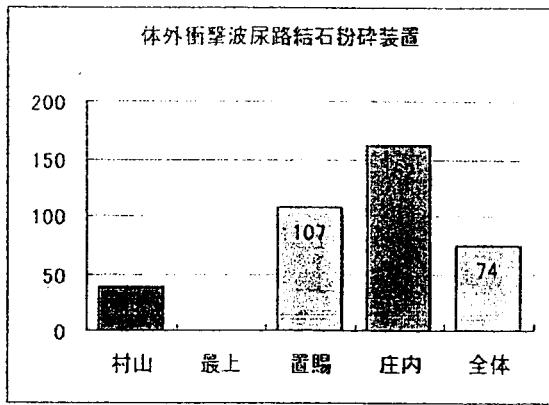
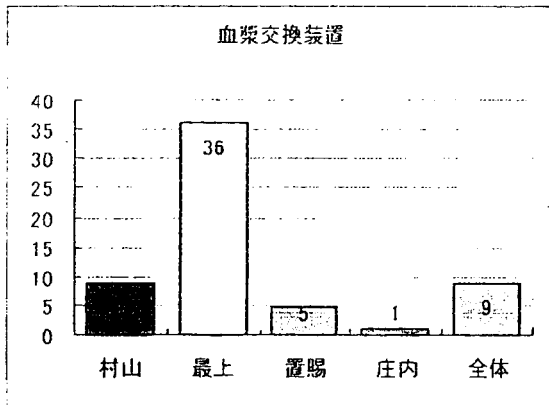
※「脳血管撮影装置」「頭部(頭頸部)用X線CT」「血管内超音波検査装置(ドップラー)」については、当該機器導入台数に計上はないが、既設機器による当該部位等に係る件数実績の数値記載があったものも含まれている。

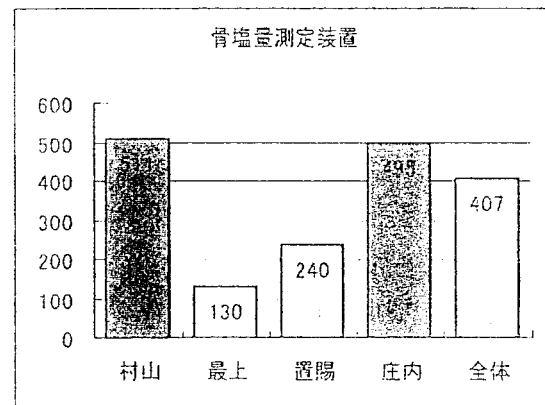
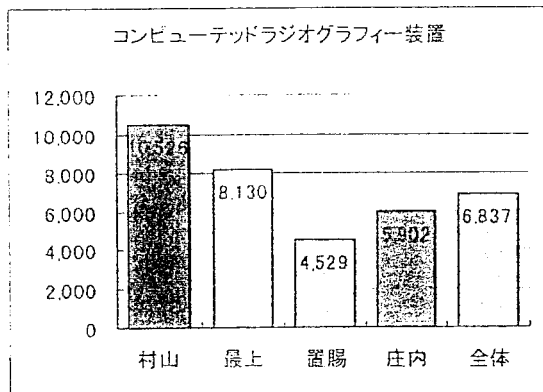
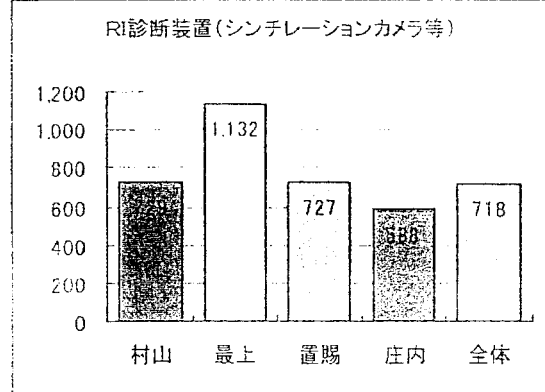
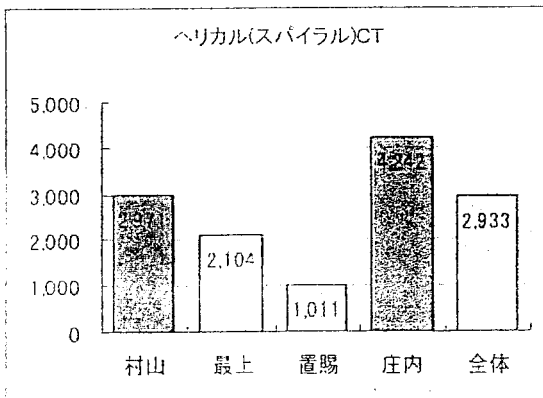
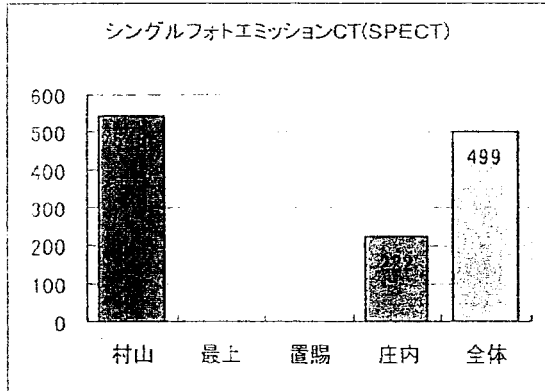
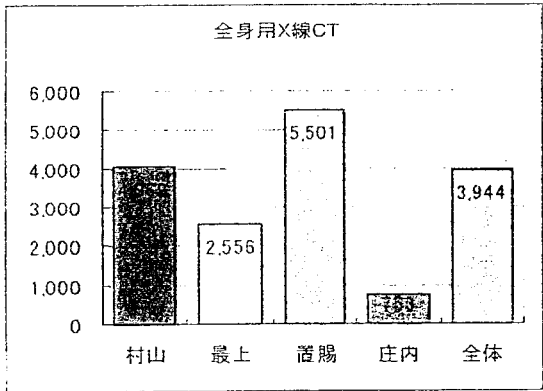
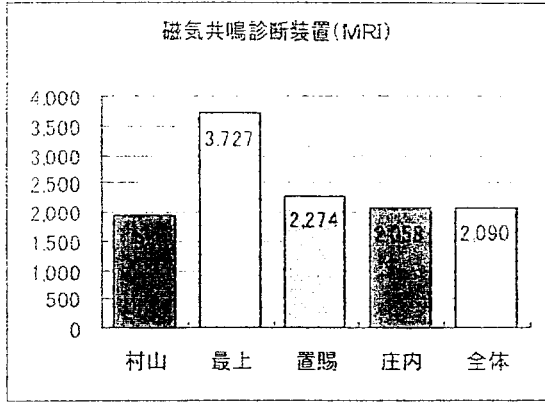
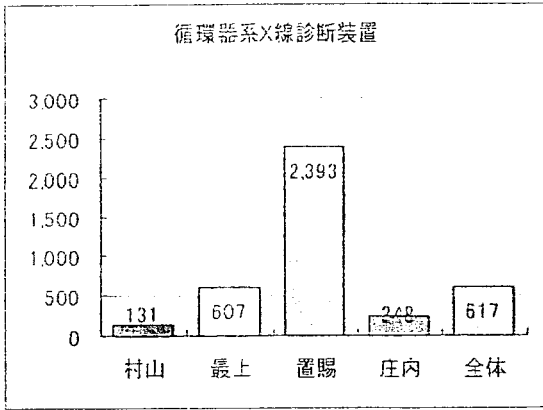
■ 主な医療機器の1台平均稼働件数（地域別）

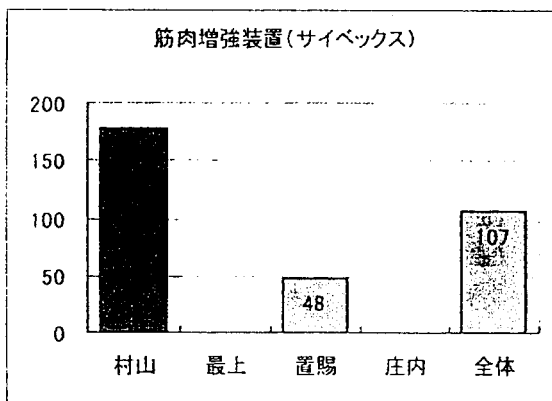
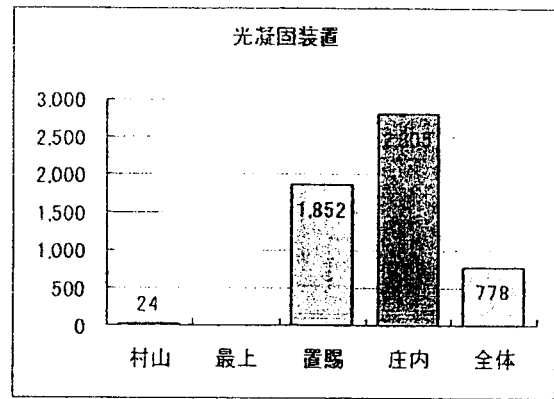
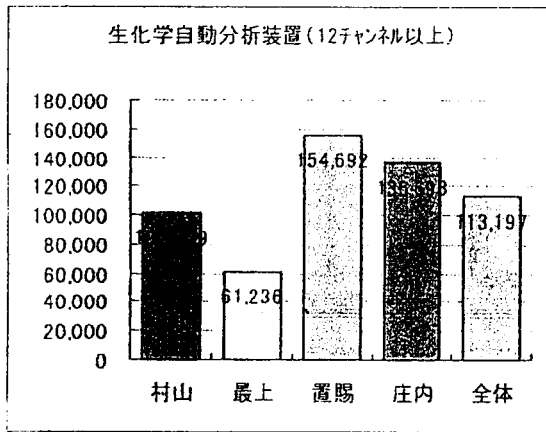












上位施設の稼働占有度

各医療施設における稼働実績から上位医療施設の医療機器別占有度の状況を分析した。

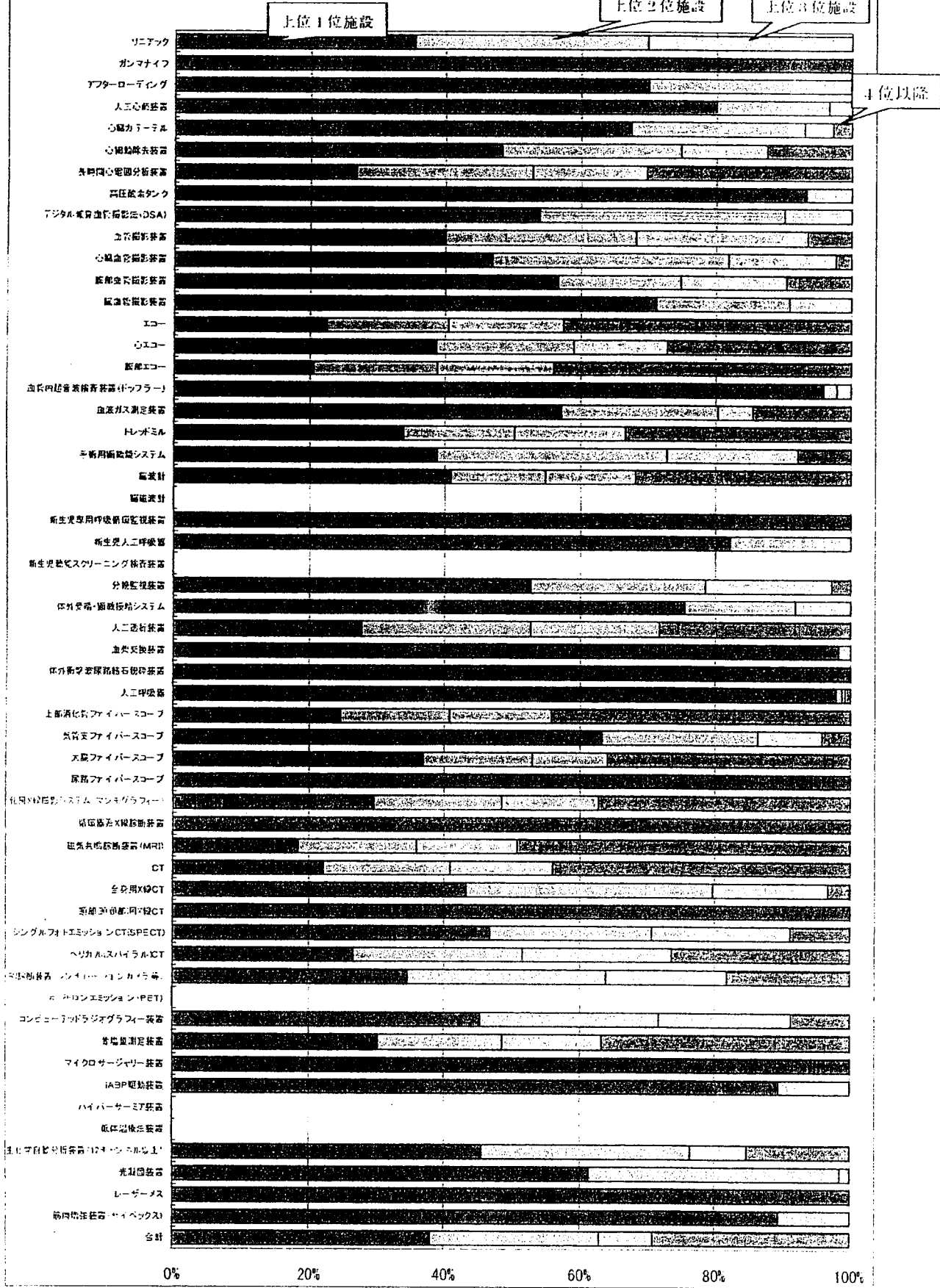
- ・ 村山地域：上位1施設で地域全体の稼働件数をカバーしている医療機器は、「ガンマナイフ」「新生児専用呼吸循環監視装置」「体外衝撃波尿路結石粉碎装置」「尿路ファイバースコープ」「循環器系X線診断装置」「頭部(頭頸部)用X線CT」「マイクロサージャリー装置」「レーザーメス」であった。また、上位1施設で地域全体の9割以上の稼働件数をカバーしている主な機器は、「血管内超音波検査装置(ドップラー)」「血漿交換装置」「人工呼吸器」などであった。上位2施設で地域全体の稼働件数をカバーしている医療機器は、「アフターローディング」「新生児人工呼吸器」「血漿交換装置」「IABP駆動装置」「筋肉増強装置(サイベックス)」などであった。上位3施設で地域全体の稼働件数をカバーしている医療機器は、「リニアック」「人工心肺装置」「デジタル減算血管撮影法(DSA)」「脳血管撮影装置」「血管内超音波検査装置(ドップラー)」「体外受精・顕微授精システム」などであった。
- ・ 最上地域：上位1施設で地域全体の稼働件数をカバーしている医療機器は、「リニアック」「血管内超音波検査装置(ドップラー)」「手術用顕微鏡システム」「脳波計」「人工透析装置」「血漿交換装置」「循環器系X線診断装置」「磁気共鳴診断装置(MRI)」「全身用X線CT」「RI診断装置(シンチレーションカメラ等)」「コンピューテッドラジオグラフィー装置」であった。一方、全施設で実績のあった機器は、

「エコー（心エコー、腹部エコー）」「上部消化管ファイバースコープ」 「大腸ファイバースコープ」の3機器であった。

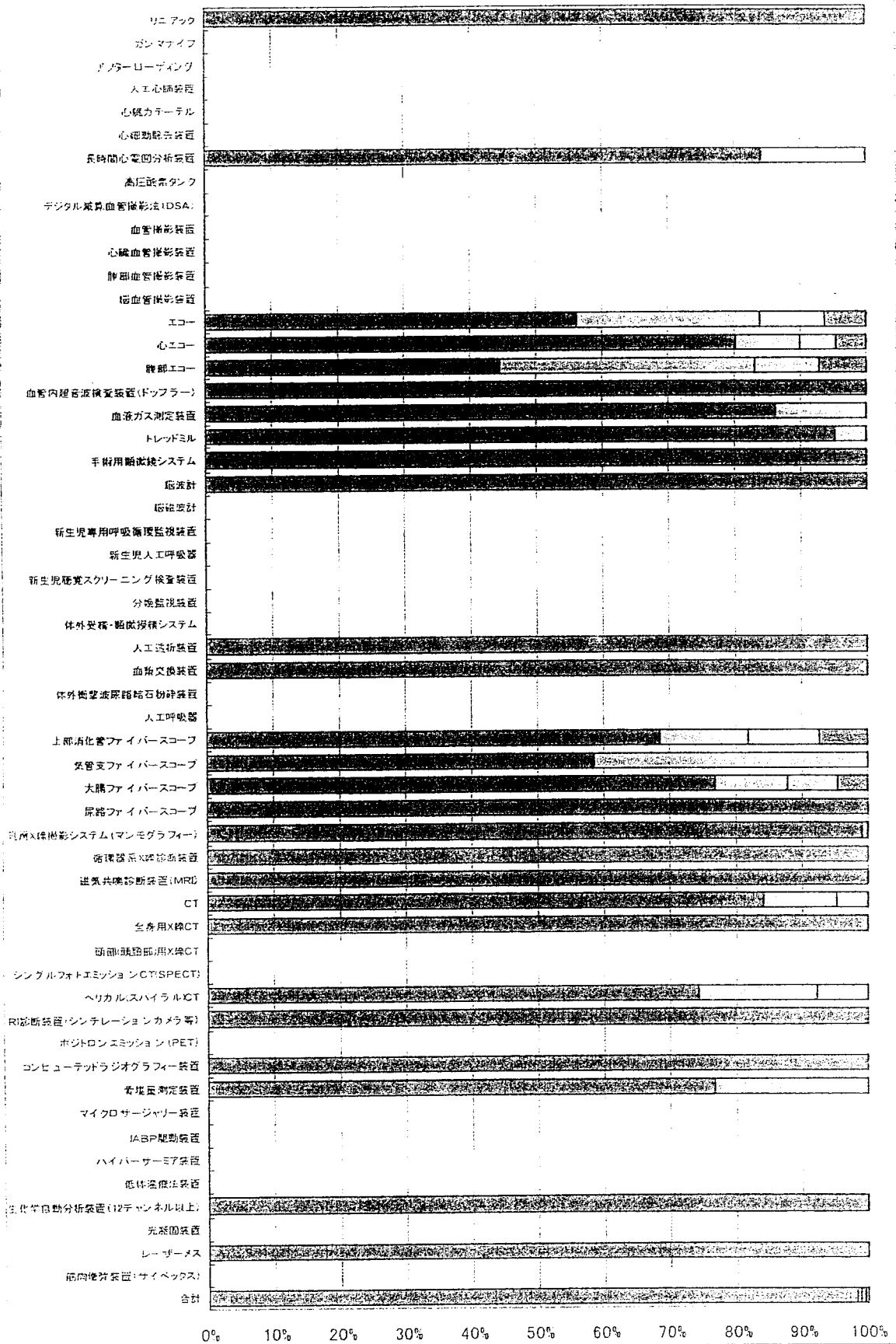
・ 置賜地域：上位1施設で地域全体の稼働件数をカバーしている医療機器は、「リニアック」 「心臓血管撮影装置」 「手術用顕微鏡システム」 「新生児専用呼吸循環監視装置」 「新生児人工呼吸器」 「体外受精・顕微授精システム」 「体外衝撃波尿路結石粉碎装置」 「レーザーメス」 などであった。上位2施設で地域全体の稼働件数をカバーしている医療機器は、「人工心肺装置」 「心臓カテーテル」 「デジタル減算血管撮影法（DSA）」 「分娩監視装置」 「循環器系X線診断装置」 「RI診断装置（シンチレーションカメラ等）」 「コンピューテッドラジオグラフィ装置」 「IABP駆動装置」 「筋肉増強装置（サイベックス）」 であった。

・ 庄内地域：上位1施設で地域全体の稼働件数をカバーしている医療機器は、「アフターローディング」 「心細動除去装置」 「脳血管撮影装置」 「血管内超音波検査装置（ドップラー）」 「新生児人工呼吸器」 「分娩監視装置」 「体外受精・顕微授精システム」 「血漿交換装置」 「全身用X線CT」 「シングルフォトエミッションCT（SPECT）」 「マイクロサージャリー装置」 などであった。上位2施設で地域全体の稼働件数をカバーしている医療機器は、「心臓カテーテル」 「心臓血管撮影装置」 「手術用顕微鏡システム」 「体外衝撃波尿路結石粉碎装置」 「尿路ファイバースコープ」 「IABP駆動装置」 であった。

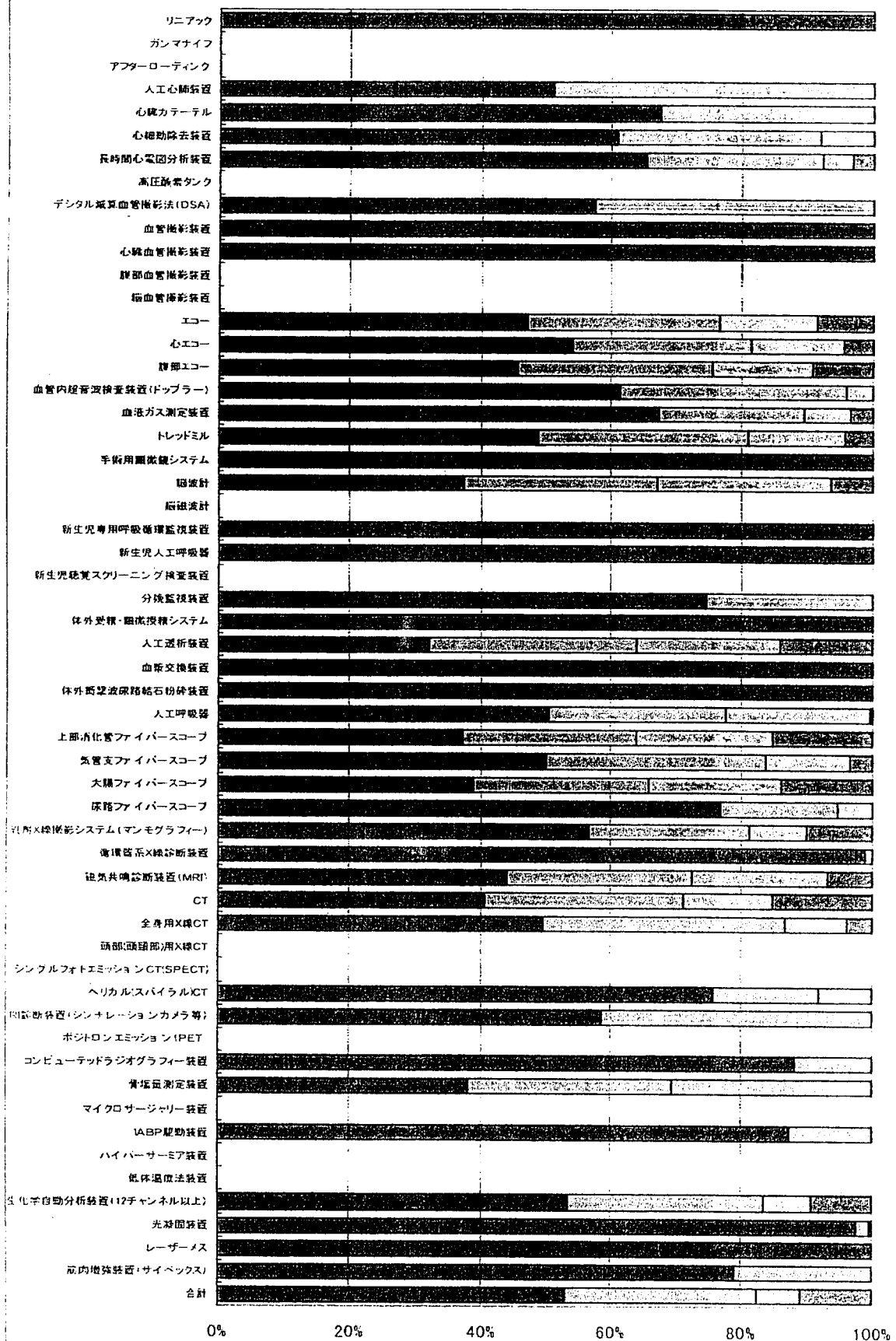
主な医療機器稼働件数における上位医療機関の占有度 (村山)



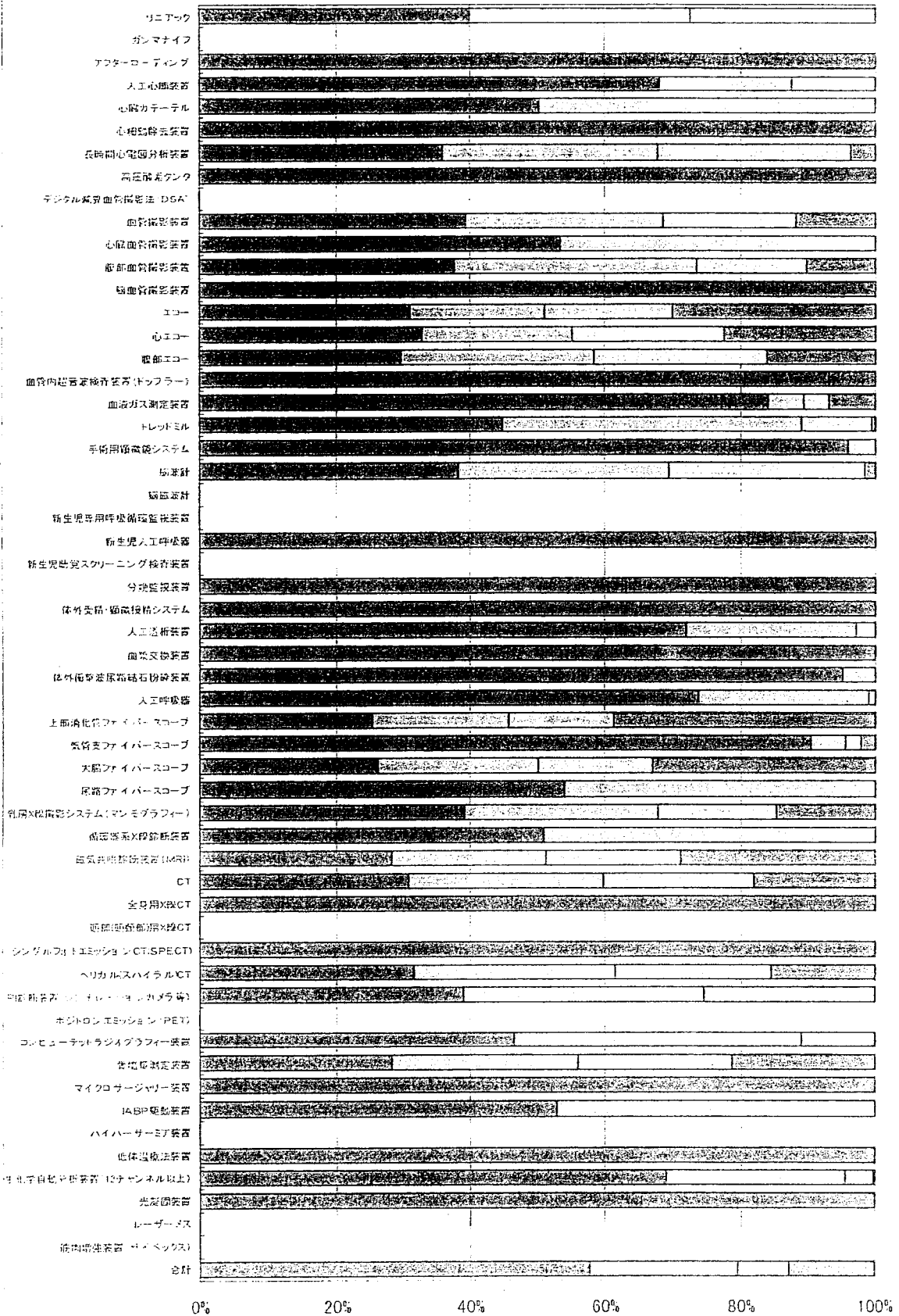
主な医療機器稼働件数における上位医療機関の占有度(最上)



主な医療機器稼働件数における上位医療機関の占有度(置賜)



主な医療機器稼働件数における上位医療機関の占有度(庄内)



(3) 今後の導入予定機器

次表のとおり。

表9- (3) -1 今後の導入予定医療機器—導入が決定している機器—

村山地域	置賜地域	庄内地域
人工心肺装置システム	アルゴンプラズマ凝固装置	心電図データマネージメントシステム
平成 17 年度	平成 17 年 3 月	平成 17 年 12 月
	マルチディテクタ X 線 CT 装置 2 台	X 線 TV 装置
	平成 17 年度	平成 16 年度
	ナビゲーションイメージングシステム	生化学分析装置
平成 17 年 1 月	平成 17 年 10 月頃	
MRI 装置 (1.5T)	マルチ 32 スライス CT	
平成 17 年 12 月	平成 17 年 3 月	
デジタル X 線 TV システム		
	平成 17 年 10 月	
	長時間ビデオ脳波モニタリングユニット	
平成 17 年 3 月 (予定)		
自動注射払出装置、調剤機器		
平成 17 年 10 月		

表9- (3) -2 今後の導入予定医療機器—導入を検討している機器—

村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域
乳房 X 線撮影装置	マルチスライス CT システム	カラー超音波診断装置	フルデジタル X 線診断装置
未定	H17 年 9 月	平成 17 年 9 月	平成 18 年度以降
MRI	MRI	全身用 CT 装置	MRI アップグレード
平成 19 年度中	H18 年度	平成 17 年度	平成 17 年
透析用監視装置他		ポータブル X 線撮影装置	CT
平成 18 年 3 月		平成 18 年度予定	平成 18 年
個人用透析用患者監視装置		X 線 TV 装置	X 線一般撮影装置
平成 17 年 10 月		平成 18 年度予定	未定
		MRI	X 線 TV 撮影装置
		平成 18 年度中	未定
		CT	X 線移動撮影装置
		平成 18 年度中	未定

10 各指定施設及び各学会認定施設

次表のとおり。

表10-1 指定施設及び各学会認定施設別地域別

回答施設数	村山地域		最上地域		置賜地域		庄内地域		合計	
	17	比率	4	比率	7	比率	9	比率	37	比率
臨床研修指定病院	9	52.9%	2	50.0%	4	57.1%	4	44.4%	19	51.4%
救急告示病院	15	88.2%	4	100.0%	5	71.4%	8	88.9%	32	86.5%
感染症指定医療機関	3	17.6%	1	25.0%					4	10.8%
日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医制度研修施設	1	5.9%							1	2.7%
日本肝臓学会専門医制度認定施設	1	5.9%							1	2.7%
日本核医学学会認定医教育病院	1	5.9%							1	2.7%
日本眼科学会専門医制度認定研修施設	4	23.5%	1	25.0%	3	42.9%	2	22.2%	10	27.0%
日本救急医学会救急科専門医指定施設	2	11.8%					1	11.1%	3	8.1%
日本気管支学会認定医制度認定施設	1	5.9%							1	2.7%
日本臨床検査医学会認定病院	1	5.9%							1	2.7%
日本外科学会認定医制度修練施設	7	41.2%	1	25.0%	3	42.9%	3	33.3%	14	37.8%
日本外科学会外科専門医制度修練施設	6	35.3%	1	25.0%	2	28.6%	3	33.3%	12	32.4%
日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設	5	29.4%					2	22.2%	7	18.9%
日本形成外科学会認定医研修施設	2	11.8%					2	22.2%	4	10.8%
日本血液学会認定医研修施設	2	11.8%			2	28.6%			4	10.8%
日本呼吸器学会認定施設	4	23.5%	1	25.0%	1	14.3%			6	16.2%
日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設	2	11.8%	1	25.0%			2	22.2%	5	13.5%
呼吸器外科専門医認定機構基幹施設	1	5.9%							1	2.7%
日本口腔外科学会認定医制度研修機関	1	5.9%							1	2.7%
日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設	5	29.4%			1	14.3%	2	22.2%	8	21.6%
日本小児科学会専門医制度研修施設	4	23.5%					1	11.1%	5	13.5%
日本小児外科学会認定医制度認定施設	1	5.9%					1	11.1%	2	5.4%
日本消化器病学会認定医制度認定施設	3	17.6%					2	22.2%	5	13.5%
日本消化器内視鏡学会認定専門医制度認定指導施設	3	17.6%			1	14.3%			4	10.8%
日本消化器外科学会専門医修練施設	4	23.5%			2	28.6%	3	33.3%	9	24.3%
日本神経学会専門医制度教育施設	7	41.2%			1	14.3%	1	11.1%	9	24.3%
日本消化器集団検診学会認定指導施設	1	5.9%					1	11.1%	2	5.4%
心臓血管外科専門医認定機構基幹施設	2	11.8%					1	11.1%	3	8.1%
日本集中治療医学会専門医研修施設	2	11.8%							2	5.4%
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	4	23.5%	1	25.0%	2	28.6%	2	22.2%	9	24.3%
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	8	47.1%	1	25.0%	2	28.6%	2	22.2%	13	35.1%
日本腎臓学会専門医制度研修施設	2	11.8%							2	5.4%
日本整形外科学会専門医制度研修施設	9	52.9%	2	50.0%	2	28.6%	3	33.3%	16	43.2%

日本大腸肛門病学会専門医修練施設	1	5.9%					1	11.1%	2	5.4%
日本糖尿病学会認定教育施設	5	29.4%			2	28.6%			7	18.9%
日本透析医学会認定施設	6	35.3%					1	11.1%	7	18.9%
日本内科学会認定医制度教育病院	5	29.4%	1	25.0%	1	14.3%	2	22.2%	9	24.3%
日本乳癌学会認定医専門医制度研修施設	4	23.5%			3	42.9%	2	22.2%	9	24.3%
日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設	6	35.3%	1	25.0%	3	42.9%	2	22.2%	12	32.4%
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	3	17.6%	1	25.0%	1	14.3%	1	11.1%	6	16.2%
日本泌尿器科学会専門医教育施設	7	41.2%	1	25.0%	3	42.9%	2	22.2%	13	35.1%
日本病理学会認定医病理医制度認定病院	2	11.8%			1	14.3%	2	22.2%	5	13.5%
日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設	2	11.8%					2	22.2%	4	10.8%
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関	4	23.5%			1	14.3%	2	22.2%	7	18.9%
日本麻酔科学会麻酔科標榜研修施設麻酔指導病院	5	29.4%	1	25.0%	1	14.3%	2	22.2%	9	24.3%
日本臨床薬理学会認定医制度研修施設	1	5.9%							1	2.7%
日本輸血学会認定輸血検査技師制度指定施設	1	5.9%							1	2.7%
日本リウマチ学会教育施設	2	11.8%							2	5.4%
日本老年医学会認定施設	1	5.9%			1	14.3%			2	5.4%

(注)「比率」は各項目の施設数を全回答施設数にて除したものの。

表 10- 2 学会認定医師数の状況 (地域別)

	村山 地域	最上 地域	置賜 地域	庄内 地域	合計
回答施設数	11	2	6	6	25
日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医制度研修施設	3				3
日本肝臓学会専門医制度認定施設	7				7
日本核医学学会認定医教育病院	2			1	3
日本眼科学会専門医制度認定研修施設	16	1	4	0	21
日本救急医学会救急科専門医指定施設	8				8
日本気管支学会認定医制度認定施設	0				0
日本臨床検査医学会認定病院	1				1
日本外科学会認定医制度修練施設	28		18	22	68
日本外科学会外科専門医制度修練施設	41		3	9	53
日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設	9		1	3	13
日本形成外科学会認定医研修施設	4			2	6
日本血液学会認定医研修施設	3		2	2	7
日本呼吸器学会認定施設	12	1	1	1	15
日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設	3				3
呼吸器外科専門医認定機構基幹施設	1				1
日本口腔外科学会認定医制度研修機関				1	1
日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設	25	1	2	7	35

日本小児科学会専門医制度研修施設	23			4	27
日本小児外科学会認定医制度認定施設	1				1
日本消化器病学会認定医制度認定施設	30		1	12	43
日本消化器内視鏡学会認定専門医制度認定指導施設	26		2	2	30
日本消化器外科学会専門医修練施設	22		7	7	36
日本神経学会専門医制度教育施設	20		3	2	25
日本消化器集団検診学会認定指導施設	3			1	4
心臓血管外科専門医認定機構基幹施設	5				5
日本集中治療医学会専門医研修施設	3				3
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	16	1	3	2	22
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	24		3	3	30
日本腎臓学会専門医制度研修施設	4			2	6
日本整形外科学会専門医制度研修施設	46	2	6	4	58
日本大腸肛門病学会専門医修練施設	1				1
日本糖尿病学会認定教育施設	11		2	2	15
日本透析医学会認定施設	11			2	13
日本内科学会認定医制度教育病院	49	4	8	17	78
日本乳癌学会認定医専門医制度研修施設	8		3	3	14
日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設	21	1	6	2	30
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	9			1	10
日本泌尿器科学会専門医教育施設	11	2	4	3	20
日本病理学会認定医病理医制度認定病院	4		1	3	8
日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設					
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関	22		1	1	24
日本麻酔科学会麻酔科標榜研修施設麻酔指導病院	24	1	1	4	30
日本臨床薬理学会認定医制度研修施設	2				2
日本輸血学会認定輸血検査技師制度指定施設	3				3
日本リウマチ学会教育施設	7				7
日本老年医学会認定施設	3		1		4

調査票様式等

平成17年1月24日

関係医療施設の長 殿

山形県健康福祉部長 佐藤 洋樹
山形大学蔵王協議会会長 嘉山 孝正
(山形大学医学部長)

県内医療施設における患者動向及び医療従事者等に係る
現状調査について（依頼）

本県の医療行政の推進及び蔵王協議会の運営につきましては、日頃から御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、県及び蔵王協議会では、本県の地域医療水準を確保し、継続的・安定的な医療提供体制を構築していく方策を検討することとしておりますが、その検討に際し、現状を的確に把握するため標記調査を実施することといたしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解いただき御協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1 調査票の記載について

- (1) 調査項目に関し既存資料がある場合はコピーを添付していただき、回答欄にその旨御記入ください。
- (2) データがない等の理由により回答できない項目につきましては、その旨御記入ください。

2 調査票の提出方法

同封しました封筒により返送願います。

3 提出期限 平成17年2月25日（金）

4 調査内容等に関する照会先

下記担当まで電話、FAX、メールによりお問い合わせください。

《山形大学蔵王協議会調査事務局》
〒990-9585 山形市飯田西2-2-2
山形大学大学院医学系研究科生命環境医科学専攻
医療政策学講座 助教授 船田 孝夫
電話&FAX：023-628-5932
Mail：funadata@med.id.yamagata-u.ac.jp

【調査票様式】

県内医療施設における患者動向及び医療従事者等に係る現状調査票

医療施設名	
担当者(所属・氏名)	
連絡先(電話番号)	
メールアドレス	

1 診療態様について

(1) 貴院の診療圏範囲(貴院がカバーしている実質的な診療圏内市町村を○で囲んでください)

[村山地域]	山形市	寒河江市	上山町	村山市	天童市	東根市	尾花沢市	止辺町
	中山町	河北町	西川町	朝日町	大江町	大石田町		
[最上地域]	新庄市	金山町	最上町	舟形町	真室川町	大蔵村	鮎川村	戸沢村
[置賜地域]	米沢市	長井市	南陽市	高島町	川西町	小国町	白鷹町	飯豊町
[庄内地域]	鶴岡市	酒田市	立川町	余目町	藤島町	羽黒町	櫛引町	三川町
	温海町	遊佐町	八幡町	松山町	平田町			

(2) 貴院の診療圏内最遠地区、距離及び所要時間等

最遠地区	市・町・村	地区
貴院までの距離	. km	
所要時間	時間 分	
交通手段(○で囲む)	電車・バス・車・船舶	

2 職種別職員数について

(平成17年1月1日現在)

管理職(再掲)	人	医師	人	歯科医師	人
看護師	人	准看護師	人	看護助手	人
助産師	人	診療放射線技師	人	診療X線技師	人
薬剤師	人	臨床検査技師	人	衛生検査技師	人
臨床工学技士	人	理学療法士	人	作業療法士	人
言語聴覚士	人	あん摩マッサージ指圧師	人	視能訓練士	人
歯科衛生士	人	歯科技工士	人	診療情報管理士	人
管理栄養士	人	栄養士	人	調理師	人
医療社会事業従事者 (MSW)()は再掲致)	人	事務職	人	現業労務職	人
その他(※)	人	地域医療連携部門 (再掲)	人	合計	人

※その他の内訳

--

3 医師・歯科医師について（平成 17 年 1 月 1 日現在）

(1) 診療科別常勤医師数

(単位：人)

内科	心療内科	精神科
神経内科（神経科）	呼吸器科	消化器科・胃腸科
循環器科	アレルギー科	リウマチ科
小児科	外科	整形外科
形成外科	気管食道科	脳神経外科
呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科
皮膚科	泌尿器科	産婦人科
産科	婦人科	眼科
耳鼻咽喉科	リハビリテーション科	放射線科
麻酔科	病理	こう門科
歯科口腔外科	歯科	矯正歯科
		合計

(2) 診療科別非常勤医師数（常勤換算）

(単位：人)

内科	心療内科	精神科
神経内科（神経科）	呼吸器科	消化器科・胃腸科
循環器科	アレルギー科	リウマチ科
小児科	外科	整形外科
形成外科	気管食道科	脳神経外科
呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科
皮膚科	泌尿器科	産婦人科
産科	婦人科	眼科
耳鼻咽喉科	リハビリテーション科	放射線科
麻酔科	病理	こう門科
歯科口腔外科	歯科	矯正歯科
		合計

(3) 研修医数

前期研修医（計）	人	後期研修医（計）	人
うち1年目	人	うち1年目	人
うち2年目	人	うち2年目	人
		うち3年目	人

(4) 出身医大別及び出身医局別医師数()内には出身医局別医師数を御記入ください

北海道大学医学部	()	札幌医科大学	()	旭川医科大学	()
弘前大学医学部	()	岩手医科大学	()	秋田大学医学部	()
山形大学医学部	()	東北大学医学部	()	福島県立医科大学	()
群馬大学医学部	()	自治医科大学	()	獨協医科大学	()
筑波大学医学専門学群	()	埼玉医科大学	()	防衛医科大学校	()
千葉大学医学部	()	日本大学医学部	()	帝京大学医学部	()
日本医科大学	()	東京大学医学部	()	順天堂大学医学部	()
東京医科歯科大学 医学部	()	慶応義塾大学医 学部	()	東京医科大学	()
東京女子医科大学	()	東京慈恵会医科大学	()	昭和大学医学部	()
東邦大学医学部	()	杏林大学医学部	()	横浜市立大学医学部	()
聖マリアンナ医科大学	()	北里大学医学部	()	東海大学医学部	()
山梨大学医学部	()	信州大学医学部	()	新潟大学医学部	()
富山医科薬科大学 医学部	()	金沢大学医学部	()	金沢医科大学	()
福井大学医学部	()	浜松医科大学	()	岐阜大学医学部	()
名古屋大学医学部	()	名古屋市立大学 医学部	()	藤田学園藤田保健衛 生大学医学部	()
愛知医科大学	()	三重大学医学部	()	奈良県立医科大学	()
滋賀医科大学	()	京都大学医学部	()	京都府立医科大学	()
関西医科大学	()	大阪医科大学	()	大阪市立大学医学部	()
大阪大学医学部	()	近畿大学医学部	()	和歌山県立医科大学	()
神戸大学医学部	()	兵庫医科大学	()	鳥取大学医学部	()
岡山大学医学部	()	川崎医科大学	()	鳥根大学医学部	()
広島大学医学部	()	山口大学医学部	()	徳島大学医学部	()
愛媛大学医学部	()	高知大学医学部	()	香川大学医学部	()
産業医科大学	()	九州大学医学部	()	福岡大学医学部	()
久留米大学医学部	()	佐賀大学医学部	()	長崎大学医学部	()
熊本大学医学部	()	大分大学医学部	()	宮崎大学医学部	()
鹿児島大学医学部	()	琉球大学医学部	()		
				合計	

(5) 常勤医師平均年齢

歳

(6) 常勤医師平均経験年数(または免許取得後年数)

年

(7) 常勤医師平均勤務年数（直院での平均勤務年数）

年

(8) 不足医師数

① 医療法に基づく標準医師数に対する不足医師数

標準医師数	人	現員数	人	不足数	人
-------	---	-----	---	-----	---

② 診療科別定員に対する不足医師数（不足している診療科のみ御記入ください）

診療科名	定員	不足数

(9) 現状の改善、病院機能の充実、医療レベルの向上等のため必要な医師数（自院を除く）

※1 重要度：A－1人体制の解消等現状の改善のためできるだけ早期に必要、B－病院機能の充実、医療レベルの向上等のため将来的には必要（C－その他）

※2 状況：当該診療科において医師不足等により生じている具体的な問題等を御記入ください。

診療科名	必要医師数	重要度 該当するものに○	状況
	人	A・B・C	
	人	A・B・C	
	人	A・B・C	
	人	A・B・C	
	人	A・B・C	

(9) 離職医師数及び離職理由（過去2年間及び平成10年度について御記入ください）

	離職医師数	理 由（該当する理由の（ ）に人数を御記入ください）
平成14年度	人	A：開業（ ） B：大学医局へ（ ） C：退職（ ）【具体的理由】 D：医局人事により他病院へ（ ） E：D以外の理由により他病院へ（ ） F：その他（ ）【具体的理由】
平成15年度	人	A：開業（ ） B：大学医局へ（ ） C：退職（ ）【具体的理由】 D：医局人事により他病院へ（ ） E：D以外の理由により他病院へ（ ） F：その他（ ）【具体的理由】
平成10年度 ※記入できる資料 がある場合は御記 入ください。	人	A：開業（ ） B：大学医局へ（ ） C：退職（ ）【具体的理由】 D：医局人事により他病院へ（ ） E：D以外の理由により他病院へ（ ） F：その他（ ）【具体的理由】

(10) 常勤医師一人当たり年間給与額（賞与、諸手当を含み税引き前の額）（平成15年度実績）

千円

(11) 非常勤医師一人当たり平均報酬額（平成15年度実績）

千円

(12) 常勤医師一人当たり年間平均手当額（平成15年度実績）

手当の区分	手当額
時間外勤務手当	千円
特殊勤務手当	千円
宿直手当	千円
期末勤勉手当	千円
その他手当	千円
合計	千円

(13) 常勤医師一人当たり研究費（平成15年度実績）

千円

4 患者数について

(1) 診療科別 1日平均入院患者数(平成15年度実績)

(単位:人)

内科		心療内科		精神科	
神経内科(神経科)		呼吸器科		消化器科・痔腸科	
循環器科		アレルギー科		リウマチ科	
小児科		外科		整形外科	
形成外科		気管食道科		脳神経外科	
呼吸器外科		心臓血管外科		小児外科	
皮膚科		泌尿器科		産婦人科	
産科		婦人科		眼科	
耳鼻咽喉科		リハビリテーション科		放射線科	
麻酔科		病理		こう門科	
歯科口腔外科		歯科		矯正歯科	
				合計	

(2) 出身市町村別入院患者延べ数(平成15年度実績)

(単位:人)

〔村山地域〕					
山形市		寒河江市		上山市	
村山市		天童市		東根市	
尾花沢市		山辺町		中山町	
河北町		西川町		朝日町	
大江町		大石田町			
〔最上地域〕					
新庄市		金山町		最上町	
舟形町		真室川町		大蔵村	
鮭川村		戸沢村			
〔置賜地域〕					
米沢市		長井市		南陽市	
高鳥町		川西町		小国町	
白旗町		飯豊町			
〔庄内地域〕					
鶴岡市		酒田市		立川町	
余目町		藤島町		羽黒町	
樺井町		三川町		朝日村	
温海町		遊佐町		八幡町	
松山町		平田町			
〔県外〕					
				合計	人

(3) 診療科別一日平均外来患者数(平成15年度実績)

(単位:人)

内科		心療内科		精神科	
神経内科(神経科)		呼吸器科		消化器科・腎臓科	
循環器科		アレルギー科		リウマチ科	
小児科		外科		整形外科	
形成外科		気管食道科		脳神経外科	
呼吸器外科		心臓血管外科		小児外科	
皮膚科		泌尿器科		産婦人科	
産科		婦人科		眼科	
耳鼻咽喉科		リハビリテーション科		放射線科	
麻酔科		病理		こう門科	
歯科口腔外科		歯科		矯正歯科	
				合計	

(4) 出身市町村別外来患者延べ数(平成15年度実績)

(単位:人)

〔村山地域〕					
山形市		寒河江市		土山市	
村山市		天童市		東根市	
尾花沢市		山辺町		中山町	
河北町		西川町		朝日町	
大江町		大石田町			
〔最上地域〕					
新庄市		金山町		最上町	
舟形町		真空田町		大蔵村	
鮭川村		戸沢村			
〔置賜地域〕					
米沢市		長井市		南陽市	
高田町		川西町		小国町	
白鷹町		飯豊町			
〔庄内地域〕					
鶴岡市		酒田市		立川町	
余目町		藤島町		羽黒町	
榎引町		三井町		朝日村	
温海町		遊佐町		八幡町	
松山町		平田町			
〔県外〕					
				合計	

(5) 救急患者数(診療科別・出身市町村別・来院方法別)

① 診療科別救急患者数(平成15年度実績)

(単位:人)

内科		心療内科		精神科	
神経内科(神経科)		呼吸器科		消化器科・胃腸科	
循環器科		アレルギー科		リウマチ科	
小児科		外科		整形外科	
形成外科		気管食道科		脳神経外科	
呼吸器外科		心臓血管外科		小児外科	
皮膚科		泌尿器科		産婦人科	
産科		婦人科		眼科	
耳鼻咽喉科		リハビリテーション科		放射線科	
麻酔科		病理		こう門科	
歯科口腔外科		歯科		矯正歯科	
				合計	

② 出身市町村別救急患者数(平成15年度実績)

(単位:人)

〔村山地域〕					
山形市		寒河江市		上山市	
村山市		天童市		東根市	
尾花沢市		山辺町		中山町	
河北町		西川町		朝日町	
大江町		大石田町			
〔最上地域〕					
新庄市		金山町		最上町	
舟形町		真空田町		大蔵村	
鮭川村		戸沢村			
〔置賜地域〕					
米沢市		長井市		南陽市	
高森町		川西町		小国町	
白鷹町		飯豊町			
〔上置地域〕					
鶴岡市		酒田市		立川町	
余目町		藤島町		羽黒町	
榎引町		三川町		朝日村	
温海町		遊佐町		八幡町	
松山町		平田町			
〔以外〕					
				合計	

3. 来院方法別救急患者数（平成 15 年度実績）

救急車	人	自院来院	人
-----	---	------	---

4. 一次、二次、三次別救急患者数（平成 15 年度実績）

一次救急患者	人	二次救急患者	人	三次救急患者	人
--------	---	--------	---	--------	---

■貴院での一次、二次、三次救急患者の定義を以下に御記入ください。

一次救急患者	（例）外来診療のみで帰宅できた患者
二次救急患者	（例）救急室から入院した患者
三次救急患者	（例）救急室から集中治療室等に入院した患者、または救急室で死亡した患者

（6）コース別人間ドック受診者数（平成 15 年度実績）

一日コース	人
二泊三日コース	人
三泊三日コース	人
その他	人

5. 病床数等について

（1）病床種別病床数（平成 17 年 1 月 1 日現在）

一般病床	床	精神病床	床	感染症床	床
療養病床	床	結核病床	床	その他	床

（2）診療科別病床数（平成 17 年 1 月 1 日現在）

（単位：床）

内科	心療内科	精神科
神経内科（神経科）	呼吸器科	消化器科・胃腸科
循環器科	アレルギー科	リウマチ科
小児科	外科	整形外科
形成外科	気管食道科	脳神経外科
呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科
皮膚科	泌尿器科	産婦人科
産科	婦人科	眼科
耳鼻咽喉科	リハビリテーション科	放射線科
麻酔科	病理	こう門科
歯科（歯外科）	菌科	矯正歯科
合計		

(3) 診療科別病床利用率（平成 15 年度実績）

① 一般病床

（単位：％、小数点第一位）

内科		心療内科		精神科	
神経内科（神経科）		呼吸器科		消化器科・胃腸科	
循環器科		アレルギー科		リウマチ科	
小児科		外科		整形外科	
形成外科		気管食道科		脳神経外科	
呼吸器外科		心臓血管外科		小児外科	
皮膚科		泌尿器科		産婦人科	
産科		婦人科		眼科	
耳鼻咽喉科		リハビリテーション科		放射線科	
麻酔科		病理		こころ門科	
歯科口腔外科		歯科		矯正歯科	
				合計（A/B）	
				年延入院患者数 A	
				年延病床数 B	

② 一般病床以外

（単位：％、小数点第一位）

内科		心療内科		精神科	
神経内科（神経科）		呼吸器科		消化器科・胃腸科	
循環器科		アレルギー科		リウマチ科	
小児科		外科		整形外科	
形成外科		気管食道科		脳神経外科	
呼吸器外科		心臓血管外科		小児外科	
皮膚科		泌尿器科		産婦人科	
産科		婦人科		眼科	
耳鼻咽喉科		リハビリテーション科		放射線科	
麻酔科		病理		こころ門科	
歯科口腔外科		歯科		矯正歯科	
				合計（A/B）	
				年延入院患者数 A	
				年延病床数 B	

(4) 診療科別平均在院日数（平成 15 年度実績）

（単位：日、小数点第一位）

内科		心療内科		精神科	
神経内科（神経科）		呼吸器科		消化器科・胃腸科	

循環器科		アレルギー科		リウマチ科	
小児科		外科		整形外科	
形成外科		気管食道科		脳神経外科	
呼吸器外科		心臓血管外科		小児外科	
皮膚科		泌尿器科		産婦人科	
産科		婦人科		眼科	
耳鼻咽喉科		リハビリテーション科		放射線科	
麻酔科		病理		こう門科	
歯科口腔外科		歯科		矯正歯科	
				合計	

6 手術件数について

(1) 診療科別手術件数

単位：件

内科		心療内科		精神科	
神経内科（神経科）		呼吸器科		消化器科・胃腸科	
循環器科		アレルギー科		リウマチ科	
小児科		外科		整形外科	
形成外科		気管食道科		脳神経外科	
呼吸器外科		心臓血管外科		小児外科	
皮膚科		泌尿器科		産婦人科	
産科		婦人科		眼科	
耳鼻咽喉科		リハビリテーション科		放射線科	
麻酔科		病理		こう門科	
歯科口腔外科		歯科		矯正歯科	
				合計	

(2) 主な手術別件数

診療科等	術式	件数 (H15年度実績)
外科（体表）	乳房（部分）切除術	
	甲状腺（亜）全摘術（頸部郭清術を含む）	
	そけいおよび大腿ヘルニア根治術	
	痔根治術	
	体表腫瘍切除	
	その他の体表手術	
外科（開腹）	胃（亜）全摘術	
	食道亜全摘術	

	腹腔鏡下胆石症手術	
	開腹胆石症手術（総胆管手術を含む）	
	肝臓切除術	
	脾臓、胆嚢、十二指腸の悪性腫瘍術（脾臓部分切除を含む）	
	結腸切除術（腹腔鏡下手術、Hartmann 手術を含む）	
	低位直腸切除術/マイルス手術	
	癒着癒離/イレウス解除術	
	その他の腸切除術	
	虫垂切除術	
	開腹術（減圧、止血、ドレナージなど）	
	胃腸瘻造設、人工肛門閉鎖など	
	その他の開腹術	
外科(胸部)	肺葉（部分）切除術（内視鏡的手術および気管支形成術）を含む	
	その他の肺手術（肺縫縮術、肺葉閉鎖術などを含む）	
	胸腺摘出術	
	その他の縦隔摘出術	
	その他の胸部手術	
心臓血管外科	小児先天性奇形シャント手術	
	小児先天性奇形根治術	
	CABG	
	CABG(off Pump)	
	弁疾患手術（MVR AVR など）	
	伝導系手術、ペースメーカー挿入	
	腹部動脈瘤手術	
	胸部動脈瘤手術	
	その他の動脈手術/血行再建術（AF バイパスなど）	
	静脈手術（ストリッピングなど）	
	その他の心臓血管手術	
小児外科	小児外科手術（そけいヘルニアを除く）	
脳神経外科	脳腫瘍摘出（意識下開頭術および Hardy 手術を含む）	
	動脈瘤手術	
	シャント術	
	微小血管再建減圧術	

	血腫除去術	
	その他の脳神経外科手術	
整形外科	人工関節置換術	
	関節手術（関節鏡手術を含む）	
	四肢骨骨折に対する観血的骨接合術	
	脊椎手術	
	悪性腫瘍摘出術（脊髄腫瘍を除く）	
	血管、神経などのマイクロサージャリー	
	筋肉靱帯手術	
	四肢奇形修復術	
	創外・内固定	
	形成外科的手術（皮膚移植など）	
	その他の整形外科手術	
	耳鼻咽喉科	耳手術（鼓室形成術）
鼻および副鼻腔手術、顔面骨手術（骨折修復を含む）		
扁桃およびアデノイド摘出術		
顕微鏡下喉頭手術		
喉頭全摘術/頸部郭清術		
その他の咽喉頭手術		
唾液腺手術		
舌手術		
切開およびドレナージ		
その他の耳鼻科手術		
産婦人科	腹式および腔式子宮全摘術（腹腔鏡下手術を含む）	
	広汎子宮全摘術（腹腔鏡下手術を含む）	
	その他の子宮手術	
	良性付属器手術	
	悪性付属器手術	
	その他の婦人科手術	
	帝王切開術	
	子宮外妊娠手術（内視鏡下手術を含む）	
	その他の産科手術	
泌尿器科	尿管切石術（内視鏡下手術を含む）	
	腎臓手術	
	膀胱腫瘍切除術（内視鏡下を除く）	
	前立腺手術（内視鏡下を除く）	
	TUR（TURPなどの内視鏡下手術を含む）	

	睾丸および副睾丸手術	
	その他の泌尿器科手術	
眼科	角膜結膜手術	
	白内障手術	
	硝子体手術	
	網膜手術	
	外傷および異物に対する手術	
	その他の眼科手術	
その他の手術	皮膚科手術	
	内科手術	
	小児科手術	
	精神科電撃療法	
	その他の手術	

7 患者紹介率について（平成14年度及び15年度実績、初診患者のみを分母とした率）

	平成14年度	平成15年度
紹介率	%	%
逆紹介率	%	%

8 施設基準について（該当するものに○をつけてください）

〔入院基本料〕					
一般病棟入院基本料		療養病棟入院基本料		精神病棟入院基本料	
特定機能病院入院基本料					
〔入院基本料等加算〕					
急性期入院加算		急性期特定入院加算		臨床研修病院入院診療加算	
診療録管理体制加算		地域医療支援病院入院診療加算			
〔特定入院料〕					
救命救急入院料		ハイエック入院医療管理料		亜急性期入院医療管理料	
特定集中治療室管理料		新生児特定集中治療室管理料		回復期リハビリテーション病棟入院料	
精神科救急入院料		精神科急性期治療病棟入院料			
〔その他〕					
紹介患者加算	1	2	3	4	5 6

9 医療機器の設置状況及び稼働実績

(1) 現在の設置状況

別添「医療機器調査票」に設置台数及び平成15年度実績（件数）を御記入ください。

(2) 今後の導入予定機器

今後導入を予定している高額医療機器を次に御記入ください。

■既に導入が決定している高額医療機器

機器名	導入時期(年月)

■導入を検討している高額医療機器

機器名	導入時期(年月)

10 各指定施設及び各学会認定施設(該当するものに○をつけてください)

〔指定施設〕	該当の有無	
臨床研修指定病院		
救急告示病院		
感染症指定医療機関		
<その他指定施設(以下に御記入ください)>		
〔学会認定施設〕(五十音順)	該当の有無	認定医師数
日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医制度研修施設		
日本肝臓学会専門医制度認定施設		
日本核医学学会認定医教育病院		
日本眼科学会専門医制度認定研修施設		
日本救急医学会救急科専門医指定施設		
日本気管支学会認定医制度認定施設		
日本臨床検査医学会認定病院		
日本外科学会認定医制度修練施設		
日本外科学会外科専門医制度修練施設		
日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設		
日本形成外科学会認定医研修施設		
日本歯科学会認定医研修施設		
日本呼吸器学会認定施設		

日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設		
呼吸器外科専門医認定機構基幹施設		
日本口腔外科学会認定医制度研修機関		
日本産科婦人科学会専門医制度卒業後研修指導施設		
日本小児科学会専門医制度研修施設		
日本小児外科学会認定医制度認定施設		
日本消化器病学会認定医制度認定施設		
日本消化器内視鏡学会認定専門医制度認定指導施設		
日本消化器外科学会専門医修練施設		
日本神経学会専門医制度教育施設		
日本消化器集団検診学会認定指導施設		
心臓血管外科専門医認定機構基幹施設		
日本集中治療医学会専門医研修施設		
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設		
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設		
日本腎臓学会専門医制度研修施設		
日本整形外科学会専門医制度研修施設		
日本大腸肛門病学会専門医修練施設		
日本糖尿病学会認定教育施設		
日本透析医学会認定施設		
日本内科学会認定医制度教育病院		
日本乳癌学会認定医専門医制度研修施設		
日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設		
日本支那科学会認定専門医研修施設		
日本泌尿器科学会専門医教育施設		
日本病理学会認定医病理医制度認定病院		
日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設		
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関		
日本麻酔科学会麻酔科控塔研修施設麻酔指導病院		
日本臨床薬理学会認定医制度研修施設		
日本輸血学会認定輸血検査技師制度指定施設		
日本リウマチ学会教育施設		
日本老年医学会認定施設		
<その他認定施設（以下に御記入ください）>		

ご協力ありがとうございました。

<提出期限> 平成17年2月25日(金)

<送付先>

《山形大学蔵王協議会事務局》
〒 990-9585 山形市飯田西2-2-2
山形大学大学院医学系研究科生命環境医科学専攻
医療政策学講座

(別紙)

医療機器調査票

医療機器名称	設置台数	うちH16年度 設置台数	件数 (H15年度実績)
リニアック			
ガンマナイフ			
アフターローディング			
人工心肺装置			
心臓カテーテル			
心細動除去装置			
長時間心電図分析装置			
高圧酸素タンク			
デジタル減算血管撮影法 (DSA)			
心臓血管撮影装置			
腹部血管撮影装置			
脳血管撮影装置			
心エコー			
腹部エコー			
血管内超音波検査装置 (ドップラー)			
血液ガス測定装置			
トレッドミル			
手術用顕微鏡システム			
脳波計			
脳磁波計			
新生児専用呼吸循環監視装置			
新生児人工呼吸器			
新生児聴覚スクリーニング検査装置			
分娩監視装置			
体外受精・顕微授精システム			
人工透析装置			
血漿交換装置			
体外衝撃波尿路結石粉碎装置			
人工呼吸器			
上部消化管ファイバースコープ			
気管支ファイバースコープ			
大腸ファイバースコープ			
尿路ファイバースコープ			
乳房X線撮影システム (マンモグラフィ)			
循環器系X線診断装置			

磁気共鳴診断装置 (MRI)			
全身用X線CT			
頭部(頭頸部)用X線CT			
シングルフォトエミッションCT(SPECT)			
ヘリカル(スパイラル)CT			
R1診断装置 (シンチレーションカメラ等)			
ポジトロンエミッション (PET)			
コンピュータードラジオグラフィ装置			
骨塩量測定装置			
マイクロサージャリ装置			
IAB.P駆動装置			
ハイパーサーミア装置			
低体温療法装置			
生化学自動分析装置 (12チャンネル以上)			
光凝固装置			
レーザーメス			
筋肉増強装置 (サイベックス)			